4-162-929-**02** (1)

Data Projector

VPL-EX130

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～8ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5 年に一度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください（有料）。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたりキャビネットを破損したときは

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に連絡する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

高温

手を挟まれないよう注意

行為を禁止する記号

接触禁止

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

アース線を接続せよ

目次

JP

警告

下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**により
死亡や**大けが**につながることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご相談ください。

付属の電源コード、接続ケーブルを使う

付属の電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

レンズをのぞかない

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。
- 壁から 30 cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- 立てて使用しない。
- プロジェクターの下に布や紙を敷かない。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

安全アースを接続する

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

天井への取り付け、移動は必ずお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください（有料）。
天井の強度不足、取り付け方法が不十分のときは落下し大けがの原因となります。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

長時間の外出、旅行の時は、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

アースキャップやコネクターカバーは幼児の手の届かないところへ保管する

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合はただちに医者に相談してください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

⚠注意　下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

本機を立てておかない

保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない

火災の原因となることがあります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

アジャスター調整時に指を挟まない

アジャスターを調整する場合は、アジャスターに手などが触れないよう慎重に行ってください。アジャスターに指を挟み、けがの原因になることがあります。

設置の際、本機と設置部分での指挟みに注意する

設置する際、本機と設置部分で指を挟まないように慎重に取り扱ってください。

排気口周辺には触れない

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

定期的にエアーフィルターをクリーニングする

ランプ交換に合わせて､必ずエアーフィルターのクリーニングをしてください。
クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

電源コード／接続ケーブルに足をひっかけない

電源コードや接続ケーブルに足をひっかけるとプロジェクターが倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

盗難防止用バーを運搬や設置目的で使用しない

プロジェクターの後面にある盗難防止用バーには市販の盗難防止ワイヤーを取り付けるなどの目的で使用してください。
この盗難防止用バーを使って持ち上げたり、吊り下げなどの設置に利用したりすると、落下してけがや故障の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1 年に 1 度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

本機を運搬するときは落下に注意する

本機を持ち運ぶときは落下にご注意ください。落下するとプロジェクターが壊れたり、ケガの原因となります。

エアーフィルターカバーをつかんで持たない

本機をエアーフィルターカバー部分をつかんで持ち上げると、不意にエアーフィルターカバーが外れて本機が落下し、けがや故障の原因となることがあります。

アジャスターを運搬や吊り下げ目的で使用しない

アジャスターは本機の傾きを調整する目的でのみ使用してください。運搬用の把手代わりに使用したり、吊り下げなどの設置に利用したりすると、本機が落下してけがや故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機のリモートコマンダーで使用可能な（コイン型）リチウム電池についての注意事項を記載しています。

⚠警告

- 乳幼児の手の届かないところに置く。
- 電池は充電しない。
- 火の中に入れたり、加熱・分解・改造をしない。
- 電池の（+）と（−）を正しく入れる。
- 電池の液が目に入ったときは、失明の原因となるので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受ける。
- 電池の液をなめた場合には、すぐにうがいをして医師に相談する。
- ショートの原因となるので、金属製のネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしない。
- 電池に液もれや異臭があるときは、すぐに火気から遠ざける。
- 電池に直接はんだ付けをしない。
- 電池を保管する場合および破棄する場合は、テープなどで端子（金属部分）を絶縁する。
- 皮膚に障害を起こすおそれがあるので、テープなどで貼り付けない。

⚠注意

- 電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしない。
- 直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温・多湿の場所で使用、放置、保管しない。
- 電池を水で濡らさない。
- ショートさせないように機器に取り付ける。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。
  「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

火災　感電

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う

高温

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、**電源を切ってから1時間以上**たって、充分にランプが冷えてから行ってください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する

注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。**ソニーの相談窓口にランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

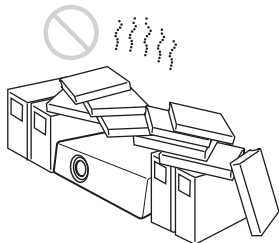
本機または使用済みランプを廃棄する場合

本機のランプの中には水銀が含まれています。
廃棄の際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

設置・使用時のご注意

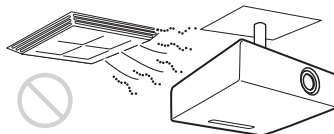
設置に適さない場所

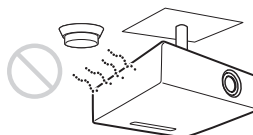
次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

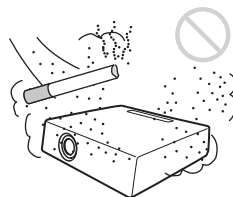
風通しが悪い場所

- 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
- 吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、自動的に電源が切れます。
- 本機の周囲から 30 cm 以内には物を置かないようにしてください。
- 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

温度や湿度が高い場所

温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

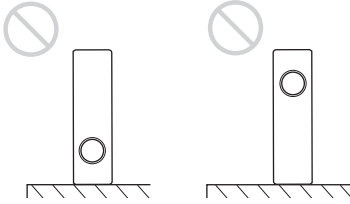
空調の冷暖気が直接当たる場所

結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

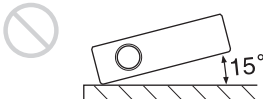
熱感知器や煙感知器のそば

感知器が誤動作する原因となることがあります。

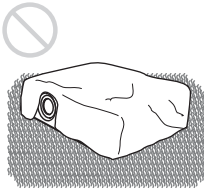
ほこりが多い場所、たばこなどの煙が入る場所

ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアーフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となります。また、エアーフィルターの汚れは内部の温度が上昇する原因になるので、ランプ交換に合わせて掃除してください。

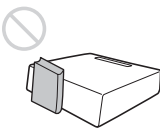
使用に適さない状態

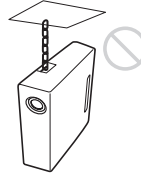
次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用しない

本機を立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を左右に傾けない

本機を 15 度以上傾けたり、床置きおよび天つり以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆わない

吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしたり、毛足の長いじゅうたんなどの上では使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

レンズの前に遮蔽物を置かない

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形など影響を与える可能性があります。投影を一時的に中断するときには、ピクチャーミューティング機能をお使いください。

盗難防止用バーを運搬や設置目的で使用しない

プロジェクターの後面にある盗難防止用バーには、市販の盗難防止ケーブルを取りつけるなど、盗難防止の目的で使用してください。この盗難防止用バーを使って持ち上げたり、吊り下げなどの設置に利用したりすると、落下や破損による事故の原因となります。

高地で使用する場合

海抜 1500 m 以上でのご使用に際しては、設置設定メニューの「高地モード」の設定を「入」にしてください。「切」のままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用時のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。**これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。**
また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投射してご使用される際に、プロジェクター毎に色合いのバランスが異なるため、同一機種の組み合わせであっても設置時点で色合いの違いが目立つ場合があります。

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

結露について

本機の設置してある**室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。
結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。

結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約2時間放置しておいてください。

ファンの音について

本機の内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。
- 集光形のダウンライトにする。
- 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

エアーフィルターのお手入れについて

- 必ず定期的にエアーフィルターのクリーニングをしてください。
- クリーニング方法については、「エアーフィルターをクリーニングする」（17 ページ）をご参照ください。

レンズ面のお手入れについて

レンズの表面は反射を抑えるため、特殊な表面処理を施してあります。誤ったお手入れをした場合、性能を損なうことがありますので、以下のことをお守りください。
- レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- レンズ表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはレンズ表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

持ち運びをするときは

本機は精密機器です。本機を持ち運びするときは、衝撃を与えたり、落としたりしないでください。破損の原因となります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

注意

指定以外の電池に交換すると、破壊する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

ご注意

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

CD-ROM 取扱説明書の見かた

付属の CD-ROM には、ReadMe、取扱説明書が収録されています（日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、ロシア語）。まず最初に ReadMe をご覧ください。

準備

付属の CD-ROM に収録されている取扱説明書を読むためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降が必要です。Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてください。（無料）

取扱説明書を読むには

付属の CD-ROM を、コンピュータの CD-ROM ドライブにセットしてください。しばらくすると、CD-ROM が自動的に起動します。読みたい取扱説明書を選んでください。取扱説明書のファイルは、CD-ROM の中に収録されています。
お使いのコンピュータによっては、CD-ROM が自動的に起動しない場合があります。
以下の手順で、取扱説明書のファイルを直接開いてください。

（Windows の場合）

① 「マイコンピュータ」を開く。（Windows Vista では「コンピュータ」と表示されます。）
② 「CD-ROM」のアイコンを右クリックして「エクスプローラ」を選ぶ。
③ ウィンドウの中で「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

（Macintosh の場合）

① デスクトップの「CD-ROM」アイコンをダブルクリックする。
② 「index.htm」ファイルをダブルクリックして読みたい取扱説明書を選ぶ。

ご注意

index.htm ファイルが開かない場合は、「Operating_Instructions」フォルダから読みたい取扱説明書を選んでダブルクリックしてください。

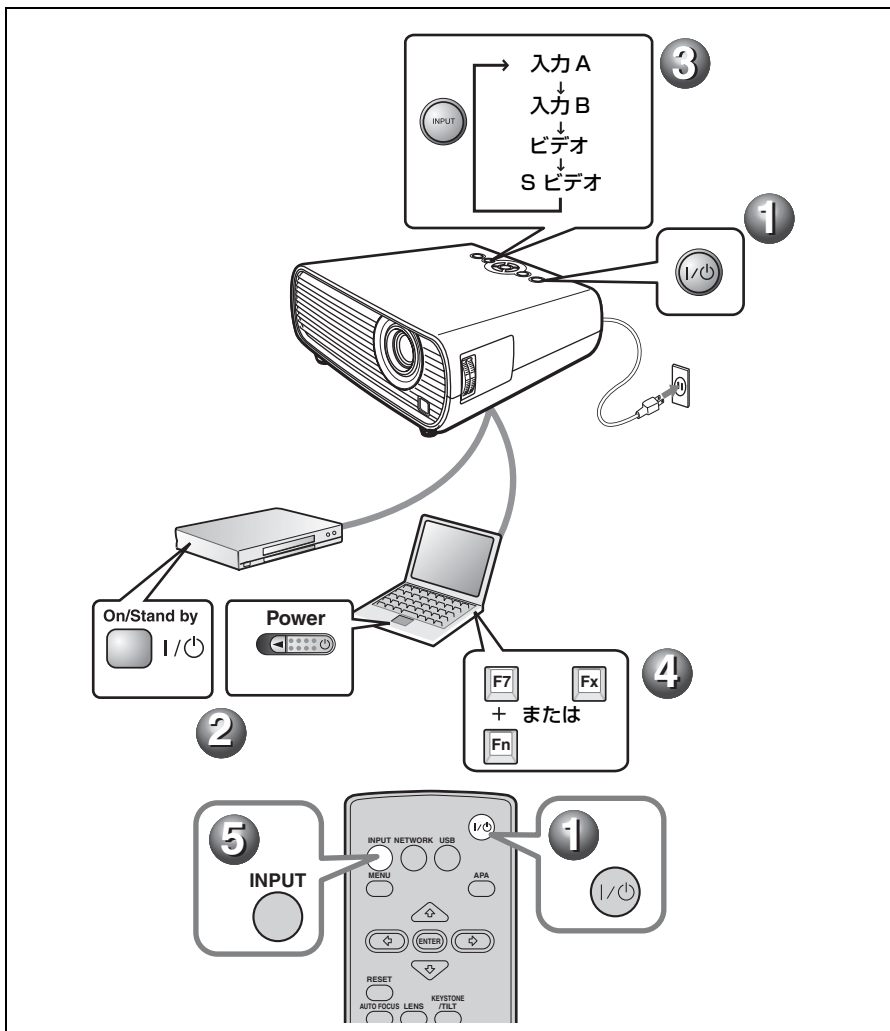
画像を映す

映す

❶ I/⏻（オン / スタンバイ）キーを押す。

❷ 接続している機器の電源を入れる。

❸ リモートコマンダーまたはコントロールパネルの INPUT キーを押して、映したい画像を選ぶ。

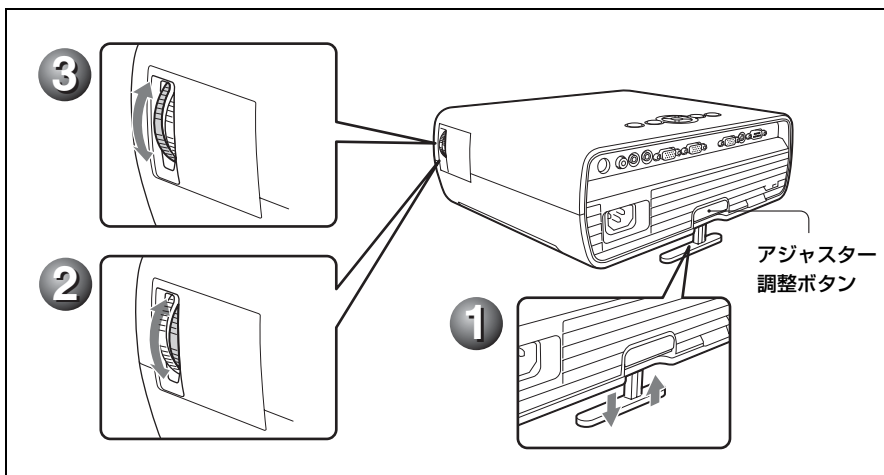
❹ コンピューターとの接続時は映像信号の出力先を切り換える。

調整する

❶ **画像の位置を調整する。**

アジャスター調整ボタンを押しながらプロジェクターを持ち上げ、角度を調整し、ボタンを放してアジャスターをロックします。

❷ **画像の大きさを調整する。**

❸ **画像のフォーカスを調整する。**

画質モードを選べる画質設定メニューや、最適な画面のアスペクト比（縦横比）を選べるスクリーン設定メニューがあります。

電源を切る

1 **I/⏻（オン / スタンバイ）キーを押す。**

2 **メッセージが表示されたらもう一度 I/⏻（オン / スタンバイ）キーを押す。**

3 **ファンが止まり、I/⏻（オン / スタンバイ）キーが赤く点灯するのを確認してから、電源コードを抜く。（ダイレクトパワーオン / オフ機能、オフ＆ゴー機能使用時を除く。）**

ランプを交換する

光源として使用されているランプは消耗品ですので、次のような場合は新しいランプと交換してください。

- 光源のランプが切れたとき
- 光源のランプが暗くなったとき
- 「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されたとき
- LAMP/COVER インジケーターが点灯したとき（3 回点滅のくり返し）

ランプ交換時期はその使用条件によって変わってきます。

交換ランプは、別売りのプロジェクターランプ LMP-E210 をお使いください。

それ以外のものをお使いになると故障の原因になります。

ご注意

- **ランプが破損している場合は、ソニーの相談窓口にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。**
- ランプを取り出すときは、必ず取り出し用の取っ手を持って引き出してください。
- ランプを取り出すときは、ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、ランプが破損することがあります。

1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

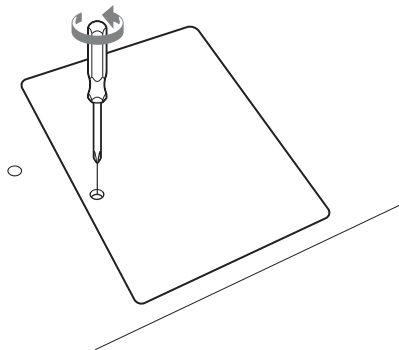
ご注意

本機を使用した後にランプを交換する場合は、ランプを冷やすため、1 時間以上たってからランプを交換してください。

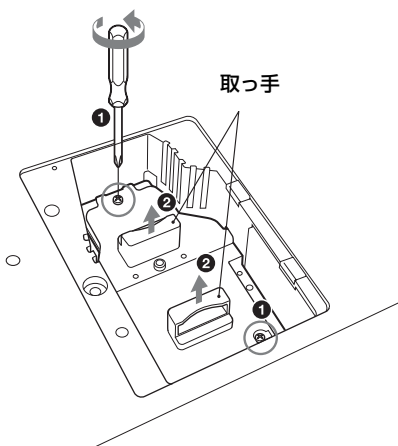
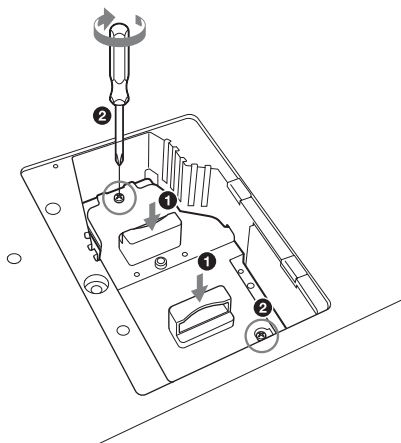
2 本機や机に傷がつかないよう布などを敷き、その上で本機を裏返す。

ご注意

プロジェクターを、しっかりと安定させてください。

3 ランプカバーのネジ（1 本）をプラスドライバーでゆるめ、ランプカバーを開く。

ご注意

安全のため、他のネジは絶対にはずさないでください。

4 ランプのネジ（2 本）をプラスドライバーでゆるめ（❶）、取っ手を持ってランプを引き出す（❷）。

5 **新しいランプを確実に奥まで押し込み（❶）、ネジ（2 本）を締めて元に戻す（❷）。**

ご注意

・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。
・ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。

6 **ランプカバーを閉め、ネジ（1 本）を締める。**

ご注意

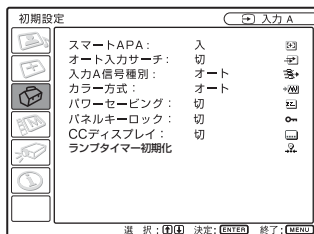
ランプカバーはしっかりと取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。

7 **本機の向きを元にもどす。**

8 **電源コードを接続する。**
I/⏻ キーが赤色に点灯します。

9 **I/⏻ キーを押して電源を入れる。**

10 **MENU キーを押して初期設定メニューを選ぶ。**

11 **「ランプタイマー初期化」を選び、ENTER キーを押す。**

12 **▼キーで「実行」を選び、ENTER キーを押す。**
ランプタイマーが0に初期化され、「ランプを交換し、フィルターを掃除しましたか？」というメッセージが表示されます。

ランプを交換し、フィルターを掃除しましたか？
はい: ⬆ いいえ: ⬇

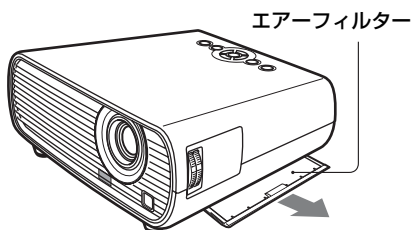
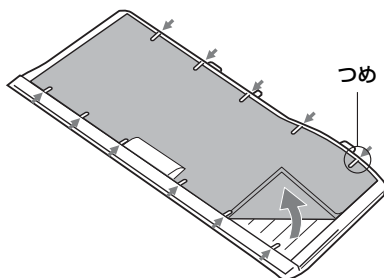
フィルター掃除のしかたは、次の「エアーフィルターをクリーニングする」を参照してください。

13 **▲キーで「はい」を選ぶ。**
「ランプタイマー初期化が完了しました」というメッセージが表示されます。

エアーフィルターをクリーニングする

ランプ交換と合わせてエアーフィルターのクリーニングが必要です。エアーフィルターを取りはずし、掃除機で掃除してください。
クリーニング時期は目安です。使用環境や使いかたによって異なります。
掃除機で掃除しても汚れが取れにくいときは、フィルターをはずして洗ってください。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 エアーフィルターカバーを引き出して取りはずす。

3 エアーフィルターを引き出して取りはずす。

4 中性洗剤を薄めた液で洗ったあと日陰で乾かす。

5 エアーフィルターをエアーフィルターカバーのつめにはめて、エアーフィルターカバーを本機に取り付ける。

ご注意

- **エアーフィルターのクリーニングを怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。**
- エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。
- エアーフィルターには表裏があります。フィルターを入れるときは、フィルターカバーの形状に合わせて入れてください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。
症状について詳しくは、CD-ROM内の取扱説明書をご覧ください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	・I/⏻キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 ➔ 約90秒たってから電源を入れてください。 ・ランプカバーがはずれている。 ➔ ランプカバーをしっかりとはめてください。 ・エアーフィルターカバーがはずれている。 ➔ エアーフィルターカバーをしっかりとはめてください。

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔ 接続を確認してください。 ・接続手順が正しくない。 ➔ 本機はDDC2B（Display Data Channel 2B）に対応しています。お使いのコンピューターがDDCに対応している場合は、**1.** 本機とコンピューターを接続し、**2.** 本機の電源を入れ、**3.** コンピューターを起動してください。 ・入力切り換えが正しくない。 ➔ 投影する映像を正しく選んでください。 ・映像が消画（ミューティング）されている。 ➔ PIC MUTINGキーを押して、ミューティングを解除してください。 ・出力信号がコンピューターの外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 ➔ 出力信号をコンピューターの外部モニターのみに出力するように設定してください。
画面にノイズが出る。	入力信号のドット数とLCDパネルの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることがある。 ➔ お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。
画面がぼやける。	・フォーカスが合っていない。 ➔ フォーカスを合わせてください。 ・結露が生じた。 ➔ 電源を入れたまま約2時間そのままにしておいてください。

症状	原因と対処
画像がスクリーンからはみでている。	画像のまわりに黒い部分が残っている状態で APA キーを押した。 ➔ スクリーンいっぱいに画像を映してから APA キーを押してください。 ➔ 信号設定メニューの「シフト」で正しく調整してください。
画面がちらつく。	信号設定メニューの「ドットフェーズ」の設定が合っていない。 ➔ 信号設定メニューの「ドットフェーズ」の数値を設定しなおしてください。

インジケーターに関する項目

症状	原因と対処
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。(2 回点滅パターンの繰り返し)	ランプカバーまたはエアーフィルターカバーがはずれている。 ➔ カバーをしっかりはめてください。
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。(3 回点滅パターンの繰り返し)	・ランプの交換時期がきた。 ➔ ランプを交換してください。 ・ランプが高温になっている。 ➔ 60 秒以上たって、ランプが冷えてから、もう一度電源を入れてください。
I/⏻ キーが赤色点滅する。(2 回点滅パターンの繰り返し)	・内部が高温になっている。 ➔ 排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。 ・標高が高い場所で使用されている。 ➔ 高地モードが「入」に設定されているか確認してください。
I/⏻ キーが赤色点滅する。(4 回点滅パターンの繰り返し)	ファンが故障している。 ➔ お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
I/⏻ キーが赤色点滅する。(6 回点滅パターンの繰り返し)	電源コードを抜いて、I/⏻ インジケーターが消えるのを確認してから、電源コードをコンセントに差し込み、もう一度電源を入れる。症状が再発する場合は、電気系統が故障している。 ➔ お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

主な仕様

投影方式
3LCD パネル、1 レンズ、3 原色液晶シャッター投写方式

LCD パネル
0.63 型（16.0 mm）XGA パネル、約 236 万画素（1024 × 768 × 3）

ランプ 210 W 高圧水銀ランプ

投影画面サイズ
40 型～ 300 型
（1,016 mm ～ 7,620 mm）

光出力[1]
3000 lm

[1] ランプモード 高のとき

出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911：2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。
測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

投影距離（床置き / アジャスター伸ばさず、キーストーン補正あり）

投影画面サイズ（対角）	距離（m）
40 型（1,016 mm）	1.2 ～ 1.4
80 型（2,032 mm）	2.4 ～ 2.7
100 型（2,540 mm）	3.0 ～ 3.4
150 型（3,810 mm）	4.5 ～ 5.2
200 型（5,080 mm）	6.0 ～ 6.9
250 型（6,350 mm）	7.5 ～ 8.6
300 型（7,620 mm）	9.0 ～ 10.3

カラー方式
NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60 自動切り換え／手動切り換え
（NTSC4.43 とは、NTSC 方式で録画されたビデオカセットを、NTSC4.43 方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。）

対応コンピューター信号[2]
fH: 19 ～ 92 kHz、fV: 48 ～ 92 Hz
（最高入力解像度信号：
SXGA+ 1400 × 1050
fV：60Hz）

[2] 接続するコンピューターの信号の解像度と周波数は、プリセット信号の範囲内に設定してください。

対応ビデオ信号
15k RGB ／コンポーネント 50/60Hz、プログレッシブコンポーネント 50/60Hz、DTV（480/60i、575/50i、480/60p、575/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i）、コンポジットビデオ、Y/C ビデオ

外形寸法
約 313.4 × 114.1 × 269 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）

質量　約 3.1 kg

電源　AC100 V、2.7 A、50/60 Hz

消費電力
最大 270 W
スタンバイ時（標準）：3 W
スタンバイ時（低）：1 W

動作温度
0 ℃ ～ ＋ 40 ℃

付属品
リモートコマンダー（1）
リチウム電池 CR2025（1）
（リモートコマンダーに装着されています。）
HD D-sub 15 ピンケーブル
（1.8 m）（1）
（1-967-100-11/Sony）
電源コード（1）
レンズキャップ（1）
取扱説明書（CD-ROM）（1）
簡易説明書（1）
保証書（1）
セキュリティラベル（1）

本機（別売アクセサリーを含む）の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご注意

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

別売アクセサリー

プロジェクターランプ
LMP-E210

別売アクセサリーの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。
ソニーの相談窓口に確認してください。

WARNING

To reduce the risk of fire or electric shock, do not expose this apparatus to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

CAUTION

Danger of explosion if battery is incorrectly replaced.
Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer.
When you dispose of the battery, you must obey the law in the relative area or country.

WARNING

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit.
If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.
If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.

DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade with ground pin (NEMA 5-15P Configuration)
Cord	Type SJT, three 16 or 18 AWG wires
Length	Minimum 1.5m (4 ft. 11 in.), Less than 4.5 m (14 ft. 9 5/8 in.)
Rating	Minimum 10 A, 125 V

Using this unit at a voltage other than 120 V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both. To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

IMPORTANT

The nameplate is located on the bottom.

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

For the customers in the U.S.A.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

- Consult the dealer or an experienced radio/ TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

If you have any questions about this product, you may call;
Sony Customer Information Service Center 1-800-222-7669 or http://www.sony.com/

Declaration of Conformity

Trade Name: SONY
Model: VPL-EX130
Responsible party: Sony Electronics Inc.
Address: 16530 Via Esprillo, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number: 858-942-2230

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For the customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

For the customers in Europe

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Japan.
The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

For the State of California, USA only

Perchlorate Material - special handling may apply, See
www.dtsc. ca.gov/hazardouswaste/perchlorate
Perchlorate Material: Lithium battery contains perchlorate.

Disposal of the used lamp

For the customers in the USA
Lamp in this product contains mercury. Disposal of these materials may be regulated due to environmental considerations. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Electronic Industries Alliance (www.eiae.org).

GB

For the customers in Taiwan only

廢電池請回收

Table of Contents

Precautions

Safety

- Check that the operating voltage of your unit is identical with the voltage of your local power supply. If voltage adaptation is required, consult with qualified Sony personnel.
- Should any liquid or solid object fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days.
- To disconnect the cord, pull it out by the plug. Never pull the cord itself.
- The wall outlet should be near the unit and easily accessible.
- The unit is not disconnected to the AC power source (mains) as long as it is connected to the wall outlet, even if the unit itself has been turned off.
- Do not look into the lens while the lamp is on.
- Do not place your hand or objects near the ventilation holes. The air coming out is hot.
- Be careful not to get your fingers caught in the adjuster.
- Do not spread a cloth or paper under the unit.

Illumination

- To obtain the best picture, the front of the screen should not be exposed to direct lighting or sunlight.
- Ceiling-mounted spot lighting is recommended. Use a cover over fluorescent lamps to avoid lowering the contrast ratio.
- Cover any windows that face the screen with opaque draperies.
- It is desirable to install the unit in a room where floor and walls are not of light-reflecting material. If the floor and walls are of reflecting material, it is recommended that the carpet and wall paper be changed to a dark color.

Preventing internal heat build-up

The unit is equipped with ventilation holes (intake) and ventilation holes (exhaust). Do not block or place anything near these holes, or internal heat build-up may occur, causing picture degradation or damage to the projector.

Cleaning

Before cleaning

Be sure to disconnect the AC power cord from the AC outlet.

Cleaning the air filter

- Clean the air filter whenever you replace the lamp.
- Refer to the “Cleaning the Air Filter” on page 14 for the air filter cleaning.

Cleaning the lens

The lens surface is especially treated to reduce reflection of light.
As incorrect maintenance may impair the performance of the projector, take care with respect to the following:

- Avoid touching the lens. To remove dust on the lens, use a soft dry cloth. Do not use a damp cloth, detergent solution, or thinner.
- Wipe the lens gently with a soft cloth such as a cleaning cloth or glass cleaning cloth.
- Stubborn stains may be removed with a soft cloth such as a cleaning cloth or glass cleaning cloth lightly dampened with water.
- Never use solvent such as alcohol, benzene or thinner, or acid, alkaline or abrasive detergent, or chemical cleaning cloth, as they will damage the lens surface.

Cleaning the cabinet

- Clean the cabinet gently with a soft dry cloth. Stubborn stains may be removed with a cloth lightly dampened with mild detergent solution, followed by wiping with a soft dry cloth.
- Use of alcohol, benzene, thinner or insecticide may damage the finish of the cabinet or remove the indications on the cabinet. Do not use these chemicals.

- If you rub on the cabinet with a stained cloth, the cabinet may be scratched.
- If the cabinet is in contact with a rubber or vinyl resin product for a long period of time, the finish of the cabinet may deteriorate or the coating may come off.

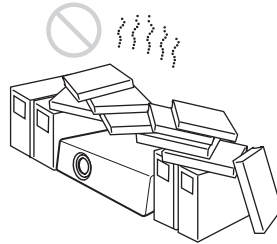
LCD data projector

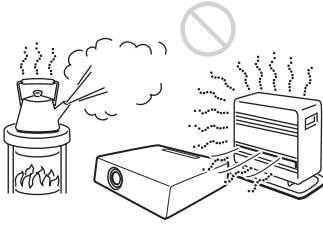
This LCD data projector is manufactured using high-precision technology. You may, however, see tiny black points and/or bright points (red, blue, or green) that appear continuously on the LCD data projector. This is a normal result of the manufacturing process and does not indicate a malfunction. When the images are projected onto the screens from multiple LCD data projectors, they may generate color distinctions because each projector has its own color balance even if the projectors are the same models.

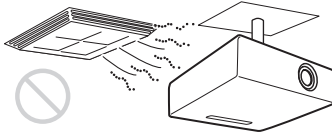
Notes on Installation and Usage

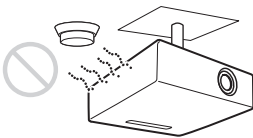
Unsuitable Installation

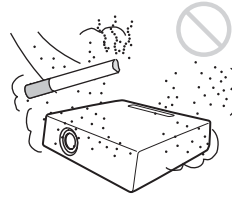
Do not install the projector in the following situations. **Installation is these situations or locations may cause a malfunction or damage** to the unit.

Poorly ventilated locations

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes. When internal heat builds up due to blockage of ventilation holes, the temperature sensor will function, and the power will be turned off automatically.
- Leave space of more than 30 cm (11 7/8 inches) around the unit.
- Be careful not to allow the ventilation holes to inhale tiny objects such as pieces of paper or clumps of dust.

Hot and humid

- Avoid installing the unit in a location where the temperature or humidity is very high, or the temperature is very low.
- To avoid moisture condensation, do not install the unit in a location where the temperature may rise rapidly.

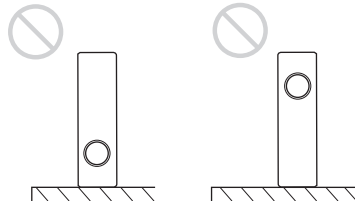
Locations subject to direct cool or warm air from an air-conditioner

Installing the projector in such a location may cause a malfunction of the unit due to moisture condensation or a rise in temperature.

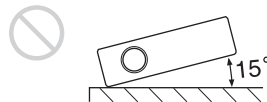
Near a heat or smoke sensor

Malfunction of the sensor may occur.

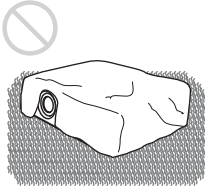
Very dusty, extremely smoky locations

Avoid installing the unit in a very dusty or extremely smoky environment. Otherwise, the air filter will become obstructed, and this may cause a malfunction of the unit or damage it. Dust preventing the air passing through the filter may cause a rise in the internal temperature of the unit. Clean the air filter whenever you replace the lamp.

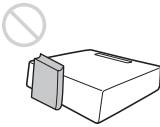
Unsuitable Conditions

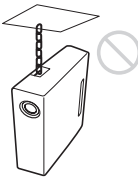
Do not use the projector under the following conditions.

Do not stand the unit upright on one side

Avoid using the unit standing upright on its side. It may cause malfunction.

Do not tilt the unit to the right or left

Avoid tilting the unit to an angle of 15°, and avoid installing the unit in any way other than placing it on a level surface or suspending from the ceiling. Such an installation may cause color shading or shorten the lamp life excessively.

Do not block the ventilation holes

Avoid using a thick-piled carpet or anything that covers the ventilation holes (exhaust/ intake); otherwise, internal heat may build up.

Do not place a blocking object just in front of the lens

Do not place any object just in front of the lens that may block the light during projection. Heat from the light may damage the object. Use the PIC MUTING key to cut off the picture.

Do not use the Security bar for transporting or installation

Use the Security bar at the rear of the projector for a purpose of preventing theft, by attaching a commercially available theft prevention cable for example. If you lift the projector by holding the Security bar, or hang the projector by using this bar, it may cause the projector to fall or be damaged.

Usage at High Altitude

When using the projector at an altitude of 1,500 m or higher, turn on "High Altitude Mode" in the INSTALL SETTING menu. Failing to set this mode when using the projector at high altitudes could have adverse effects, such as reducing the reliability of certain components.

Notes on Use

Note on carrying the projector

The unit is manufactured using high-precision technology. When transporting the unit, do not drop the unit or subject it to shock, as this may cause damage.

Note on the screen

When using a screen with an uneven surface, a striped pattern may rarely appear on the screen depending on the distance between the screen and the projector or the zooming magnification settings used. This is not a malfunction of the projector.

Using the CD-ROM Manuals

The supplied CD-ROM contains Operating Instructions and ReadMe file in Japanese, English, French, German, Italian, Spanish, Chinese and Russian. First, refer to the ReadMe file.

Preparations

To read the Operating Instructions in the CD-ROM, Adobe Acrobat Reader 5.0 or later is required. If the Adobe Acrobat Reader is not installed in your computer, you can download free Acrobat Reader software from URL of Adobe Systems.

To read the Operating Instructions

The Operating Instructions are contained in the supplied CD-ROM. Insert the supplied CD-ROM into the CD-ROM drive of your computer, and the CD-ROM will start automatically after a while. Select the Operating Instructions you want to read.
The CD-ROM may not start automatically depending on the computer. In this case, open the Operating Instructions file as follows:

(In case of Windows)

① Open “My Computer.” (“Computer” is displayed in Windows Vista.)

② Right-click the CD-ROM icon and select “Explorer.”

③ Double-click “index.htm” file and select the Operating Instructions you want to read.

(In case of Macintosh)

① Double-click the CD-ROM icon on the desk top.

② Double-click “index.htm” file and select the Operating Instructions you want to read.

Note

If you cannot open “index.htm” file, double-click on the Operating Instructions you want to read from among those in “Operating_Instructions” folder.

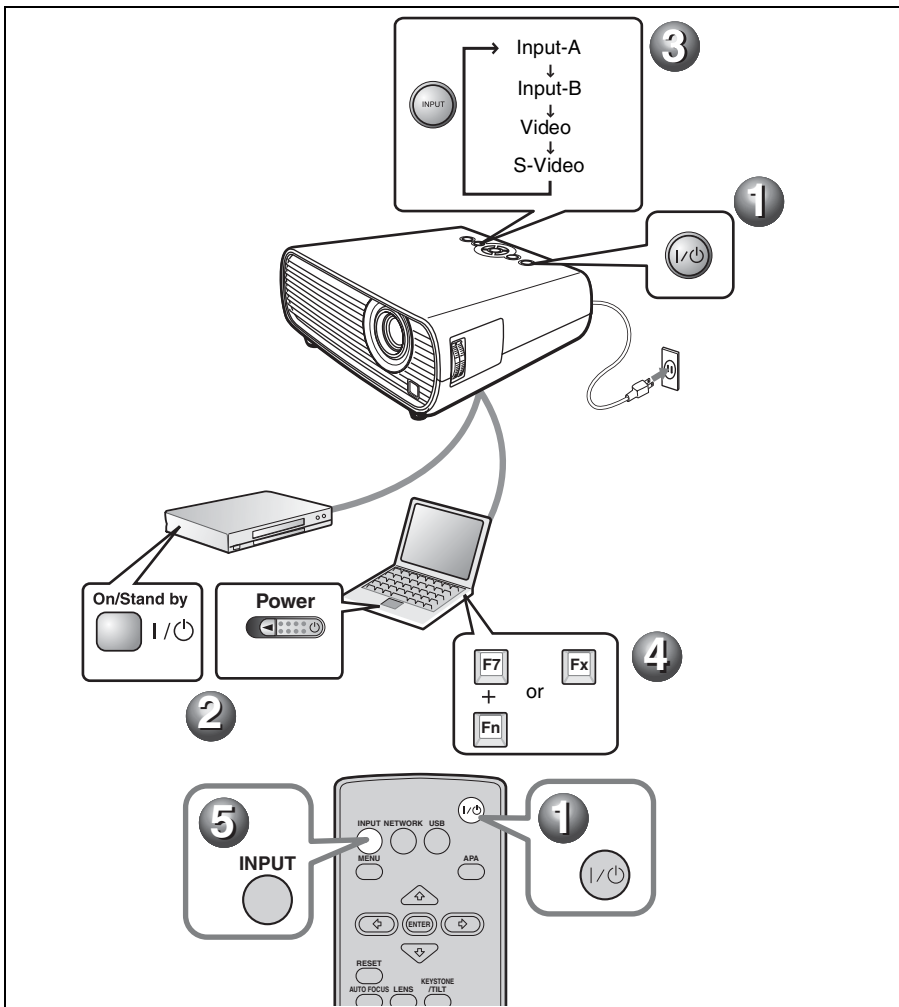
Projecting

Projecting

❶ **Press the I/⏻ (on/standby) key.**

❷ **Turn on the equipment connected to the projector.**

❸ **Press the INPUT key on the Remote Commander or the control panel to select the input source.**

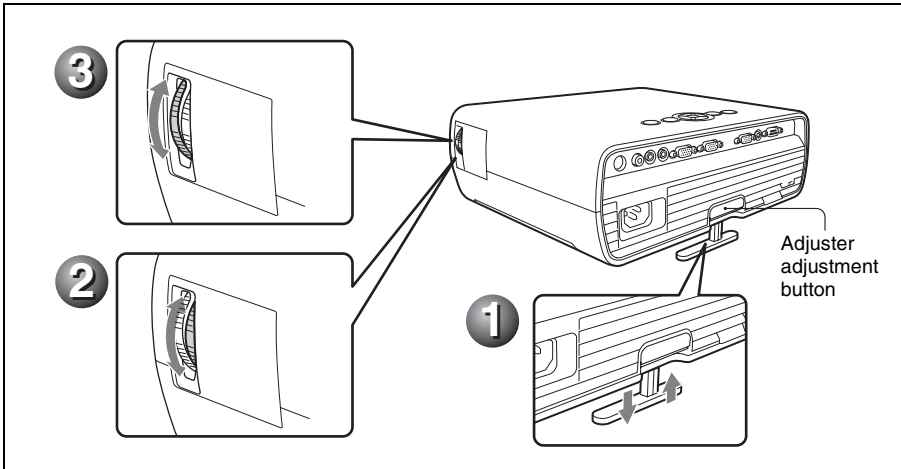
❹ **When the computer is connected, set it to output the signal to only the external monitor.**

Adjusting the Projector

❶ **Adjust the position of the picture.**

Lift the projector while pressing the adjuster adjustment button, and adjust the tilt of the projector, then release the button to lock the adjuster.

❷ **Adjust the size of the picture.**

❸ **Adjust the focus.**

The projector is equipped with the Picture menu to select the picture mode, and the Screen menu to select the appropriate aspect ratio of the picture.

Turning off the Power

1 Press the I/⏻ (on/standby) key.

2 When a message appears, press the I/⏻ (on/standby) key again.

3 Unplug the AC power cord from the wall outlet after the fan stops running and the I/⏻ (on/standby) key lights in red. (Except when using the Direct Power On/Off function or the Off & Go function.)

Replacing the Lamp

The lamp used as a light source is consumable product. Thus replace the lamp with a new one in the following cases.

- When the lamp has burnt out or dims
- "Please replace the Lamp." appears on the screen
- The LAMP/COVER indicator lights up (repeats flashing three times)

The lamp life varies depending on conditions of use.
Use an LMP-E210 Projector Lamp as the replacement lamp.
Use of any other lamps than the LMP-E210 may cause damage to the projector.

Notes

- **If the lamp breaks, ask qualified Sony personnel to replace the lamp and to check inside.**
- Pull out the lamp by grasping the holders.
- When removing the lamp, make sure it remains horizontal, then pull straight up. Do not tilt the lamp. If you pull out the lamp while it is tilted and if the lamp breaks.

1 Turn off the projector, and disconnect the AC power cord from the AC outlet.

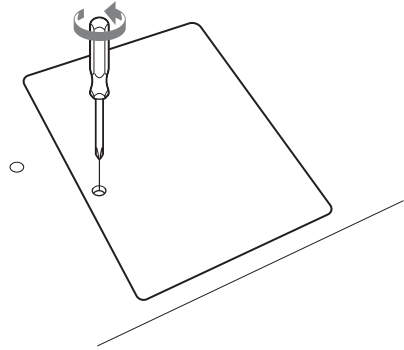
Note

When replacing the lamp after using the projector, wait for at least an hour for the lamp to cool.

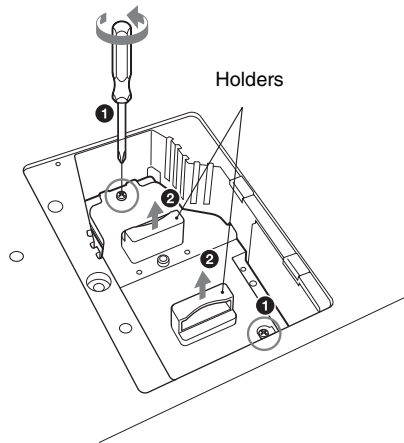
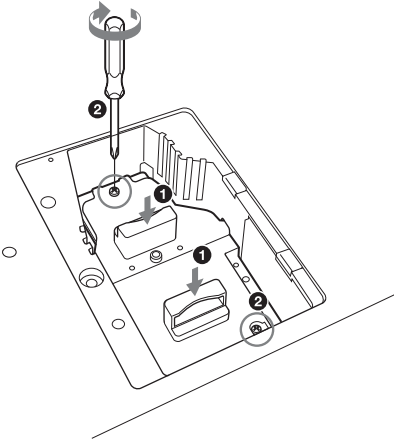
2 Place a protective sheet (cloth) beneath the projector. Turn the projector over so you can see its underside.

Note

Be sure that the projector is stable after turning it over.

3 Open the lamp cover by loosening the screw with a Phillips screwdriver.

Note

For safety reasons, do not loosen any other screws.

4 Loosen the two screws on the lamp unit with the Phillips screwdriver (❶). Grasp the holders with your fingers and pull out the lamp unit (❷).

5 Insert the new lamp all the way in until it is securely in place (❶). Tighten the two screws (❷).

Notes

- Be careful not to touch the glass surface of the lamp.
- The power will not turn on if the lamp is not secured properly.
- Do not allow any liquid or other objects into the slot **to avoid electrical shock or fire.**

6 Close the lamp cover and tighten the screw.

Note

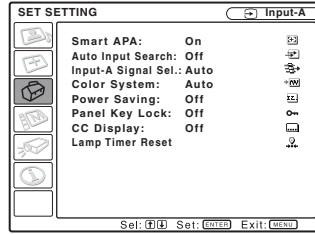
Be sure to attach the lamp cover securely as it was. If not, the projector cannot be turned on.

7 Turn the projector back over.

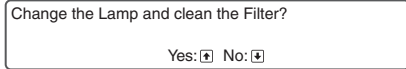
8 Connect the power cord.
The I/⏻ key lights in red.

9 Press the I/⏻ key to turn the projector on.

10 Press the MENU key, and then select the SET SETTING menu.

11 Select "Lamp Timer Reset," and then press the ENTER key.

12 Select "Execute" with the ▼ key, and then press the ENTER key.
The Lamp Timer is initialized to 0, and "Change the Lamp and clean the Filter?" is displayed in the menu screen.

Change the Lamp and clean the Filter?

Yes: ⇧ No: ⇩

Refer to page 14 for "Cleaning the Air Filter."

13 Select "Yes" with the ▲ key.
"Lamp Timer Reset Complete!" is displayed in the menu screen.

Disposal of the used lamp

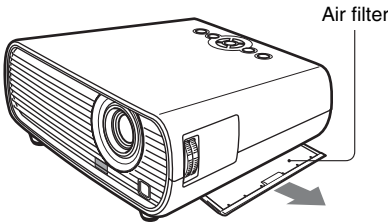
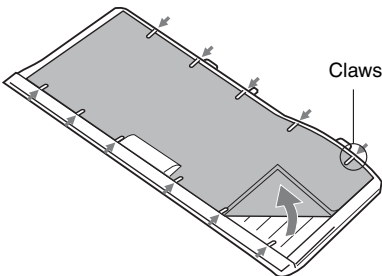
For the customers in the USA

Lamp in this product contains mercury. Disposal of these materials may be regulated due to environmental considerations. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Electronic Industries Alliance (www.eiae.org).

Cleaning the Air Filter

The air filter should be cleaned whenever you replace the lamp. Remove the air filter, and then remove the dust with a vacuum cleaner.
The time needed to clean the air filter will vary depending on the environment or how the projector is used.
When it becomes difficult to remove the dust from the filter with a vacuum cleaner, remove the air filter and wash it.

1 Turn the power off and unplug the power cord.

2 Draw out the air filter cover and remove it.

3 Remove the air filter.

4 Wash the air filter with a mild detergent solution and dry it in a shaded place.

5 Attach the air filter so that it fits into the each claws on the air filter cover and replace the cover.

Notes

- **If you neglect to clean the air filter, dust may accumulate, clogging it. As a result, the temperature may rise inside the unit, leading to a possible malfunction or fire.**
- Be sure to attach the air filter cover firmly; the power can not be turned on if it is not closed securely.
- The air filter has a face and a reverse side. Place the air filter so that it fits in a notch on the air filter cover.

Troubleshooting

If the projector appears to be operating erratically, try to diagnose and correct the problem using the following instructions. If the problem persists, consult with qualified Sony personnel.
For details on the symptoms, see the Operating Instructions contained in the CD-ROM.

Power

Symptom	Cause and Remedy
The power is not turned on.	• The power has been turned off and on with the I/⏻ key at a short interval. ➔ Wait for about 90 seconds before turning on the power. • The lamp cover is not secured. ➔ Close the lamp cover securely. • The air filter cover is detached. ➔ Attach the air filter cover securely.

Picture

Symptom	Cause and Remedy
No picture.	• A cable is disconnected or the connections are wrong. ➔ Check that the proper connections have been made. • The connections are wrong. ➔ This projector is compatible with DDC2B (Digital Data Channel 2B). If your computer is compatible with DDC, turn the projector on according to the following procedures. **1** Connect the projector to the computer. **2** Turn the projector on. **3** Start the computer. • Input selection is incorrect. ➔ Select the input source correctly. • The picture is muted. ➔ Press the PIC MUTING key to release the picture muting. • The computer signal is not set to output to an external monitor or set to output both to an external monitor and a LCD monitor of a computer. ➔ Set the computer signal to output **only** to an external monitor .
The picture is noisy.	Noise may appear on the background depending on the combination of the number of dots input from the computer and the numbers of pixels on the LCD panel. ➔ Change the desktop pattern on the connected computer.
The picture is not clear.	• The picture is out of focus. ➔ Adjust the focus. • Condensation has accumulated on the lens. ➔ Leave the projector for about two hours with the power on.
The image extends beyond the screen.	The APA key has been pressed even though there are black edges around the image. ➔ Display the full image on the screen and press the APA key. ➔ Adjust “Shift” in the INPUT SETTING menu properly.

Symptom	Cause and Remedy
The picture flickers.	"Dot Phase" in the INPUT SETTING menu has not been adjusted properly. → Adjust "Dot Phase" in the INPUT SETTING menu properly.

Indicators

Symptom	Cause and Remedy
The LAMP/COVER indicator flashes in orange. (Repetition rate of 2 flashes)	The lamp cover or the air filter cover is detached. → Attach the cover securely.
The LAMP/COVER indicator flashes in orange. (Repetition rate of 3 flashes)	• The lamp has reached the end of its life. → Replace the lamp. • The lamp has reached a high temperature. → Wait for 60 seconds to cool the lamp and then turn on the power again.
I/⏻ key flashes in red. (Repetition rate of 2 flashes)	• The internal temperature is unusually high. → Check to see that nothing is blocking the ventilation holes. • The projector is being used at a high altitude. → Ensure that "High Altitude Mode" in the INSTALL SETTING menu is set to "On."
I/⏻ key flashes in red. (Repetition rate of 4 flashes)	The fan is broken. → Consult with qualified Sony personnel.
I/⏻ key flashes in red. (Repetition rate of 6 flashes)	Unplug the AC power cord from the wall outlet after the I/⏻ indicator goes out, plug the power cord to the wall outlet, and then turn the projector on again. If the I/⏻ flashes in red and the problem persists, the electrical system has failed. → Consult with qualified Sony personnel.

Specifications

Projection system
3 LCD panels, 1 lens, projection system

LCD panel 0.63-inch (16.0 mm) XGA panel, about 2,360,000 pixels (1024 × 768 × 3)

Lamp 210 W Ultra high pressure lamp

Projected picture size
40 to 300-inches (1,016 to 7,620 mm)

Light output[1)] 3000 lm

1) When the Lamp Mode is set to "High."

Throwing distance (When placed on the floor./ Adjuster not stretched, and the V Keystone function has been done.)
40-inch (1,016 mm): 1.2 to 1.4 m (3.9 to 4.6 feet)
80-inch (2,032 mm): 2.4 to 2.7 m (7.9 to 8.9 feet)
100-inch (2,540 mm): 3.0 to 3.4 m (9.8 to 11.1 feet)
150-inch (3,810 mm): 4.5 to 5.2 m (14.8 to 17.1 feet)
200-inch (5,080 mm): 6.0 to 6.9 m (19.7 to 22.6 feet)
250-inch (6,350 mm): 7.5 to 8.6 m (24.6 to 28.2 feet)
300-inch (7,620 mm): 9.0 to 10.3 m (29.5 to 33.8 feet)

Color system NTSC3.58/PAL/SECAM/ NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/ PAL60 system, switched automatically/manually
(NTSC4.43 is the color system used when playing back a video recorded in NTSC on a NTSC4.43 system VCR.)

Acceptable computer signals[2)]
fH: 19 to 92 kHz
fV: 48 to 92 Hz
(Maximum input signal resolution: SXGA+ 1400 × 1050 fV: 60 Hz)

2) Set the resolution and the frequency of the signal of the connected computer within the range of acceptable preset signals of the projector.

Applicable video signals
15 k RGB 50/60 Hz, Progressive component 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), Composite video, Y/C video

Dimensions Approx. 313.4 × 114.1 × 269 mm (12 11/32 × 4 1/2 × 10 19/32 inches) (w/h/d) (not including the projection parts)

Mass Approx. 3.1 kg (6 lb 13 oz)

Power requirements
AC 100 to 240 V, 2.7 to 1.1 A, 50/60 Hz

Power consumption
Max.270 W
During standby (Standard): 3 W
During standby (Low): 1 W

Operating temperature
0 °C to 40 °C (32 °F to 104 °F)

Supplied accessories
Remote Commander (1)
CR2025 Lithium battery (1) (installed in the Remote Commander)
HD D-sub 15 pin cable (1.8 m) (1) (1-967-100-11/Sony)
AC power cord (1)
Lens cap (1)
Operating Instructions (CD-ROM) (1)
Quick Reference Manual (1)
Security Label (1)

Design and specifications of the unit, including the optional accessories, are subject to change without notice.

Note

Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.

Optional accessories

Projector Lamp
LMP-E210

Not all optional accessories are available in all countries.
Please check with your local Sony Authorized Dealer.

AVERTISSEMENT

Afin de réduire les risques d'incendie ou d'électrocution, ne pas exposer cet appareil à la pluie ou à l'humidité.

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

ATTENTION

Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur.
Lorsque vous mettez la batterie au rebut, vous devez respecter la législation en vigueur dans le pays ou la région où vous vous trouvez.

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil.
En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

1. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

IMPORTANT

La plaque signalétique se situe sous l'appareil.

Pour les clients au Canada

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Pour les clients en Europe

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Japon.
Le représentant autorisé pour EMC et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question concernant le service ou la garantie, veuillez consulter les adresses indiquées dans les documents de service ou de garantie séparés.

Table de matières

FR

Précautions

Sécurité

- Assurez-vous que la tension de service de votre appareil est identique à la tension locale. Si un adaptateur de tension est nécessaire, informez-vous auprès d'un technicien Sony agréé.
- Si du liquide ou un objet quelconque venait à pénétrer dans le boîtier, débranchez l'appareil et faites-le vérifier par un personnel qualifié avant de le remettre en service.
- Débranchez l'appareil de la prise murale en cas de non-utilisation pendant plusieurs jours.
- Pour débrancher le cordon, tirez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- La prise murale doit se trouver à proximité de l'appareil et être facile d'accès.
- L'appareil n'est pas déconnecté de la source d'alimentation (secteur) tant qu'il reste branché à la prise murale, même s'il a été mis hors tension.
- Ne regardez pas dans l'objectif lorsque la lampe est allumée.
- Ne placez ni la main ni des objets à proximité des orifices de ventilation. L'air expulsé est brûlant.
- Faites attention à ce que vos doigts ne se trouvent pas coincés dans le dispositif de réglage.
- N'étalez ni tissu ni papier sous l'appareil.

Eclairage

- Pour une qualité d'image optimale, la face avant de l'écran ne doit pas être directement exposée à une source d'éclairage ou au rayonnement solaire.
- Nous préconisons un éclairage au moyen de spots fixés au plafond. Masquez les lampes fluorescentes pour éviter une altération du niveau de contraste.
- Occultez les fenêtres qui font face à l'écran au moyen de rideaux opaques.
- Il est préférable d'installer l'appareil dans une pièce où le sol et les murs ne sont pas revêtus d'un matériau réfléchissant la lumière. Si le sol et les murs sont revêtus d'un matériau réfléchissant la lumière, nous vous recommandons de remplacer le revêtement de sol et le revêtement mural par des revêtements de couleur sombre.

Prévention de l'accumulation de chaleur interne

L'appareil est équipé d'orifices de ventilation (prise d'air) et d'orifices de ventilation (sortie d'air). N'obstruez pas ces orifices et ne placez rien à proximité car vous risqueriez de provoquer une surchauffe interne pouvant entraîner une altération de l'image ou des dommages à l'appareil.

Nettoyage

Avant le nettoyage

Veillez à débrancher le cordon d'alimentation secteur de la prise secteur.

Nettoyage du filtre à air

- Nettoyez le filtre à air chaque fois que vous changez la lampe.
- Voir « Nettoyage du filtre à air » à la page 13 pour le nettoyage du filtre à air.

Nettoyage de l'objectif

La surface de l'objectif a été soumise à un traitement spécial destiné à réduire la réflexion de la lumière.
Un entretien incorrect peut réduire les performances du projecteur. Veillez à respecter ce qui suit :

- Evitez de toucher l'objectif. Pour dépoussiérer l'objectif, employez un chiffon doux et sec. N'utilisez pas de chiffon humide, de solution détergente ni de diluant.
- Passez un chiffon doux (chiffon de nettoyage ou pour vitres) sur l'objectif, sans frotter.
- Eliminez les taches tenaces avec un chiffon doux (chiffon de nettoyage ou pour vitres) légèrement imprégné d'eau.
- N'utilisez jamais de solvants tels que l'alcool, le benzène, les diluants ou les détergents acides, alcalins ou abrasifs, ni un chiffon de nettoyage chimique, car ils risqueraient d'endommager la surface de l'objectif.

Nettoyage du boîtier

- Nettoyez le boîtier avec un chiffon doux et sec. Eliminez les taches tenaces avec un chiffon légèrement imprégné d'une solution détergente neutre, puis essuyez avec un chiffon doux et sec.
- L'utilisation d'alcool, de benzène, de diluants ou d'insecticide risque d'endommager la finition du boîtier ou d'effacer les indications figurant sur ce dernier. N'utilisez pas ces produits chimiques.
- Si vous frottez le boîtier avec un chiffon sale, vous risquez de le griffer.
- En cas de contact prolongé du boîtier avec du caoutchouc ou de la résine vinylique, la finition risque de se détériorer ou le revêtement de se décoller.

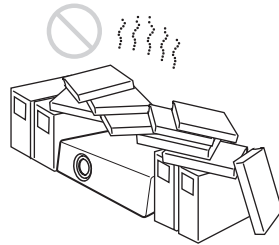
Projecteur de données LCD

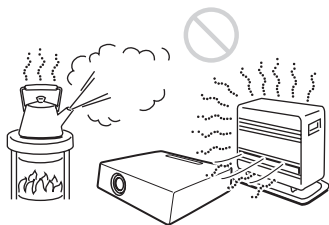
Ce projecteur de données LCD est fabriqué au moyen d'une technologie de haute précision. Il se peut toutefois que vous constatiez que de petits points noirs et/ou lumineux (rouges, bleus ou verts) apparaissent continuellement sur le projecteur de données LCD. Ceci est un résultat normal du processus de fabrication et n'est pas le signe d'un dysfonctionnement.
Lorsque les images sont projetées sur les écrans à partir de plusieurs projecteurs de données LCD, elles risquent de générer des distinctions de couleurs car chaque projecteur a son propre équilibre des couleurs même si les modèles des projecteurs sont identiques.

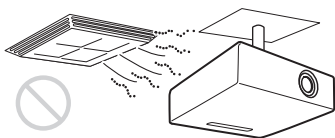
Remarques sur l'installation et l'utilisation

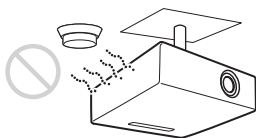
Installation déconseillée

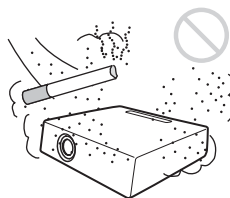
N'installez pas le projecteur dans les situations suivantes. **L'installation dans ces situations ou ces emplacements risque de causer un dysfonctionnement ou d'endommager** l'appareil.

Emplacements avec ventilation insuffisante

- Assurez une circulation d'air adéquate afin d'éviter toute surchauffe interne. Ne placez pas le projecteur sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation. Lorsque l'obstruction des orifices de ventilation entraîne une surchauffe interne, le capteur de température fonctionne et l'appareil est automatiquement mis hors tension.
- Laissez un dégagement de plus de 30 cm (11 $^{7}/_{8}$ pouces) autour de l'appareil.
- Veillez à ce que les orifices de ventilation n'avalent pas de tout petits objets tels que des morceaux de papier ou des amas de poussière.

Chaud et humide

- Evitez d'installer l'appareil dans un emplacement où la température ou l'humidité sont très élevées ou dans un endroit très froid.
- Pour éviter la condensation d'humidité, n'installez pas l'appareil dans un emplacement où la température est susceptible d'augmenter rapidement.

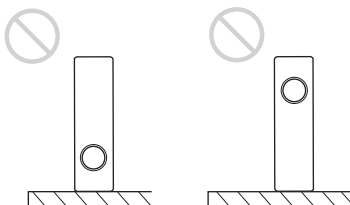
Emplacements exposés directement au flux d'air froid ou chaud d'un climatiseur

L'installation du projecteur dans un tel emplacement peut causer un dysfonctionnement de l'appareil dû à la condensation d'humidité ou à une augmentation de la température.

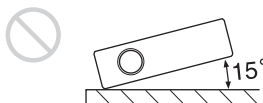
A proximité d'un capteur de chaleur ou de fumée

Cela peut causer un dysfonctionnement du capteur.

Emplacements très poussiéreux ou extrêmement enfumés

Evitez d'installer pas l'appareil dans un environnement très poussiéreux ou extrêmement enfumé. Le filtre à air pourrait s'obstruer avec, pour résultat, un dysfonctionnement ou des dommages à l'appareil. La poussière empêchant le passage de l'air à travers le filtre risque d'entraîner une surchauffe interne de l'appareil. Nettoyez le filtre à air chaque fois que vous changez la lampe.

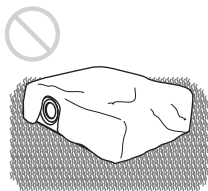
Conditions déconseillées

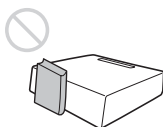
N'utilisez pas le projecteur dans les conditions suivantes.

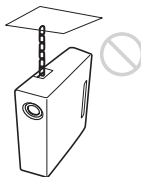
Ne placez pas l'appareil à la verticale sur le côté

Evitez d'utiliser l'appareil en le plaçant à la verticale sur le côté. Car cela pourrait provoquer un dysfonctionnement.

N'inclinez l'appareil ni à droite ni à gauche

Evitez d'incliner l'appareil à un angle de 15°, et évitez d'installer l'appareil autrement

que sur une surface de niveau ou suspendu au plafond. Une telle installation risque d'entraîner des taches couleur ou une usure prématurée de la lampe.

N'obstruez pas les orifices de ventilation

Evitez d'utiliser un tapis à grosses peluches ou tout autre objet pouvant couvrir les orifices de ventilation (sortie d'air/entrée d'air) car cela pourrait entraîner une surchauffe interne.

Ne placer aucun objet pouvant faire obstacle juste devant l'objectif

Ne placez aucun objet juste devant l'objectif qui pourrait bloquer la lumière durant la projection. La chaleur provenant de la lumière risque d'endommager l'objet. Utilisez la touche PIC MUTING pour supprimer l'image.

N'utilisez pas la barre antivol pour le transport ou l'installation

Utilisez la barre antivol située à l'arrière du projecteur pour le protéger contre le vol, en fixant un câble de protection contre le vol disponible dans le commerce par exemple. Si vous soulevez le projecteur en tenant la barre antivol, ou si vous suspendez le projecteur à l'aide de cette barre, il risque de tomber ou d'être endommagé.

Utilisation à haute altitude

Pour une utilisation du projecteur à une altitude de 1 500 m ou plus, activez « Mode haute altit. » dans le menu RÉGLAGE D'INSTALLATION. Si ce réglage du mode n'est pas effectué lors d'une utilisation du projecteur à haute altitude, des effets négatifs peuvent s'ensuivre, tels qu'une baisse de la fiabilité de certains composants.

Remarques sur l'utilisation

Remarque sur le transport du projecteur

L'appareil est fabriqué au moyen d'une technologie de haute précision. Lors du transport de l'appareil rangé ne le laissez pas tomber et ne le soumettez pas à des chocs car cela pourrait l'endommager.

Remarque sur l'écran

Si un écran à surface inégale est utilisé, il se peut, dans de rares cas, qu'un motif de lignes apparaisse sur l'écran en fonction de la distance qui sépare l'écran de l'appareil ou en fonction du taux de grossissement du zoom. Il ne s'agit pas d'un dysfonctionnement du projecteur.

Utilisation des manuels sur le CD-ROM

Le CD-ROM fourni contient les fichiers Mode d'emploi et ReadMe en japonais, anglais, français, allemand, italien, espagnol, chinois et russe. Consultez d'abord le fichier ReadMe.

Préparatifs

Vous devez utiliser Adobe Acrobat Reader 5.0 ou une version ultérieure pour lire le Mode d'emploi sur le CD-ROM. Si Adobe Acrobat Reader n'est pas installé sur votre ordinateur, vous pouvez télécharger gratuitement le logiciel Acrobat Reader de l'URL d'Adobe Systems.

Comment lire le Mode d'emploi

Les Mode d'emploi sont enregistrées dans le CD-ROM fourni. Introduisez le CD-ROM fourni dans le lecteur de CD-ROM de votre ordinateur, et le CD-ROM démarrera automatiquement au bout d'un certain temps. Sélectionnez le Mode d'emploi que vous souhaitez lire.
Le CD-ROM risque de ne pas démarrer automatiquement, selon l'ordinateur. Dans ce cas, ouvrez le fichier du Mode d'emploi de la façon suivante :

(Dans le cas de Windows)

① Ouvrez « Poste de travail. »
(« Ordinateur » s'affiche dans Windows Vista.)

② Cliquez avec le bouton droit de la souris sur l'icône du CD-ROM et sélectionnez « Explorer ».

③ Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le Mode d'emploi que vous souhaitez lire.

(Dans le cas de Macintosh)

① Double-cliquez sur l'icône de CD-ROM sur le bureau.

② Double-cliquez sur le fichier « index.htm » et sélectionnez le Mode d'emploi que vous souhaitez lire.

Remarque

Si vous ne parvenez pas à ouvrir le fichier « index.htm », double-cliquez sur le Mode d'emploi que vous souhaitez lire dans le dossier « Operating_Instructions ».

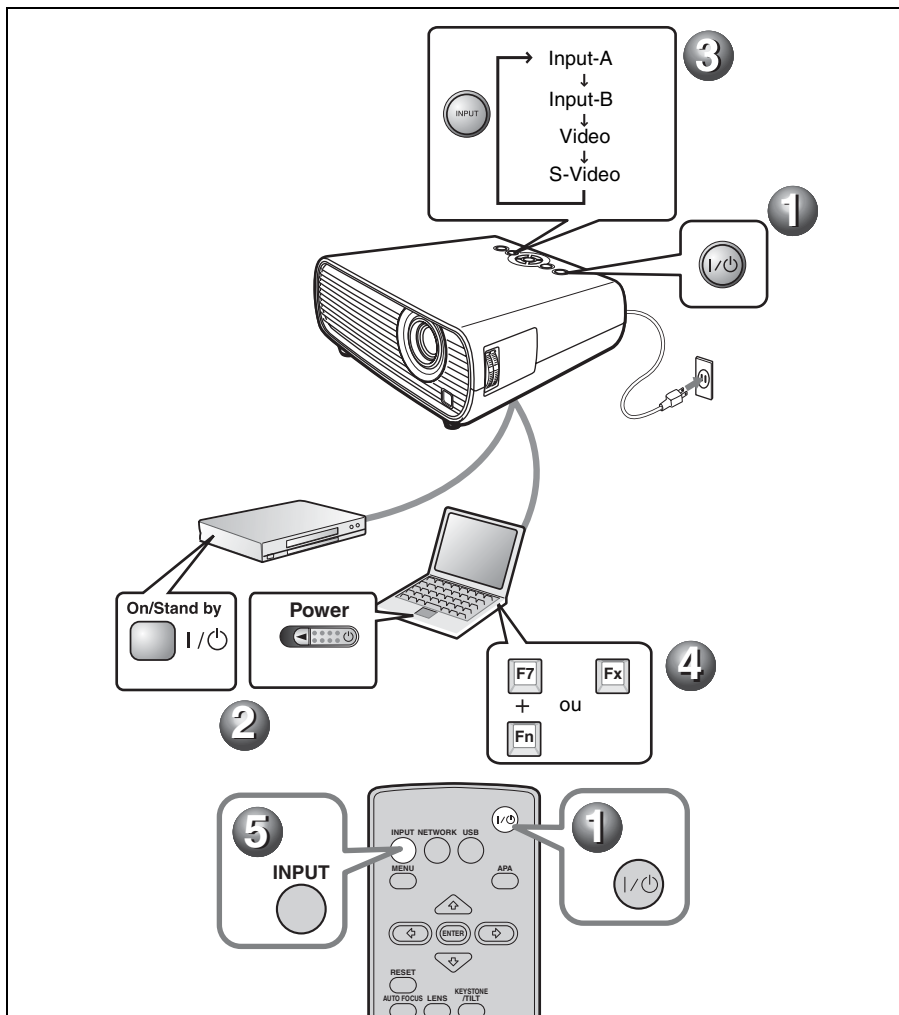
Projection

Projection

❶ **Appuyez sur la touche I/⏻ (marche/veille).**

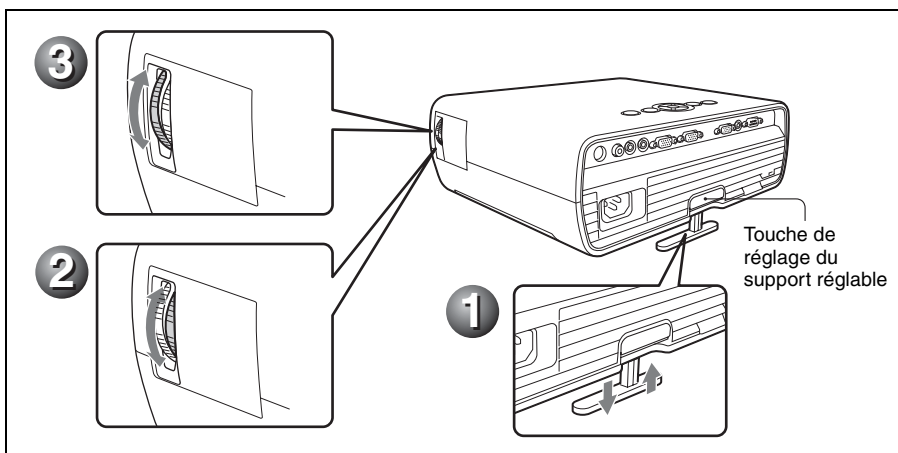
❷ **Mettez l'appareil raccordé au projecteur sous tension.**

❸ **Appuyez sur la touche INPUT de la télécommande ou du panneau de commande pour sélectionner la source d'entrée.**

❹ **Lorsque l'ordinateur est raccordé, faites en sorte que le signal soit émis vers le moniteur externe uniquement.**

Réglage du projecteur

❶ **Réglez la position de l'image.**
Soulevez le projecteur tout en appuyant sur le bouton de réglage du support réglable, et réglez l'inclinaison du projecteur, puis relâchez le bouton pour verrouiller le support réglable.

❷ **Réglez la taille de l'image.**

❸ **Réglez la mise au point.**
Le projecteur est équipé du menu Image pour sélectionner le mode d'image, et du menu Ecran pour sélectionner le rapport de format de l'image.

Mise hors tension

1 Appuyez sur la touche I/⏻ (marche/veille).

2 Appuyez de nouveau sur la touche I/⏻ (marche/veille) lorsqu'un message apparaît.

3 Débranchez la prise d'alimentation secteur de la prise murale une fois que le ventilateur a fini de tourner et la touche I/⏻ (marche/vielle) s'allume en rouge. (Sauf lorsque vous utilisez la fonction de mise sous/hors tension directe et la fonction Off & Go.)

Remplacement de la lampe

La lampe utilisée comme source d'éclairage est un produit consommable. Par conséquent, remplacez la lampe par une neuve dans les cas suivants.
- Lorsque la lampe a grillé ou perdu de sa luminosité
- « Remplacer la lampe. » s'affiche sur l'écran.
- L'indicateur LAMP/COVER s'allume (clignote trois fois)

La durée de vie de la lampe dépend des conditions d'utilisation.
Utilisez une lampe pour projecteur LMP-E210 comme lampe de rechange. L'utilisation d'une lampe autre que LMP-E210 peut provoquer des dommages au projecteur.

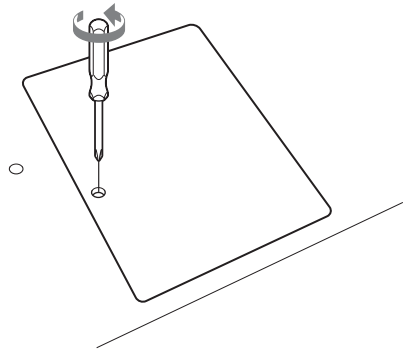
Remarques
- **Si la lampe devait se casser, demandez l'intervention du personnel qualifié Sony qui remplacera la lampe et vérifiera l'intérieur de l'appareil.**
- Tirez la lampe en tenant les supports.
- Lorsque vous retirez la lampe, assurez-vous qu'elle demeure à l'horizontale, et tirez bien droit vers le haut. N'inclinez pas la lampe. Si vous extrayez la lampe inclinée et que la lampe se casse.

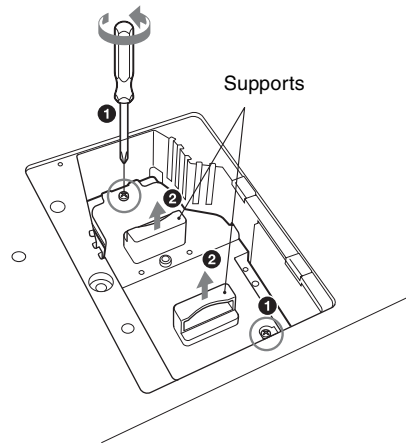
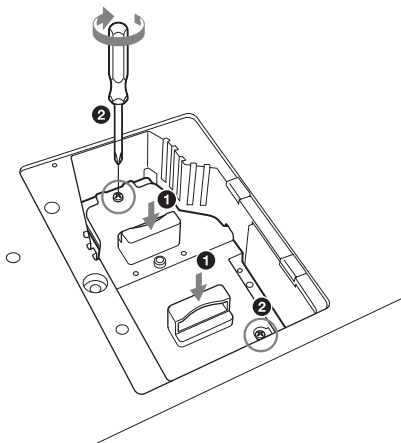
1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation secteur de la prise secteur.

Remarque
Avant de remplacer la lampe après avoir utilisé le projecteur, attendez au moins une heure pour lui permettre de se refroidir.

2 Placez une feuille de protection (textile) sous le projecteur. Retournez le projecteur de façon à en voir le dessous.

Remarque
Veillez à ce que le projecteur ne bascule pas après avoir été retourné.

3 Ouvrez le couvercle de la lampe en desserrant la vis avec un tournevis cruciforme.

Remarque
Par mesure de sécurité, ne desserrez pas d'autres vis.

4 Dévissez les deux vis sur la lampe avec un tournevis cruciforme (❶). Tenez les supports avec les doigts et tirez la lampe (❷).

5 Introduisez la nouvelle lampe à fond jusqu'à ce qu'elle soit correctement en place (❶). Serrez les deux vis (❷).

Remarques

- Veillez à ne pas toucher la surface en verre de la lampe.
- Le projecteur ne se met pas sous tension si la lampe n'est pas correctement installée.
- Veillez à ce qu'aucun liquide ou objet ne tombe à l'intérieur de la fente **afin d'éviter tout risque d'électrocution ou d'incendie.**

6 Refermez le couvercle de la lampe et serrez la vis.

Remarque

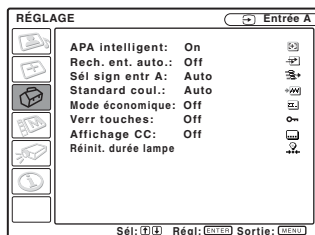
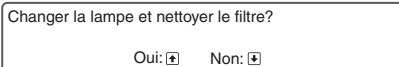
Assurez-vous de fixer solidement le couvercle de lampe dans sa position initiale. Sinon le projecteur ne peut pas être mis sous tension.

7 Remettez le projecteur à l'endroit.

8 Branchez le cordon d'alimentation. La touche I/⏻ s'allume en rouge.

9 Appuyez sur la touche I/⏻ pour mettre le projecteur sous tension.

10 Appuyez sur la touche MENU, puis sélectionnez le menu RÉGLAGE.

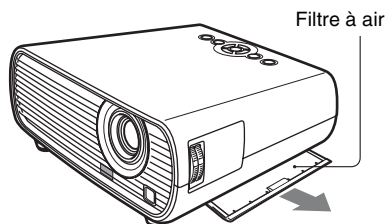
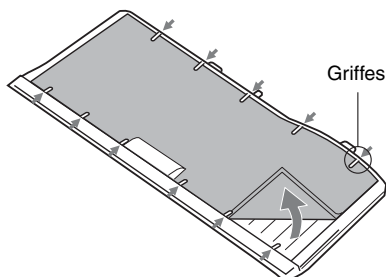
11 Sélectionnez « Réinit. durée lampe », puis appuyez sur la touche ENTER.

12 Sélectionnez « Exécuter » avec la touche ▼ et appuyez sur la touche ENTER.
La durée de lampe est remise à 0, et « Changer la lampe et nettoyer le filtre? » s'affiche sur l'écran de menu.

Reportez-vous à page 13 pour « Nettoyage du filtre à air ».

13 Sélectionnez « Oui » avec la touche ▲. « Réinitialisation de durée de lampe terminée! » s'affiche dans l'écran de menu.

Nettoyage du filtre à air

Vous devez nettoyer le filtre à air chaque fois que vous changez la lampe. Retirez le filtre à air, puis enlevez la poussière à l'aide d'un aspirateur.
Le temps nécessaire au nettoyage du filtre à air varie suivant l'environnement ou les conditions d'utilisation du projecteur. Quand il devient difficile d'enlever la poussière du filtre à l'aspirateur, ôtez le filtre à air et lavez-le.

1 Mettez le projecteur hors tension et débranchez le cordon d'alimentation.

2 Extrayez le couvercle du filtre à air et retirez-le.

3 Déposez le filtre à air.

4 Lavez le filtre à air au moyen d'une solution détergente neutre et faites-le sécher dans un endroit ombragé.

5 Posez le filtre à air en l'engageant dans chaque griffe du couvercle de filtre à air, puis remettez le couvercle en place.

Remarques

- **Si vous ne nettoyez pas le filtre à air, la poussière risque de s'y accumuler et de l'obstruer. La température peut alors augmenter à l'intérieur de l'appareil et causer un dysfonctionnement ou un incendie.**
- Fixez le couvercle du filtre à air correctement. Le projecteur ne peut pas être mis sous tension si le couvercle est mal fermé.
- Le filtre à air possède un côté avant et un côté arrière. Placez le filtre à air de sorte qu'il s'engage dans la rainure du couvercle du filtre à air.

Dépannage

Si le projecteur ne fonctionne pas correctement, essayez d'en déterminer la cause et de remédier au problème comme il est indiqué ci-dessous. Si le problème persiste, consultez le service après-vente Sony.
Pour des détails sur les symptômes, consultez le Mode d'emploi contenu dans le CD-ROM fourni.

Tension

Symptôme	Cause et remède
Le projecteur ne se met pas sous tension.	• Le projecteur a été mis hors et sous tension à brefs intervalles à l'aide de la touche I/⏻. ➔ Attendez environ 90 secondes avant de mettre le projecteur sous tension. • Le couvercle de lampe est mal fixé. ➔ Fermez correctement le couvercle de la lampe. • Le couvercle du filtre à air est mal fixé. ➔ Reposez correctement le couvercle du filtre à air.

Image

Symptôme	Cause et remède
Pas d'image.	• Un câble est débranché ou les raccordements sont incorrects. ➔ Vérifiez si le raccordement a été effectué correctement. • Les raccordements sont incorrects. ➔ Ce projecteur est compatible avec DDC2B (Digital Data Channel 2B - Canal de données numériques 2B). Si votre ordinateur est compatible avec DDC, mettez le projecteur sous tension en procédant comme suit. **1** Raccordez le projecteur à l'ordinateur. **2** Mettez le projecteur sous tension. **3** Démarrez l'ordinateur. • La sélection d'entrée est incorrecte. ➔ Sélectionnez la source d'entrée correctement. • L'image a été masquée. ➔ Appuyez sur la touche PIC MUTING pour faire réapparaître l'image. • Le signal de l'ordinateur n'est pas réglé sur sortie vers un moniteur externe ou réglé sur sortie vers un moniteur externe et un moniteur LCD d'un ordinateur. ➔ Paramétrez le signal d'ordinateur pour une sortie **seulement** vers un moniteur externe.
L'image est parasitée.	Des parasites peuvent apparaître à l'arrière-plan de l'image avec certaines combinaisons du nombre de pixels du signal reçu de l'ordinateur et du nombre de pixels sur le panneau LCD. ➔ Changez la configuration du bureau sur l'ordinateur utilisé.
L'image n'est pas nette.	• L'image est mal mise au point. ➔ Réglez la mise au point. • De la condensation s'est formée sur l'objectif. ➔ Laissez le projecteur sous tension pendant environ deux heures.

Symptôme	Cause et remède
L'image dépasse de l'écran.	Vous avez appuyé sur la touche APA bien qu'il y ait des bandes noires autour de l'image. ➔ Affichez l'image en entier sur l'écran et appuyez sur la touche APA. ➔ Réglez « Déplacement » correctement dans le menu RÉGLAGE DE L'ENTRÉE.
L'image tremblote.	Le paramètre « Phase des points » du menu RÉGLAGE DE L'ENTRÉE n'a pas été bien réglé. ➔ Réglez « Phase des points » correctement dans le menu RÉGLAGE DE L'ENTRÉE.

Indicateurs

Symptôme	Cause et remède
L'indicateur LAMP/ COVER clignote en orange. (Taux de répétition de 2 clignotements)	Le couvercle de la lampe ou du filtre à air est mal fixé. ➔ Fixez correctement le couvercle.
L'indicateur LAMP/ COVER clignote en orange. (Taux de répétition de 3 clignotements)	• La lampe a atteint la fin de sa durée de vie. ➔ Remplacez la lampe. • La lampe a atteint une température élevée. ➔ Attendez 60 secondes pour que la lampe se refroidisse, puis remettez le projecteur sous tension.
I/⏻ touche clignote en rouge. (Taux de répétition de 2 clignotements)	• La température à l'intérieur du projecteur est anormalement élevée. ➔ Assurez-vous que les orifices de ventilation ne sont pas obstrués. • Le projecteur est utilisé à haute altitude. ➔ Assurez-vous que « Mode haute altit. » du menu RÉGLAGE D'INSTALLATION est sur « On ».
I/⏻ touche clignote en rouge. (Taux de répétition de 4 clignotements)	Le ventilateur est défectueux. ➔ Consultez le service après-vente Sony.
I/⏻ touche clignote en rouge. (Taux de répétition de 6 clignotements)	Débranchez le cordon d'alimentation de la prise murale une fois le témoin I/⏻ éteint, puis rebranchez-le et remettez le projecteur sous tension. Si le témoin I/⏻ clignote en rouge et que le problème persiste, le circuit électrique est en panne. ➔ Consultez le service après-vente Sony.

Spécifications

Système de projection
panneaux 3 LCD, 1 lentille, système de projection

Panneau LCD
Panneau XGA 0,63 pouce (16,0 mm), env. 2 360 000 pixels (1024 × 768 × 3)

Lampe lampe ultra haute pression 210 W

Dimensions de l’image projetée
40 à 300 pouces (1 016 à 7 620 mm)

Sortie de lumière[1)]
3000 lm

1) Lorsque Mode de lampe est sur « Haut ».

Distance de projection (Lorsqu’il est placé à terre./Dispositif de réglage non étendu, fonction Trapèze V effectuée.)
40-pouces (1 016 mm) :
1,2 à 1,4 m (3,9 à 4,6 pieds)
80-pouces (2 032 mm) :
2,4 à 2,7 m (7,9 à 8,9 pieds)
100-pouces (2 540 mm) :
3,0 à 3,4 m (9,8 à 11,1 pieds)
150-pouces (3 810 mm) :
4,5 à 5,2 m (14,8 à 17,1 pieds)
200-pouces (5 080 mm) :
6,0 à 6,9 m (19,7 à 22,6 pieds)
250-pouces (6 350 mm) :
7,5 à 8,6 m (24,6 à 28,2 pieds)
300-pouces (7 620 mm) :
9,0 à 10,3 m (29,5 à 33,8 pieds)

Standard couleur Système
NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60, sélection automatique/manuelle
(NTSC4.43 est le standard couleur utilisé lors de la lecture d’une cassette vidéo enregistrée en NTSC sur un magnétoscope NTSC4.43.)

Signaux d’ordinateur compatibles[2)]
fH : 19 à 92 kHz
fV : 48 à 92 Hz
(Résolution maximale du signal d’entrée : SXGA+ 1400 × 1050 fV : 60 Hz)

2) Spécifiez la résolution et la fréquence du signal de l’ordinateur utilisé dans les limites des signaux préprogrammés admissibles du projecteur.

Signaux vidéo utilisables
RGB 15 k 50/60 Hz, composantes progressives 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), vidéo composite, vidéo Y/C

Dimensions Environ 313,4 × 114,1 × 269 mm (12 11/32 × 4 1/2 × 10 19/32 pouces) (l/h/p) (parties saillantes exclues)

Poids Environ 3,1 kg (6 livres 13 onces)

Puissance requise
CA 100 à 240 V, 2,7 à 1,1 A, 50/60 Hz

Puissance absorbée
Max.270 W
En cours de veille (Standard) : 3 W
En cours de veille (Bas) : 1 W

Température de fonctionnement
0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F)

Accessoires fournis
Télécommande (1)
Batterie au lithium CR2025 (1) (installée dans la télécommande)
Câble HD D-sub à 15 broches (1,8 m) (1) (1-967-100-11/Sony)
Cordon d’alimentation secteur (1)
Cache-objectif (1)
Mode d’emploi (CD-ROM) (1)
Guide de référence rapide (1)
Etiquette de sécurité (1)

La conception et les spécifications de l’appareil et de ses accessoires en option sont susceptibles d’être modifiées sans préavis.

Remarque

Vérifiez toujours que l’appareil fonctionne correctement avant l’utilisation. Sony n’assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu’ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu’elle soit.

Accessoires en option

Lampe de projecteur
LMP-E210

Les accessoires en option ne sont pas tous disponibles dans tous les pays et régions. Pour plus d’informations, veuillez contacter votre revendeur Sony agréé.

ADVERTENCIA

Para reducir el riesgo de electrocución, no exponga este aparato a la lluvia ni a la humedad.

Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.

PRECAUCIÓN

Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto.
Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante.
Cuando deseche la batería, debe cumplir con las leyes de la zona o del país.

ADVERTENCIA

Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte el enchufe de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte el enchufe de alimentación.

1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

IMPORTANTE

La placa de características está situada en la parte inferior.

Para los clientes de Europa

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, 108-0075 Japón.
El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

Contenido

ES

Precauciones

Seguridad

- Compruebe que la tensión de funcionamiento de la unidad sea la misma que la del suministro eléctrico local. Si es necesario adaptar la tensión, consulte con personal especializado de Sony.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y hágala revisar por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma de la pared cuando no vaya a utilizarla durante varios días.
- Para desconectar el cable tire del enchufe, nunca tire del propio cable.
- La toma de la pared debe encontrarse cerca de la unidad y ser de fácil acceso.
- La unidad no estará desconectada de la fuente de alimentación de CA (toma de corriente) mientras esté conectada a la toma mural, aunque haya apagado la unidad.
- No mire al objetivo mientras la lámpara esté encendida.
- No coloque la mano ni ningún objeto cerca de los orificios de ventilación, ya que el aire que sale es caliente.
- Tenga cuidado de no pillarse los dedos en el ajustador.
- No coloque ninguna tela ni papel debajo de la unidad.

Iluminación

- Con el fin de obtener imágenes de la mejor calidad posible, la parte frontal de la pantalla no debe estar expuesta a la luz solar ni a iluminaciones directas.
- Se recomienda utilizar una luz proyectora en el techo. Cubra las lámparas fluorescentes para evitar que se produzca una disminución en la relación de contraste.
- Cubra con tela opaca las ventanas que estén orientadas hacia la pantalla.
- Es recomendable instalar la unidad en una sala cuyo suelo y paredes estén hechos con materiales que no reflejen la luz. Si el suelo y las paredes están hechas de dicho tipo de material, se recomienda cambiar el color de éstos por uno oscuro.

Prevención de recalentamiento interno

La unidad está equipada con orificios de ventilación de entrada y de salida. No bloquee estos orificios ni coloque nada cerca de ellos, ya que si lo hace puede producirse un recalentamiento interno, causando el deterioro de la imagen o daños al proyector.

Limpieza

Antes de la limpieza

Asegúrese de desenchufar el cable de alimentación de la toma de CA.

Limpieza del filtro de aire

- Limpie el filtro de aire siempre que sustituya la lámpara.
- Remítase a “Limpieza del filtro de aire” en la página 13 para la limpieza del filtro de aire.

Limpieza del objetivo

La superficie del objetivo del monitor está tratada especialmente para reducir el reflejo de la luz.
Un mantenimiento incorrecto puede afectar al rendimiento del proyector, por lo que se debe tener en cuenta lo siguiente:

- Evite tocar el objetivo. Utilice un paño seco y suave para eliminar el polvo del objetivo. No utilice un paño húmedo, soluciones detergentes ni disolventes.
- Limpie suavemente el objetivo con un paño suave como un trapo o una gamuza.
- Las manchas persistentes pueden eliminarse con un paño suave, como un trapo o una gamuza, ligeramente humedecido con agua.
- No utilice nunca disolventes como alcohol, benceno o disolventes, ni detergentes ácidos, alcalinos o abrasivos, ni paños de limpieza con productos químicos, ya que dañarán la superficie del objetivo.

Limpieza del exterior de la unidad

- Limpie cuidadosamente la carcasa con un paño suave y seco. Las manchas persistentes pueden eliminarse con un

paño ligeramente humedecido en una solución detergente suave y, a continuación, pasando un paño seco y suave.
- El uso de alcohol, benceno, disolventes o insecticidas puede dañar el acabado de la carcasa, o borrar las indicaciones de la carcasa. No utilice estos productos químicos.
- Si se frota la carcasa con un paño sucio, la carcasa puede rayarse.
- Si la carcasa entra en contacto con goma o resina de vinilo durante un periodo de tiempo prolongado, el acabado de la carcasa podría deteriorarse y el recubrimiento podría desprenderse.

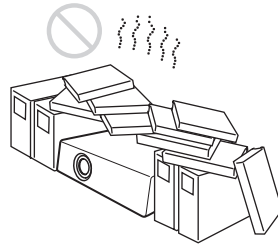
Proyector de datos LCD

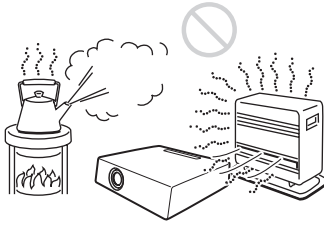
El proyector de datos LCD está fabricado con tecnología de alta precisión. No obstante, es posible que se observen pequeños puntos negros o brillantes (rojos, azules o verdes), de forma continua en el proyector de datos LCD. Se trata de un resultado normal del proceso de fabricación y no indica fallo de funcionamiento.
Cuando se proyectan las imágenes en las pantallas desde varios proyectores de datos LCD, pueden producirse distinciones de color porque cada proyector posee su propio equilibrio de color, aunque los proyectores sean del mismo modelo.

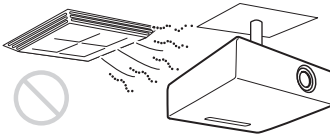
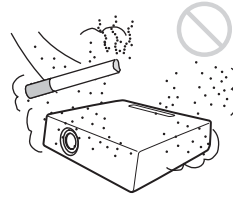
Notas sobre la instalación y el uso

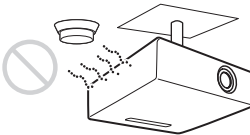
Instalación inadecuada

No instale el proyector en las siguientes situaciones. **La instalación en dichas situaciones o ubicaciones puede producir una anomalía de funcionamiento o dañar** la unidad.

Ubicaciones con ventilación escasa

- Permita una circulación de aire adecuada para evitar el recalentamiento interno. No coloque la unidad sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices) que puedan bloquear los orificios de ventilación. Si se produce recalentamiento interno debido al bloqueo de los orificios, el sensor de temperatura se activará y la alimentación se desactivará automáticamente.
- Deje un espacio superior a 30 cm (11 $^{7}/_{8}$ pulgadas) alrededor de la unidad.
- Tenga cuidado de no dejar que los orificios de ventilación aspiren objetos pequeños como trocitos de papel o acumulación de polvo.

Calor y humedad

- Evite instalar la unidad en lugares en los que la temperatura o la humedad sean muy elevadas, o en los que la temperatura sea muy baja.
- Para evitar que se condense humedad, no instale la unidad en lugares en los que la temperatura pueda aumentar rápidamente.

Ubicaciones expuestas a un flujo directo de aire frío o caliente procedente de un aparato de climatización

Si se instala el proyector en una ubicación de estas características, la unidad puede averiarse debido a la condensación de humedad o a un aumento de temperatura.

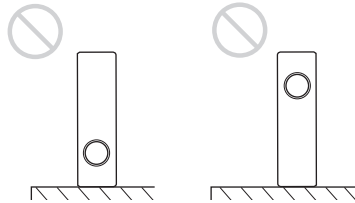
Cerca de un sensor de calor o de humo

Puede provocar que el sensor se averíe.

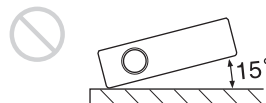
Ubicaciones con mucho polvo o humo excesivo

Evite instalar la unidad en un entorno en el que haya un exceso de polvo o humo. Si lo hace, el filtro del aire se obstruirá y es posible que la unidad se averíe o no funcione correctamente. El polvo, que impide que el aire pase por el filtro, puede provocar que la temperatura interna de la unidad aumente. Limpie el filtro de aire siempre que sustituya la lámpara.

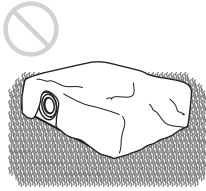
Condiciones inadecuadas

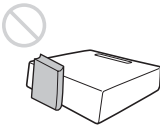
No emplee el proyector en las siguientes condiciones.

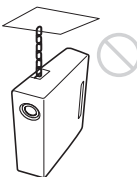
No coloque la unidad en posición vertical sobre un lateral

Evite utilizar la unidad en posición vertical apoyada sobre un lateral. Pueden producirse fallos de funcionamiento.

No incline la unidad a la derecha o a la izquierda

Evite inclinar la unidad a un ángulo de 15° y evite instalar la unidad de otra forma que no sea colocarla sobre una superficie nivelada o

suspendida del techo. Dicho tipo de instalación puede producir una degradación del color o acortar en exceso la vida útil de la lámpara.

No bloquee los orificios de ventilación

Evite utilizar una alfombra de pelo grueso ni nada que cubra los orificios de ventilación (entrada/salida); de lo contrario, puede producirse un recalentamiento interno.

No coloque ningún objeto que bloquee el objetivo justo delante del objetivo

No coloque ningún objeto justo delante del objetivo que pueda bloquear la luz durante la proyección. El calor de la luz puede dañar el objeto. Utilice la tecla PIC MUTING para interrumpir la imagen.

No utilice la barra de seguridad para el transporte o la instalación

Utilice la barra de seguridad en la parte trasera del proyector para evitar el robo colocando, por ejemplo, un cable de antirrobo de venta comercial. Si levanta el proyector sujetándolo por la barra de seguridad o lo cuelga con esta barra, el proyector podría caerse o sufrir daños.

Uso a altitudes elevadas

Si utiliza el proyector a una altitud de 1.500 m o más, active “Modo gran altitud” del menú AJUSTE INSTALACIÓN. Si no se establece este modo cuando se utiliza el proyector a altitudes elevadas pueden producirse efectos adversos, tales como la reducción de la fiabilidad de determinados componentes.

Notas sobre la utilización

Nota sobre el transporte del proyector

La unidad está fabricada con tecnología de alta precisión. Al transportar la unidad guardada, no la deje caer ni la golpee, puesto que puede resultar dañada.

Nota sobre la pantalla

Cuando utilice una pantalla de superficie irregular, en raras ocasiones aparecerá un patrón de bandas en la pantalla, dependiendo de la distancia entre la pantalla y el proyector o de los ajustes ampliación del zoom utilizados. Esto no significa una avería del proyector.

Empleo de los manuales en CD-ROM

El CD-ROM suministrado contiene el Manual de instrucciones y el archivo ReadMe en japonés, inglés, francés, alemán, italiano, español, chino y ruso. Lea en primer lugar el archivo ReadMe.

Preparativos

Para leer el Manual de instrucciones del CD-ROM se necesita Adobe Acrobat Reader 5.0 o posterior. Si Adobe Acrobat Reader no está instalado en su ordenador, puede descargar gratuitamente el software Acrobat Reader en el URL de Adobe Systems.

Consulta del Manual de instrucciones

El Manual de instrucciones se encuentra en el CD-ROM suministrado. Introduzca el CD-ROM suministrado en la unidad de CD-ROM de su ordenador y el CD-ROM se iniciará automáticamente al cabo de unos instantes. Seleccione el Manual de instrucciones que desea leer.
Dependiendo del ordenador, es posible que el CD-ROM no se inicie automáticamente. En tal caso, abra el archivo del Manual de instrucciones como se indica a continuación:

(En el caso de Windows)

① Abra “Mi PC”. (En Windows Vista aparece “Ordenador”.)

② Haga clic con el botón derecho en el icono del CD-ROM y seleccione “Explorer”.

③ Haga doble clic en el archivo “index.htm” y seleccione el Manual de instrucciones que desea leer.

(En el caso de Macintosh)

① Haga doble clic en el icono del CD-ROM del escritorio.

② Haga doble clic en el archivo “index.htm” y seleccione el Manual de instrucciones que desea leer.

Nota

Si no puede abrir el archivo “index.htm”, haga doble clic en el Manual de instrucciones que desea leer entre los que se encuentran en la carpeta “Operating_Instructions”.

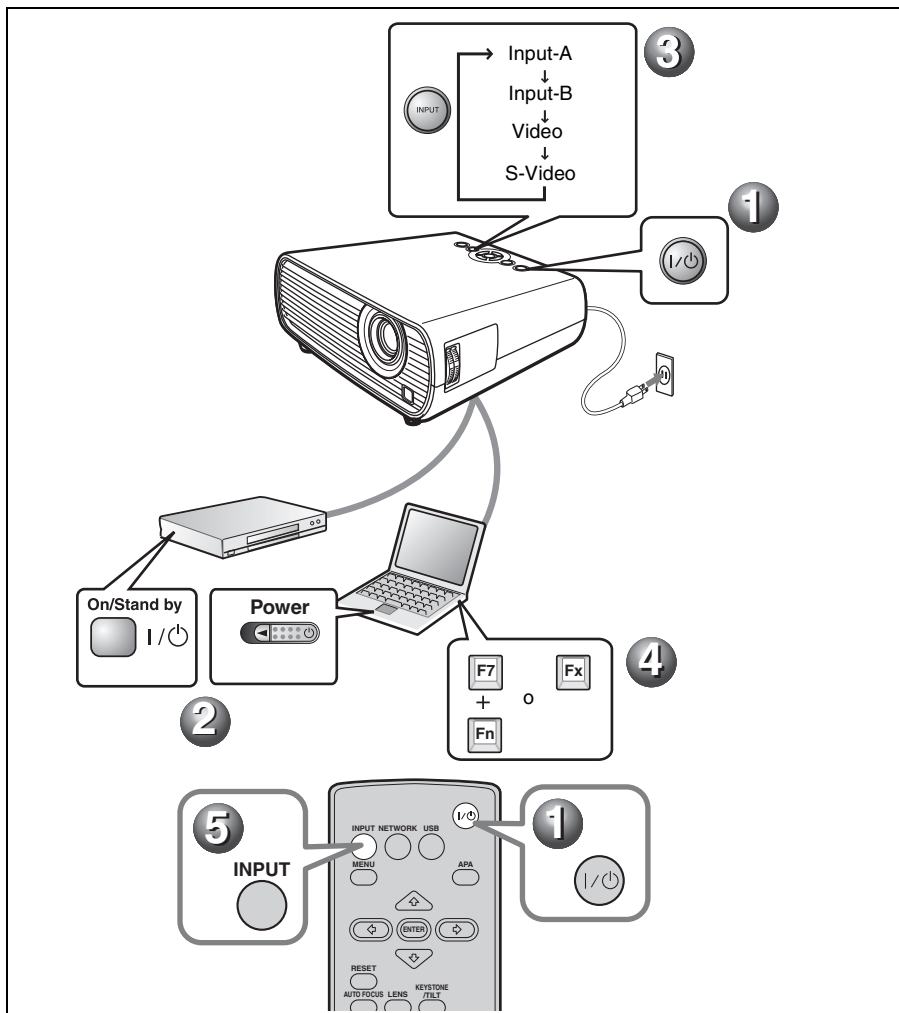
Proyección

Proyección

❶ **Pulse la tecla I/⏻ (encendido/espera).**

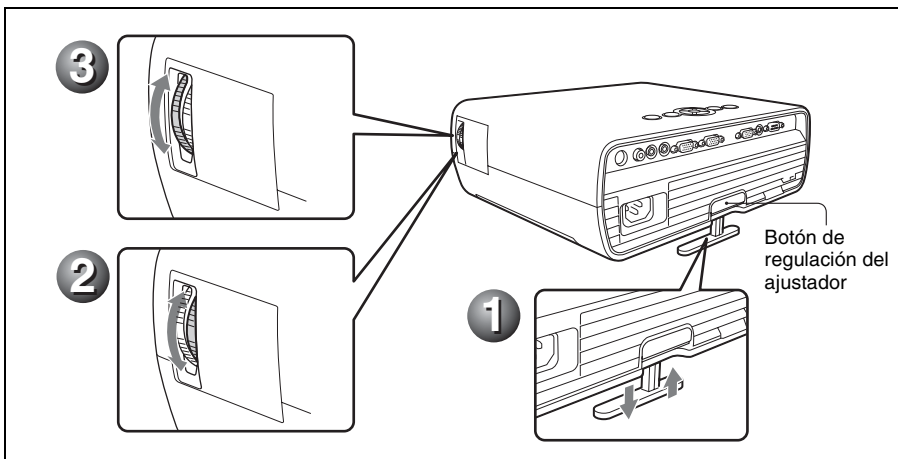
❷ **Encienda el equipo conectado al proyector.**

❸ **Pulse la tecla INPUT del mando a distancia o el panel de control para seleccionar la fuente de entrada.**

❹ **Si el ordenador está conectado, configúrelo para que la señal se envíe solo al monitor externo.**

Ajuste del proyector

❶ Ajuste la posición de la imagen.
Levante el proyector mientras pulsa el botón de regulación del ajustador, ajuste la inclinación del proyector y, a continuación, suelte el botón para bloquear el ajustador.

❷ Ajuste el tamaño de la imagen.

❸ Ajuste el enfoque.
El proyector dispone del menú Imagen para seleccionar el modo de imagen y el menú Pantalla para seleccionar la relación de aspecto correspondiente de la imagen.

Apagado de la alimentación

1. Pulse la tecla I/⏻ (encendido/espera).
2. Cuando aparezca un mensaje, pulse otra vez la tecla I/⏻ (encendido/espera).
3. Desenchufe el cable de alimentación de CA de la toma mural cuando el ventilador deje de funcionar y la tecla I/⏻ (encendido/espera) se ilumine en rojo. (Excepto cuando se use la función Encendido/Apagado directo o la función Off & Go.)

Sustitución de la lámpara

La lámpara que se utiliza como fuente de luz es un producto consumible. Por lo tanto, debe sustituir la lámpara por una nueva en los casos siguientes.

- Cuando la lámpara se funde o disminuye su brillo
- Cuando aparece “Por favor cambie la lámpara.” en la pantalla
- Cuando el indicador LAMP/COVER se enciende (parpadea repetidamente tres veces)

La vida útil de la lámpara varía según las condiciones de uso.
Sustitúyala por una lámpara de proyector LMP-E210.
El uso de lámparas diferentes de la LMP-E210 puede dañar el proyector.

Notas

- **Si la lámpara se rompe, solicite a personal especializado de Sony que sustituya la lámpara y compruebe el interior.**
- Retire la lámpara sujetando los portalámparas.
- Al retirar la lámpara, asegúrese de que se encuentra en posición horizontal y tire hacia arriba. No incline la lámpara. Si tira de la lámpara mientras está inclinada, la lámpara se rompe.

1 Apague el proyector y desenchufe el cable de alimentación de CA de la toma de CA.

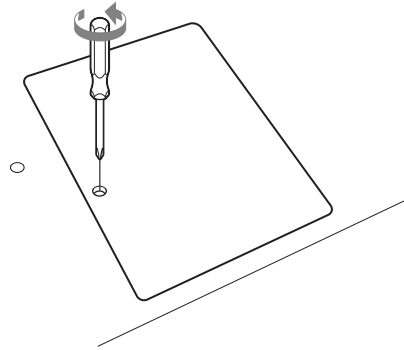
Nota

Antes de sustituir la lámpara, después de usar el proyector, espere al menos una hora hasta que se enfríe.

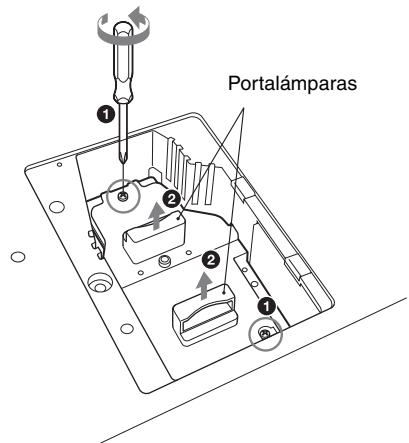
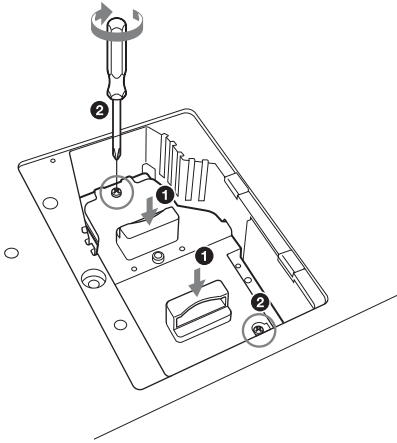
2 Coloque una lámina (paño) de protección debajo del proyector. Dé la vuelta al proyector de forma que vea la parte inferior.

Nota

Asegúrese de que el proyector se encuentra en una posición estable después de haberle dado la vuelta.

3 Afloje el tornillo con el destornillador de estrella para abrir la cubierta de la lámpara.

Nota

Para mayor seguridad, no afloje más tornillos.

4 Afloje los dos tornillos de la unidad de la lámpara con el destornillador Phillips (❶). Agarre el portalámparas con los dedos y retire la unidad de la lámpara (❷).

5 Introduzca por completo la lámpara nueva hasta que quede encajada en su sitio (❶). Apriete los dos tornillos (❷).

Notas

- Tenga cuidado de no tocar la superficie de cristal de la lámpara.
- La alimentación no se activará si la lámpara no está bien instalada.
- No deje que ningún líquido u otros objetos penetren en la ranura **para evitar una descarga eléctrica o un incendio**.

6 Cierre la cubierta de la lámpara y apriete el tornillo.

Nota

Asegúrese de fijar la cubierta de la lámpara como estaba. Si no lo hace, no podrá encender el proyector.

7 Vuelva a darle la vuelta al proyector.

8 Enchufe el cable de alimentación. La tecla I/⏻ se ilumina en rojo.

9 Pulse la tecla I/⏻ para encender el proyector.

10 Pulse la tecla MENU y, a continuación, seleccione el menú AJUSTE.

11 Seleccione “Reiniciar cont. lámp.” y, a continuación, pulse la tecla ENTER.

12 Seleccione “Ejecutar” con la tecla ▼ y, a continuación, pulse la tecla ENTER. El contador de la lámpara se inicializa a 0 y se muestra “Desea cambiar la lámpara y limpiar el filtro?” en la pantalla de menús.

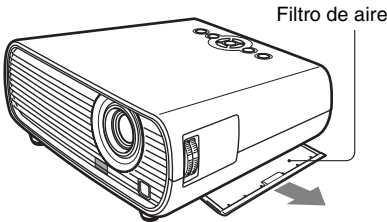
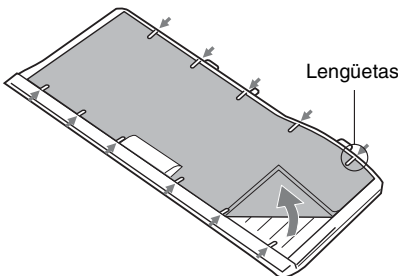
Consulte la página 13 para “Limpieza del filtro de aire”.

13 Seleccione “Sí” con la tecla ▲. Aparece “Reinic. cont. lámp. completa.” en la pantalla de menús.

Limpieza del filtro de aire

El filtro de aire debe limpiarse siempre que se sustituya la lámpara. Retire el filtro de aire y, a continuación, quite el polvo con una aspiradora.
El tiempo necesario para limpiar el filtro de aire variará en función del entorno y de cómo se utilice el proyector.
Si resulta difícil retirar el polvo del filtro con un aspirador, desmonte el filtro de aire y lávelo.

1 Desactive la alimentación y desenchufe el cable de alimentación.

2 Extraiga la cubierta del filtro de aire y retírela.

3 Extraiga el filtro de aire.

4 Lave el filtro de aire con una solución detergente suave y déjelo secar a la sombra.

5 Coloque el filtro del aire de forma que encaje en las lengüetas de la cubierta y vuelva a colocar la cubierta.

Notas

- **No descuide la limpieza del filtro de aire, de lo contrario el polvo podría acumularse hasta llegar a obstruirlo. Ello podría provocar un aumento de la temperatura en el interior de la unidad y originar un incendio, o ser la causa de un mal funcionamiento.**
- Asegúrese de fijar bien la cubierta del filtro del aire; la alimentación no puede activarse si no está bien cerrada.
- El filtro de aire tiene una cara frontal y otra inversa. Colóquelo de forma que encaje en una hendidura de la cubierta del mismo.

Solución de problemas

Si el proyector parece no funcionar correctamente, intente diagnosticar y corregir el problema utilizando las siguientes instrucciones. Si el problema no se soluciona, consulte con personal especializado de Sony.
Para más información sobre los síntomas, remítase al Manual de instrucciones del CD-ROM.

Alimentación

Síntoma	Causa y solución
La alimentación no se activa.	• La alimentación se ha apagado y encendido de nuevo con la tecla I/⏻ en un corto intervalo. ➔ Espere unos 90 segundos antes de activar la alimentación. • La cubierta de la lámpara no está sujeta. ➔ Cierre firmemente la cubierta de la lámpara. • La cubierta del filtro de aire está suelta. ➔ Fije firmemente la cubierta del filtro del aire.

Imagen

Síntoma	Causa y solución
No aparece la imagen.	• Hay un cable desconectado o las conexiones son incorrectas. ➔ Compruebe que ha realizado las conexiones adecuadas. • Las conexiones son incorrectas. ➔ Este proyector es compatible con DDC2B (Digital Data Channel 2B, Canal de datos digitales 2B). Si el ordenador es compatible con DDC, encienda el proyector de acuerdo con las indicaciones siguientes. **1** Conecte el proyector al ordenador. **2** Encienda el proyector. **3** Encienda el ordenador. • La selección de entrada es incorrecta. ➔ Seleccione la fuente de entrada correctamente. • La imagen está apagada. ➔ Pulse la tecla PIC MUTING para liberar el apagado de la imagen. • La señal del ordenador no está ajustada para la salida hacia un monitor externo ni para la salida hacia un monitor externo y un monitor LCD de ordenador. ➔ Ajuste el ordenador para que envíe la señal **solamente** a un monitor externo.
La imagen aparece con ruido.	Puede que aparezca ruido de fondo, en función de la combinación del número de puntos introducidos desde el ordenador y del número de píxeles del panel LCD. ➔ Cambie el patrón del escritorio del ordenador conectado.
La imagen no es nítida.	• La imagen está desenfocada. ➔ Ajuste el enfoque. • Se ha acumulado condensación en el objetivo. ➔ Deje el proyector encendido durante unas dos horas.

Síntoma	Causa y solución
La imagen se extiende más allá de la pantalla.	Se ha pulsado la tecla APA aunque hay bordes negros alrededor de la imagen. ➔ Muestre la imagen completa en la pantalla y pulse la tecla APA. ➔ Ajuste correctamente “Desplazamiento” en el menú AJUSTE DE ENTRADA.
La imagen parpadea.	No ha ajustado correctamente “Fase punto” en el menú AJUSTE DE ENTRADA. ➔ Ajuste correctamente “Fase punto” en el menú AJUSTE DE ENTRADA.

Indicadores

Síntoma	Causa y solución
El indicador LAMP/ COVER parpadea en naranja. (Frecuencia de repetición de 2 parpadeos)	La cubierta de la lámpara o la del filtro de aire está suelta. ➔ Fije la cubierta correctamente.
El indicador LAMP/ COVER parpadea en naranja. (Frecuencia de repetición de 3 parpadeos)	• La lámpara ha llegado al final de su vida útil. ➔ Sustituya la lámpara. • La lámpara ha alcanzado una alta temperatura. ➔ Espere 60 segundos para que la lámpara se enfríe y vuelva a activar la alimentación.
Tecla I/⏻ parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 2 parpadeos)	• La temperatura interna es inusualmente alta. ➔ Compruebe que nada bloquee los orificios de ventilación. • Se está utilizando el proyector a una altitud elevada. ➔ Compruebe que la opción “Modo gran altitud” del menú AJUSTE INSTALACIÓN está ajustada en “Sí”.
Tecla I/⏻ parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 4 parpadeos)	El ventilador está averiado. ➔ Consulte con personal especializado de Sony.
Tecla I/⏻ parpadea en rojo. (Frecuencia de repetición de 6 parpadeos)	Desenchufe el cable de alimentación de CA de la toma mural cuando se apague el indicador I/⏻, enchufe el cable de alimentación en la toma mural y encienda el proyector de nuevo. Si el indicador I/⏻ parpadea en rojo y el problema persiste, el sistema eléctrico ha fallado. ➔ Consulte con personal especializado de Sony.

Especificaciones

Sistema de proyección
3 paneles LCD, 1 objetivo, sistema de proyección
Panel LCD Panel XGA de 0,63 pulgadas (16,0 mm), 2.360.000 píxeles (1024 × 768 × 3)
Lámpara Lámpara de presión ultra alta de 210 W
Tamaño de imagen proyectada
40 a 300 pulgadas (1.016 a 7.620 mm)
Caudal luminoso[1)]
3000 lúmenes

1) Cuando el Modo Lámpara está establecido en "Alto".

Distancia de proyección (Cuando se coloca en el suelo, el ajustador no está estirado y la función Trapezoide V está realizada.)
40 pulgadas (1.016 mm): 1,2 a 1,4 m (3,9 a 4,6 pies)
80 pulgadas (2.032 mm): 2,4 a 2,7 m (7,9 a 8,9 pies)
100 pulgadas (2.540 mm): 3,0 a 3,4 m (9,8 a 11,1 pies)
150 pulgadas (3.810 mm): 4,5 a 5,2 m (14,8 a 17,1 pies)
200 pulgadas (5.080 mm): 6,0 a 6,9 m (19,7 a 22,6 pies)
250 pulgadas (6.350 mm): 7,5 a 8,6 m (24,6 a 28,2 pies)
300 pulgadas: (7.620 mm) 9,0 a 10,3 m (29,5 a 33,8 pies)

Sistema de color
Sistema $NTSC_{3.58}$/PAL/SECAM/$NTSC_{4.43}$/PAL-M/PAL-N/PAL60, de conmutación automática/manual
($NTSC_{4.43}$ es el sistema de color que se utiliza para reproducir vídeos grabados en NTSC en una videograbadora de sistema $NTSC_{4.43}$).
Señales de ordenador aceptables[2)]
fH: 19 a 92 kHz
fV: 48 a 92 Hz
(Máxima resolución de señal de entrada: SXGA+ 1400 × 1050 fV: 60 Hz)

2) Ajuste la resolución y la frecuencia de la señal del ordenador conectado dentro del margen de señales predefinidas que admite el proyector.

Señales de vídeo aplicables
RGB 15 k 50/60 Hz, Componente progresivo 50/60 Hz DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), Vídeo compuesto, Vídeo Y/C
Dimensiones Aprox. 313,4 × 114,1 × 269 mm (12 $^{11}/_{32}$ × 4 $^{1}/_{2}$ × 10 $^{19}/_{32}$ pulgadas) (an/al/pr) (sin tener en cuenta las partes que sobresalen)
Peso Aprox. 3,1 kg (6 lb 13 oz)
Requisitos de alimentación
100 a 240 V CA, 2,7 a 1,1 A, 50/60 Hz
Consumo 270 W. máx
Durante espera (Estándar): 3 W
Durante espera (Bajo): 1 W
Temperatura de funcionamiento
0 a 40 °C (32 a 104 °F)
Accesorios suministrados
Mando a distancia (1)
Batería de litio CR2025 (1) (instalada en el mando a distancia)
Cable HD D-sub, 15 terminales (1,8 m) (1) (1-967-100-11/Sony)
Cable de alimentación de CA (1)
Tapa del objetivo (1)
Manual de instrucciones (CD-ROM) (1)
Manual de referencia rápida (1)
Etiqueta de seguridad (1)

El diseño y las especificaciones de la unidad, incluidos los accesorios opcionales, están sujetos a modificaciones sin previo aviso.

Nota

Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.

Accesorios opcionales

Lámpara de proyector
LMP-E210

No todos los accesorios opcionales están disponibles en todos los países y zonas. Solicite información al distribuidor autorizado de Sony más cercano.

WARNUNG

Um die Gefahr von Bränden oder elektrischen Schlägen zu verringern, darf dieses Gerät nicht Regen oder Feuchtigkeit ausgesetzt werden.

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

VORSICHT

Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien.
Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen.
Wenn Sie die Batterie entsorgen, müssen Sie die Gesetze der jeweiligen Region und des jeweiligen Landes befolgen.

WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

WICHTIG

Das Namensschild befindet sich auf der Unterseite des Gerätes.

Für Kunden in Europa

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Japan.
Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

Inhalt

DE

Vorsichtsmaßnahmen

Sicherheit

- Vergewissern Sie sich, dass die Betriebsspannung Ihres Gerätes mit der Spannung Ihrer örtlichen Stromversorgung übereinstimmt. Falls eine Spannungsanpassung erforderlich ist, konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gerät gelangen, trennen Sie es von der Netzsteckdose und lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Soll das Gerät einige Tage lang nicht benutzt werden, trennen Sie es von der Netzsteckdose.
- Ziehen Sie zum Trennen des Kabels am Stecker. Niemals am Kabel selbst ziehen.
- Die Netzsteckdose sollte sich in der Nähe des Gerätes befinden und leicht zugänglich sein.
- Das Gerät bleibt auch in ausgeschaltetem Zustand mit dem Stromnetz verbunden, solange das Netzkabel mit der Netzsteckdose verbunden ist.
- Blicken Sie bei eingeschalteter Lampe nicht in das Objektiv.
- Stellen Sie keine Gegenstände in die Nähe der Lüftungsöffnungen und halten Sie auch Ihre Hände davon fern. Die ausströmende Luft ist heiß!
- Klemmen Sie Ihre Finger nicht im Einstellfuß ein.
- Legen Sie kein Tuch oder Papier unter das Gerät.

Beleuchtung

- Um eine optimale Bildqualität zu erhalten, darf die Vorderseite der Leinwand keiner direkten Beleuchtung oder dem Sonnenlicht ausgesetzt sein.
- Deckenmontierte Punktstrahler sind zu empfehlen. Decken Sie Leuchtstofflampen ab, um eine Senkung des Kontrastverhältnisses zu vermeiden.
- Verdecken Sie zur Leinwand gewandte Fenster mit undurchsichtigen Vorhängen.
- Es ist wünschenswert, den Projektor in einem Raum zu installieren, dessen Boden und Wände nicht aus lichtreflektierendem Material bestehen. Bestehen Fußboden und Wände aus reflektierendem Material, wird empfohlen, Teppichboden und Tapete durch eine dunklere Art zu ersetzen.

Verhütung eines internen Wärmestaus

Das Gerät ist mit Ansaugöffnungen und mit Auslassöffnungen ausgestattet. Blockieren Sie diese Öffnungen nicht und stellen Sie keine Gegenstände in die Nähe der Öffnungen. Andernfalls kann es zu einem Wärmestau kommen, der zu einer Verringerung der Bildqualität oder zu Schäden am Projektor führen kann.

Reinigung

Vor dem Reinigen

Ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.

Reinigen des Luftfilters

- Reinigen Sie den Luftfilter bei jedem Auswechseln der Lampe.
- Informationen zur Luftfilterreinigung finden Sie unter „Reinigen des Luftfilters“ auf Seite 14.

Reinigen des Objektivs

Die Oberfläche des Objektivs ist speziell behandelt, um die Reflektion von Licht zu verringern.
Da durch falsches Reinigen die Eigenschaften des Projektors beeinträchtigt werden können, sind folgende Hinweise zu beachten:

- Vermeiden Sie eine Berührung des Objektivs. Um Staub vom Objektiv zu entfernen, wischen Sie es mit einem weichen, trockenen Tuch ab. Verwenden Sie kein feuchtes Tuch, Reinigungsmittel oder Verdünner.
- Reinigen Sie das Objektiv vorsichtig mit einem weichen Tuch, zum Beispiel einem Glasreinigungstuch.
- Entfernen Sie hartnäckigen Schmutz mit einem weichen Tuch, etwa einem

Glasreinigungstuch, das leicht mit Wasser angefeuchtet ist.
- Verwenden Sie keinesfalls Lösungsmittel wie Alkohol, Benzol oder Verdünnung, sowie keine säurehaltigen, alkalischen oder abrasiven Reinigungsmittel und auch keine chemischen Reinigungstücher, da andernfalls die Objektivoberfläche beschädigt wird.

Reinigen des Gehäuses

- Reinigen Sie das Gehäuse vorsichtig mit einem trockenen, weichen Tuch. Entfernen Sie hartnäckigen Schmutz mit einem Tuch, das mit einer milden Reinigungslösung leicht angefeuchtet ist, und wischen Sie mit einem weichen, trockenen Tuch nach.
- Durch die Verwendung von Alkohol, Benzol, Verdünnung oder einem Insektizid kann die Oberfläche des Gehäuses beschädigt werden, oder die Beschriftungen auf dem Gehäuse können entfernt werden. Daher dürfen diese Chemikalien nicht verwendet werden.
- Durch Abwischen mit einem verschmutzten Tuch kann das Gehäuse zerkratzt werden.
- Bei längerem Kontakt des Gehäuses mit einem Gegenstand aus Gummi oder Vinylharz kann die Oberfläche beschädigt oder die Beschichtung abgelöst werden.

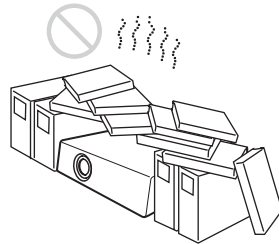
LCD-Datenprojektor

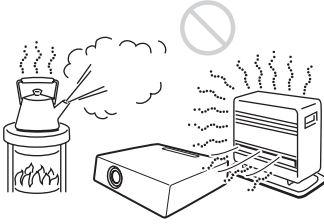
Der LCD-Datenprojektor wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Es kann jedoch sein, dass im Projektionsbild des LCD-Datenprojektors ständig winzige schwarze und/oder helle Punkte (rote, blaue oder grüne) enthalten sind. Dies ist ein normales Ergebnis des Herstellungsprozesses und ist kein Anzeichen für eine Funktionsstörung. Werden Bilder von mehreren LCD-Datenprojektoren auf einer Leinwand angezeigt, werden möglicherweise Farbunterschiede sichtbar, da jeder Projektor seine eigne Farbbalance besitzt, auch wenn es sich um Projektoren ein und desselben Modells handelt.

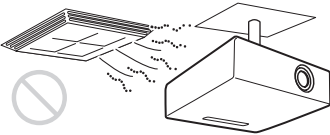
Hinweise zu Installation und Gebrauch

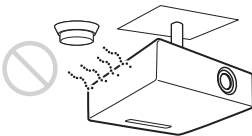
Ungeeignete Installation

Stellen Sie den Projektor nicht so auf, dass er folgenden Bedingungen ausgesetzt ist. **Derartige Installationsbedingungen oder -orte können Funktionsstörungen oder Beschädigung** des Gerätes zur Folge haben.

Schlecht belüftete Orte

- Sorgen Sie für ausreichende Luftzirkulation, um einen internen Wärmestau zu vermeiden. Stellen Sie das Gerät nicht auf Flächen (Teppiche, Decken usw.) oder in die Nähe von Materialien (Vorhänge, Gardinen), welche die Lüftungsöffnungen blockieren können. Wenn es wegen einer Blockierung der Lüftungsöffnungen zu einem internen Wärmestau kommt, wird der Temperatursensor aktiviert und das Gerät wird automatisch ausgeschaltet.
- Halten Sie einen Abstand von mindestens 30 cm um das Gerät ein.
- Achten Sie darauf, dass keine winzigen Teile, wie z.B. Papierstückchen oder Staubkörner von den Lüftungsöffnungen angesaugt werden.

Hitze und Feuchtigkeit

- Vermeiden Sie die Installation des Gerätes an einem Ort, der eine hohe Luftfeuchtigkeit oder sehr hohe oder niedrige Temperaturen aufweist.
- Um Feuchtigkeitskondensation zu vermeiden, installieren Sie das Gerät nicht an einem Ort, an dem die Temperatur plötzlich ansteigen kann.

Orte unter direkter Einwirkung von kalter oder warmer Luft einer Klimaanlage

Die Installation des Projektors an einem solchen Ort kann zu einer Funktionsstörung des Gerätes führen, die durch Feuchtigkeitskondensation oder Temperaturanstieg verursacht wird.

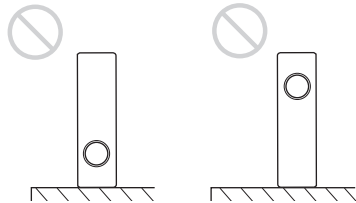
In der Nähe eines Wärme- oder Rauchsensors

Eine Funktionsstörung des Sensors könnte auftreten.

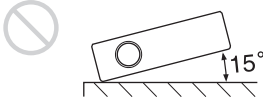
Sehr staubiger oder extrem rauchiger Ort

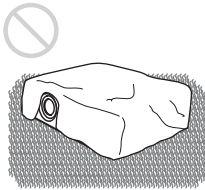
Vermeiden Sie die Installation des Geräts in sehr staubiger oder extrem rauchiger Umgebung. Andernfalls setzt sich der Luftfilter zu, was zu einer Funktionsstörung oder Beschädigung des Geräts führen kann. Ein mit Staub zugesetzter Luftfilter kann einen Anstieg der internen Temperatur des Geräts verursachen. Reinigen Sie den Luftfilter bei jedem Auswechseln der Lampe.

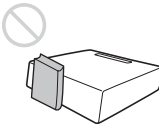
Ungeeignete Bedingungen

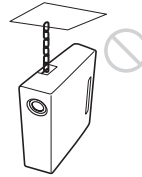
Verwenden Sie den Projektor unter folgenden Bedingungen nicht.

Stellen Sie das Gerät nicht senkrecht auf eine Seite

Vermeiden Sie den Betrieb des Geräts bei Senkrechtstellung auf einer Seite. Andernfalls kann es zu Fehlfunktionen kommen.

Kippen Sie das Gerät nicht nach rechts oder links

Vermeiden Sie es, das Gerät in einem Winkel von 15° zu neigen sowie eine andere Installationsart als die Aufstellung auf einer ebenen Fläche oder die Deckenmontage zu wählen. Solch eine Installation führt möglicherweise zu einer Dunkeltönung von Farben oder zu einer erheblichen Verkürzung der Lampenlebensdauer.

Nicht die Lüftungsöffnungen blockieren

Vermeiden Sie die Verwendung eines Teppichs mit dickem Flor oder irgendetwas, das die Lüftungsöffnungen (Auslass/ Einlass) blockiert, weil es sonst zu einem internen Wärmestau kommen kann.

Kein Hindernis direkt vor dem Objektiv aufstellen

Stellen Sie keinen Gegenstand, der das Licht während der Projektion blockiert, direkt vor das Objektiv. Die Wärme des Lichts könnte den Gegenstand beschädigen. Drücken Sie die Taste PIC MUTING, um das Bild abzuschalten.

Benutzen Sie den Sicherheitsstift nicht zum Transport oder zur Installation

Benutzen Sie den Sicherheitsstift an der Rückseite des Projektors zum Diebstahlschutz, indem Sie beispielsweise ein handelsübliches Diebstahlschutzkabel daran befestigen. Wenn Sie den Projektor an dem Sicherheitsstift hochheben oder ihn an diesem Stift aufhängen, kann dies zum Herunterfallen des Projektors oder zu Beschädigungen führen.

Benutzung in Höhenlagen

Wenn Sie den Projektor in einer Höhe von mindestens 1.500 m benutzen, stellen Sie „Höhenlagenmodus“ in dem Menü ANFANGSWERTE ein. Wird dieser Modus bei Verwendung des Projektors in Höhenlagen nicht aktiviert, kann dies negative Folgen haben, wie z.B. die Verringerung der Zuverlässigkeit bestimmter Komponenten.

Hinweise zum Gebrauch

Hinweis zum Tragen des Projektors

Das Gerät wurde unter Einsatz von Präzisionstechnologie hergestellt. Beim Transport des untergebrachten Geräts lassen Sie das Gerät nicht fallen und setzen Sie es keinen Stößen aus, da dies zu Schäden führen könnte.

Hinweis zur Leinwand

Wenn Sie eine Leinwand mit rauer Oberfläche verwenden, können je nach dem Abstand zwischen der Leinwand und dem Projektor oder der verwendeten Zoomvergrößerungseinstellung manchmal Streifenmuster auf der Leinwand erscheinen. Dies ist keine Fehlfunktion des Projektors.

Verwenden der Anleitungen auf CD-ROM

Die mitgelieferte CD-ROM enthält die Bedienungsanleitung und die ReadMe-Datei in Japanisch, Englisch, Französisch, Deutsch, Italienisch, Spanisch, Chinesisch und Russisch. Lesen Sie zunächst die Datei ReadMe.

Vorbereitungen

Zum Lesen der auf der CD-ROM enthaltenen Bedienungsanleitung ist Adobe Acrobat Reader 5.0 oder höher erforderlich. Wenn der Adobe Acrobat Reader nicht auf Ihrem Computer installiert ist, können Sie die Acrobat Reader Software kostenlos von der URL der Firma Adobe Systems herunterladen.

Bedienungsanleitung zum Lesen aufrufen

Die Bedienungsanleitung befindet sich auf der mitgelieferten CD-ROM. Legen Sie die mitgelieferte CD-ROM in das CD-ROM-Laufwerk Ihres Computers ein. Kurz darauf startet die CD-ROM automatisch. Wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.
Je nach verwendetem Computer startet die CD-ROM möglicherweise nicht automatisch. Öffnen Sie in diesem Fall die Datei mit der Bedienungsanleitung wie folgt:

(Bei Windows)

① Öffnen Sie „Arbeitsplatz“. (Bei Windows Vista wird „Computer“ angezeigt.)

② Klicken Sie auf das Symbol der CD-ROM und wählen Sie „Explorer“.

③ Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“ und wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.

(Bei Macintosh)

① Doppelklicken Sie auf das Symbol der CD-ROM auf dem Desktop.

② Doppelklicken Sie auf die Datei „index.htm“ und wählen Sie die gewünschte Bedienungsanleitung aus.

Hinweis

Wenn Sie die Datei „index.htm“ nicht öffnen können, doppelklicken Sie im Ordner „Operating_Instructions“ auf die Datei der Bedienungsanleitung, die Sie lesen möchten.

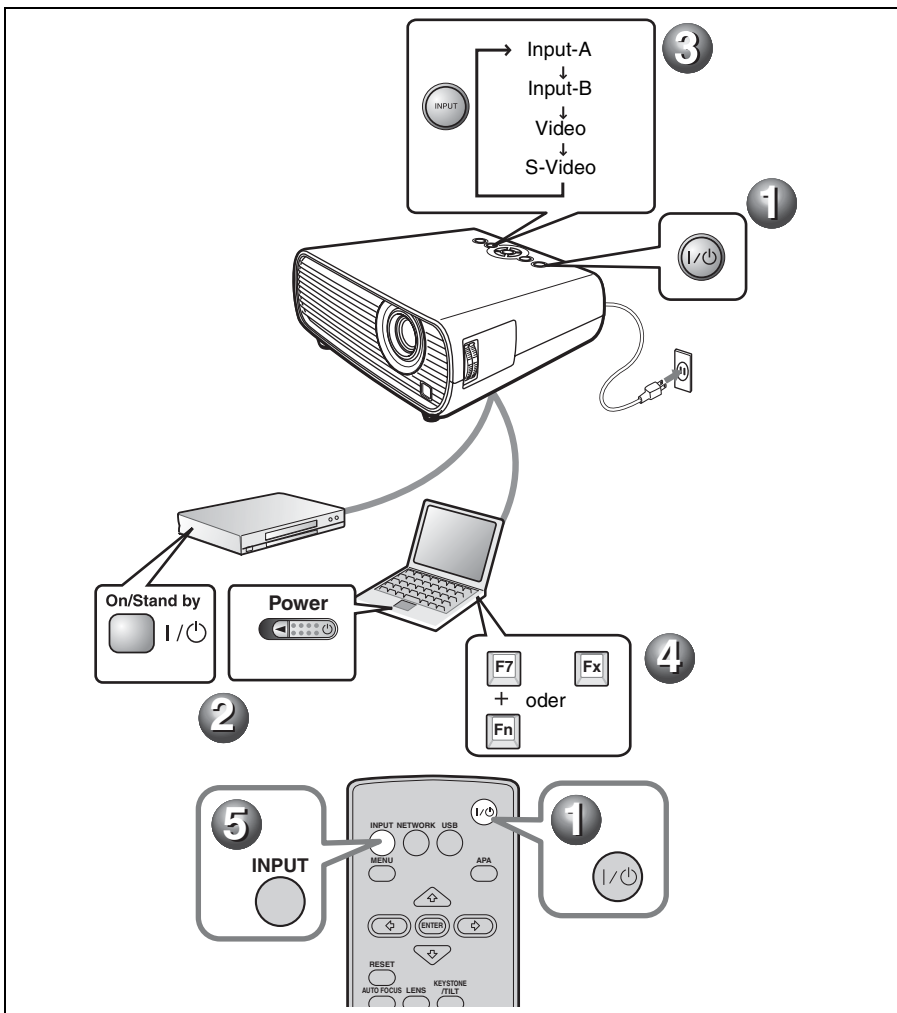
Projizieren

Projizieren

❶ **Drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/Bereitschaft).**

❷ **Schalten Sie das an den Projektor angeschlossene Gerät ein.**

❸ **Drücken Sie die Taste INPUT auf der Fernbedienung oder dem Bedienfeld zur Auswahl der Eingangsquelle.**

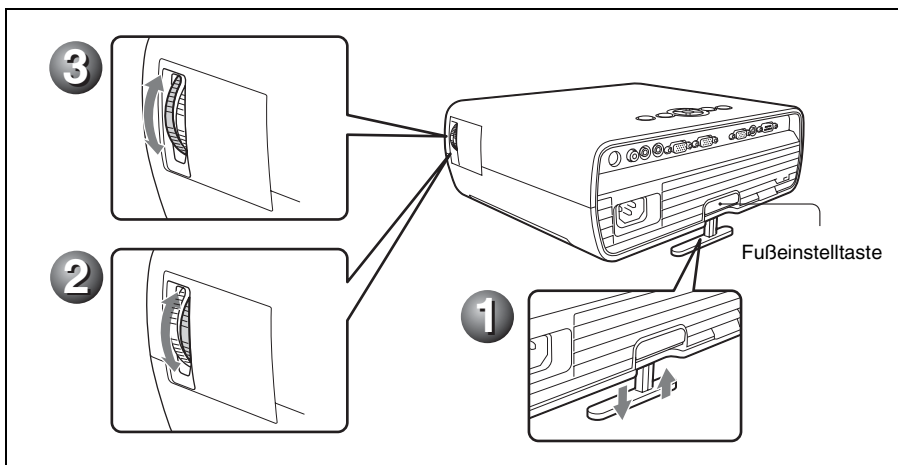
❹ **Wenn der Computer angeschlossen ist, stellen Sie das Ausgangssignal auf alleinige Ausgabe über den externen Monitor ein.**

Einstellen des Projektors

1 Stellen Sie die Bildposition ein.

Heben Sie den Projektor bei gedrückter Fußeinstelltaste an, stellen Sie die Neigung des Projektors ein und lassen Sie dann die Taste los, um den Einstellfuß zu verriegeln.

2 Stellen Sie die Bildgröße ein.

3 Stellen Sie den Fokus ein.

Der Projektor verfügt über das Menü Bild zur Einstellung des Bildmodus und das Menü Bildschirm, mit dem das geeignete Seitenverhältnis des Bilds ausgewählt werden kann.

Ausschalten der Stromversorgung

1 Drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/Bereitschaft).

2 Wird eine Meldung angezeigt, drücken Sie die Taste I/⏻ (Ein/Bereitschaft) erneut.

3 Ziehen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose ab, wenn der Ventilator stehen bleibt und die aste I/⏻ (Ein/Bereitschaft) rot leuchtet. (Außer bei Verwendung der Direkt-Ein-/Ausschaltfunktion oder der Off & Go-Funktion.)

Auswechseln der Lampe

Die als Lichtquelle verwendete Lampe ist ein Verbrauchsprodukt. Ersetzen Sie daher diese Lampe in den folgenden Fällen durch eine neue.

- Wenn die Lampe durchgebrannt ist oder schwach wird
- Wenn „Lampentausch erforderlich.“ auf dem Bildschirm erscheint
- Wenn die Anzeige LAMP/COVER aufleuchtet (dreimal wiederholtes Blinken)

Die Lampenlebensdauer hängt von den Benutzungsbedingungen ab.
Verwenden Sie eine Projektorlampe LMP-E210 als Ersatzlampe.
Werden anstelle der Lampe LMP-E210 andere Lampen verwendet, kann der Projektor beschädigt werden.

Hinweise

- **Wenn die Lampe zerbricht, wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal zum Auswechseln der Lampe und zum Prüfen von innen.**
- Ziehen Sie die Lampe an den Handgriffen heraus.
- Achten Sie beim Herausnehmen der Lampe darauf, dass sie horizontal bleibt, und ziehen Sie sie gerade nach oben. Die Lampe nicht kippen. Falls Sie die Lampeneinheit schräg herausziehen und die Lampe bricht, können die Bruchstücke verstreut werden und Verletzungen verursachen.

1 Schalten Sie den Projektor aus, und trennen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose.

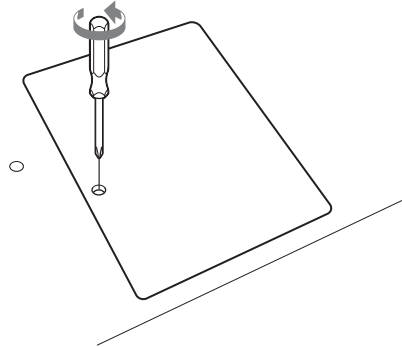
Hinweis

Lassen Sie die Lampe nach dem Gebrauch des Projektors mindestens eine Stunde lang abkühlen, bevor Sie sie auswechseln.

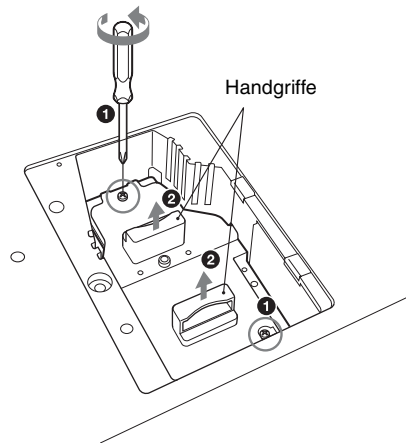
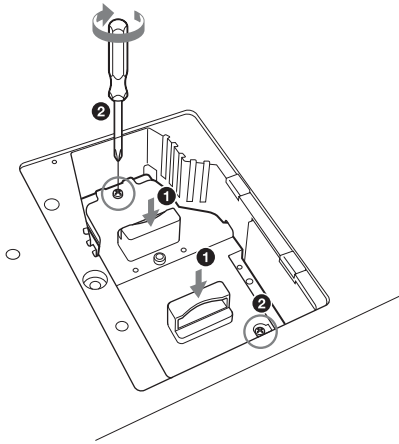
2 Legen Sie eine Schutzfolie (Tuch) unter den Projektor. Drehen Sie den Projektor um, so dass er auf der Oberseite liegt.

Hinweis

Achten Sie darauf, dass der Projektor nach dem Umdrehen stabil liegt.

3 Öffnen Sie die Lampenabdeckung durch Lösen der Schraube mit einem Kreuzschlitzschraubendreher.

Hinweis

Lösen Sie aus Sicherheitsgründen bitte keine anderen Schrauben.

4 Lösen Sie die zwei Schrauben an der Lampeneinheit mit dem Kreuzschlitzschraubendreher (❶). Ziehen Sie dann die Lampeneinheit (❷) an den Handgriffen heraus.

5 Setzen Sie die neue Lampe vollständig ein, bis sie richtig sitzt (❶). Ziehen Sie die zwei Schrauben an (❷).

Hinweise

- Achten Sie darauf, dass Sie nicht den Glaskörper der Lampe berühren.
- Der Projektor lässt sich nicht einschalten, falls die Lampe nicht einwandfrei gesichert ist.
- Achten Sie darauf, dass keine Flüssigkeiten oder Fremdkörper in den Steckplatz eindringen, **um einen elektrischen Schlag oder Brand zu vermeiden**.

6 Schließen Sie die Lampenabdeckung und drehen Sie die Schraube fest.

Hinweis

Befestigen Sie die Lampenabdeckung wieder vorschriftsmäßig. Anderenfalls kann der Projektor nicht eingeschaltet werden.

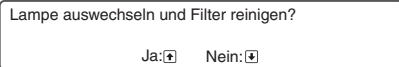
7 Drehen Sie den Projektor wieder um.

8 Schließen Sie das Netzkabel an.
Die Taste I/⏻ leuchtet rot auf.

9 Drücken Sie die Taste I/⏻, um den Projektor einzuschalten.

10 Drücken Sie die Taste MENU, und wählen Sie dann das Menü EINSTELLUNG.

11 Wählen Sie „Lampentimer Rück“, und drücken Sie dann die Taste ENTER.

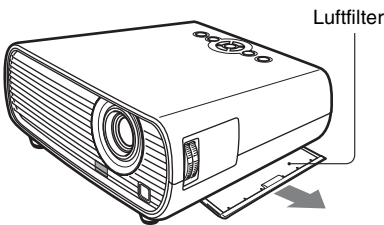
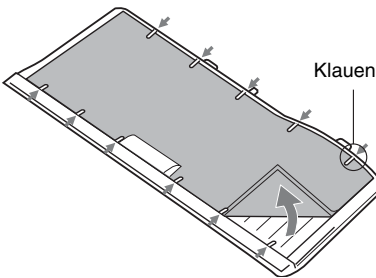
12 Wählen Sie „Ausführen“ mit der Taste ▼ und drücken Sie dann die Taste ENTER.
Der Lampentimer wird auf 0 zurückgestellt, und „Lampe auswechseln und Filter reinigen?“ wird auf dem Menübildschirm angezeigt.

Einzelheiten zu „Reinigen des Luftfilters“ finden Sie unter Seite 14.

13 Wählen Sie „Ja“ mit der Taste ▲.
„Lampentimer-Rückstellung fertig!“ erscheint auf dem Menübildschirm.

Reinigen des Luftfilters

Der Luftfilter sollte bei jedem Auswechseln der Lampe gereinigt werden. Nehmen Sie den Luftfilter heraus, und entfernen Sie dann den Staub mit einem Staubsauger.
Die für die Reinigung des Luftfilters erforderliche Zeit hängt von der Umgebung oder der Benutzungsweise des Projektors ab.
Wenn sich der Staub nur noch schwer mit dem Staubsauger von dem Filter entfernen lässt, nehmen Sie den Luftfilter heraus und waschen ihn.

1 Schalten Sie den Projektor aus, und ziehen Sie das Netzkabel ab.

2 Ziehen Sie die Luftfilterabdeckung heraus und entfernen Sie sie.

3 Nehmen Sie den Luftfilter heraus.

4 Waschen Sie den Luftfilter mit einer milden Reinigungslösung und lassen Sie ihn an einem schattigen Ort trocknen.

5 Bringen Sie den Luftfilter so an, dass er von allen Klauen an der Luftfilterabdeckung gehalten wird, und setzen Sie die Abdeckung wieder ein.

Hinweise

- **Falls die Reinigung des Luftfilters vernachlässigt wird, kann er sich durch angesammelten Staub zusetzen. Als Folge davon kann die Temperatur im Inneren des Projektors ansteigen, was zu einer möglichen Funktionsstörung oder einem Brand führen kann.**
- Schließen Sie die Luftfilterabdeckung einwandfrei; anderenfalls kann der Projektor nicht eingeschaltet werden.
- Der Luftfilter hat eine Vorder- und eine Rückseite. Setzen Sie den Luftfilter so ein, dass er in der Aussparung der Luftfilterabdeckung sitzt.

Fehlerbehebung

Falls der Projektor nicht richtig zu funktionieren scheint, versuchen Sie zunächst, die Störung mithilfe der folgenden Anweisungen ausfindig zu machen und zu beheben. Sollte die Störung bestehen bleiben, wenden Sie sich an qualifiziertes Sony-Personal.
Nähere Informationen zu den einzelnen Symptomen finden Sie in der Bedienungsanleitung auf der CD-ROM.

Stromversorgung

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Das Gerät lässt sich nicht einschalten.	• Der Projektor ist mit der Taste **I/⏻** in kurzen Abständen aus- und eingeschaltet worden. ➔ Warten Sie bis zum erneuten Einschalten etwa 90 Sekunden. • Die Lampenabdeckung ist nicht gesichert. ➔ Schließen Sie die Lampenabdeckung korrekt. • Die Luftfilterabdeckung ist gelöst. ➔ Bringen Sie die Luftfilterabdeckung wieder fest an.

Bild

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Es wird kein Bild angezeigt.	• Ein Kabel ist abgetrennt, oder die Anschlüsse sind falsch. ➔ Prüfen Sie, ob die Anschlüsse korrekt ausgeführt worden sind. • Die Anschlüsse sind falsch. ➔ Dieser Projektor ist mit DDC2B (Digital Data Channel 2B, Digitaler Datenkanal 2B) kompatibel. Wenn Ihr Computer mit DDC kompatibel ist, schalten Sie den Projektor nach dem folgenden Verfahren ein. **1** Schließen Sie den Projektor an den Computer an. **2** Schalten Sie den Projektor ein. **3** Starten Sie den Computer. • Die Eingangswahl ist falsch. ➔ Wählen Sie die Eingangsquelle korrekt. • Das Bild ist abgeschaltet. ➔ Drücken Sie die Taste PIC MUTING, um die Bildabschaltung aufzuheben. • Der Computer ist so eingestellt, dass sein Signal entweder gar nicht oder sowohl zu einem externen Monitor als auch zum LCD-Monitor des Computers ausgegeben wird. ➔ Stellen Sie den Computer so ein, dass die Signalausgabe **nur** zu einem externen Monitor erfolgt.
Das Bild ist verrauscht.	Je nach der Kombination der über den Computer eingegebenen Bildpunktezahl und der Pixelzahl auf dem LCD-Panel kann Hintergrundrauschen auftreten. ➔ Ändern Sie das Desktopmuster am angeschlossenen Computer.
Das Bild ist nicht klar.	• Das Bild ist unscharf. ➔ Stellen Sie den Fokus ein. • Kondensation hat sich auf dem Objektiv niedergeschlagen. ➔ Lassen Sie den Projektor etwa zwei Stunden lang eingeschaltet.

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Das Bild steht von der Leinwand über.	Die Taste APA ist gedrückt worden, obwohl schwarze Ränder um das Bild vorhanden sind. ➔ Projizieren Sie das volle Bild auf die Leinwand, und drücken Sie die Taste APA. ➔ Stellen Sie „Lage“ im Menü EINGANGS-EINSTELLUNG korrekt ein.
Das Bild flimmert.	„Punkt-Phase“ im Menü EINGANGS-EINSTELLUNG wurde nicht korrekt eingestellt. ➔ Stellen Sie „Punkt-Phase“ im Menü EINGANGS-EINSTELLUNG korrekt ein.

Anzeigen

Symptom	Ursache und Abhilfemaßnahme
Die Anzeige LAMP/ COVER blinkt in Orange. (Wiederholrate von 2 Blinkzeichen)	Die Lampenabdeckung oder die Luftfilterabdeckung ist abgenommen. ➔ Bringen Sie die Abdeckung korrekt an.
Die Anzeige LAMP/ COVER blinkt in Orange. (Wiederholrate von 3 Blinkzeichen)	• Die Lampe hat das Ende ihrer Nutzungsdauer erreicht. ➔ Tauschen Sie die Lampe aus. • Die Lampe ist zu heiß geworden. ➔ Lassen Sie die Lampe 60 Sekunden lang abkühlen, bevor Sie den Projektor wieder einschalten.
Taste I/⏻ blinkt in Rot. (Wiederholrate von 2 Blinkzeichen)	• Die Innentemperatur ist ungewöhnlich hoch. ➔ Stellen Sie sicher, dass die Lüftungsöffnungen durch nichts blockiert werden. • Der Projektor wird in großer Höhe benutzt. ➔ Vergewissern Sie sich, dass „Höhenlagenmodus“ im Menü ANFANGSWERTE auf „Ein“ gesetzt ist.
Taste I/⏻ blinkt in Rot. (Wiederholrate von 4 Blinkzeichen)	Der Lüfter ist defekt. ➔ Konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.
Taste I/⏻ blinkt in Rot. (Wiederholrate von 6 Blinkzeichen)	Ziehen Sie das Netzkabel von der Netzsteckdose ab, nachdem die Anzeige I/⏻ erloschen ist, schließen Sie dann das Netzkabel wieder an die Netzsteckdose an, und schalten Sie den Projektor wieder ein. Falls die Anzeige I/⏻ in Rot blinkt und das Problem weiterhin bestehen bleibt, liegt eine Störung im elektrischen System vor. ➔ Konsultieren Sie qualifiziertes Sony-Personal.

Spezifikationen

Projektionssystem
3 LCD-Panels, 1 Objektiv, Projektionssystem
LCD-Panel 0,63-Zoll (16,0 mm)-XGA-Panel, etwa 2.360.000 Pixel (1024 × 768 × 3)
Lampe 210-W-Ultra-Hochdrucklampe
Projektionsbildgröße
40 bis 300 Zoll (1.016 bis 7.620 mm)
Lichtleistung[1)]
3000 lm

[1)] Bei Einstellung der Lichtleistung auf „Hoch“.

Projektionsentfernung (Bei Bodenstellung./ Einstellfuß nicht ausgezogen und V Trapez-Funktion ausgeführt.)
40-Zoll (1.016 mm): 1,2 bis 1,4 m
80-Zoll (2.032 mm): 2,4 bis 2,7 m
100-Zoll (2.540 mm): 3,0 bis 3,4 m
150-Zoll (3.810 mm): 4,5 bis 5,2 m
200-Zoll (5.080 mm): 6,0 bis 6,9 m
250-Zoll (6.350 mm): 7,5 bis 8,6 m
300-Zoll (7.620 mm): 9,0 bis 10,3 m

Farbsystem NTSC3.58/PAL/SECAM/ NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/ PAL60-System, automatische/ manuelle Umschaltung
(Das Farbsystem NTSC4.43 wird verwendet, wenn ein Band, das auf einem Videorecorder des Systems NTSC4.43 aufgenommen wurde, wiedergegeben wird.)
Akzeptable Computersignale[2)]
fH: 19 bis 92 kHz
fV: 48 bis 92 Hz
(Maximale Eingangssignalauflösung: SXGA+ 1400 × 1050 fV: 60 Hz)

[2)] Stellen Sie Auflösung und Frequenz des vom angeschlossenen Computer ausgegebenen Signals innerhalb des Bereichs der akzeptablen Vorwahlsignale des Projektors ein.

Verwendbare Videosignale
15 k RGB 50/60 Hz, Progressives Komponentensignal 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/ 60p, 575/50p, 720/60p, 720/ 50p, 1080/60i, 1080/50i), FBAS-Videosignal, Y/C-Videosignal

Abmessungen
Ca. 313,4 × 114,1 × 269 mm (B/H/ T) (ohne hervorstehende Teile)
Gewicht Ca. 3,1 kg
Spannungsversorgung
100 bis 240 V Wechselstrom, 2,7 bis 1,1 A, 50/60 Hz
Leistungsaufnahme
max. 270 W
bei Bereitschaft (Standard): 3 W
bei Bereitschaft (Niedrig): 1 W
Betriebstemperatur
0 °C bis 40 °C
Mitgeliefertes Zubehör
Fernbedienung (1)
Lithiumbatterie CR2025 (1) (befindet sich in der Fernbedienung)
15-poliges HD-D-sub-Kabel (1,8 m) (1) (1-967-100-11/Sony)
Netzkabel (1)
Objektivdeckel (1)
Bedienungsanleitung (CD-ROM) (1)
Kurzreferenz (1)
Sicherheitsaufkleber (1)

Änderungen an Gerät und Sonderzubehör, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Hinweis

Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.

Sonderzubehör

Projektorlampe
LMP-E210

Das genannte Sonderzubehör ist nicht in allen Ländern und Regionen erhältlich.
Bitte überprüfen Sie die Verfügbarkeit bei Ihrem Sony-Fachhändler vor Ort.

AVVERTENZA

Per ridurre il rischio di incendi o scosse elettriche, non esporre questo apparato alla pioggia o all'umidità.

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

QUESTO APPARECCHIO DEVE ESSERE COLLEGATO A MASSA.

ATTENZIONE

Se una batteria non viene sostituita correttamente vi è il rischio di esplosione. Sostituire una batteria con una uguale o simile seguendo le raccomandazioni del produttore.
Per lo smaltimento della batteria, attenersi alle norme in vigore nel paese di utilizzo.

AVVERTENZA

Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

1. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/ spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/connettore per l'apparecchio/ spina confrmi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, rivolgersi al personale qualificato.

IMPORTANTE

La targhetta di identificazione è situata sul fondo.

Per i clienti in Europa

Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, 108-0075 Giappone.
La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l'assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull'assistenza o sulla garanzia a parte.

Indice

IT

Precauzioni

Sicurezza

- Verificare che la tensione di funzionamento dell'unità corrisponda alla tensione della rete elettrica locale. Se è necessaria una regolazione della tensione, rivolgersi a personale Sony qualificato.
- Se del liquido o un oggetto dovessero penetrare nell'apparecchio, scollegare l'apparecchio e farlo controllare da personale qualificato prima di utilizzarlo di nuovo.
- Se l'unità non sarà utilizzata per diversi giorni, scollegarla dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo, tirarlo dalla spina. Non tirare mai direttamente il cavo.
- La presa di rete dovrebbe essere vicina all'unità e facilmente accessibile.
- L'apparecchio non è scollegato dalla fonte di alimentazione CA (rete elettrica domestica) finché resta collegato alla presa di rete, anche se è stato spento.
- Non guardare dentro l'obiettivo quando la lampada è accesa.
- Non avvicinare le mani o degli oggetti alle prese di ventilazione. L'aria che fuoriesce è molto calda.
- Prestare attenzione a non incastrare le dita nel dispositivo di regolazione.
- Non collocare un panno o della carta sotto l'apparecchio.

Illuminazione

- Per ottenere l'immagine migliore, la parte anteriore dello schermo non deve essere esposta a illuminazione diretta o alla luce del sole.
- Si consiglia illuminazione con faretti sul soffitto. Usare degli schermi sopra alle lampade fluorescenti, per non diminuire il rapporto del contrasto.
- Coprire eventuali finestre davanti allo schermo con tendaggi opachi.
- Si consiglia di installare il proiettore in un locale in cui il pavimento e le pareti siano di materiali non riflettenti. Se il pavimento e le pareti fossero di materiali riflettenti, si consiglia di cambiare tappeti e tappezzeria in modo che siano di colore scuro.

Prevenzione del surriscaldamento interno

L'apparecchio dispone di prese di ventilazione di aspirazione e di scarico. Non bloccare tali prese con oggetti, onde evitare il surriscaldamento interno, che potrebbe compromettere la qualità delle immagini o danneggiare il proiettore.

Pulizia

Prima della pulizia

Assicurarsi di scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa c.a.

Pulizia del filtro dell'aria

- Pulire il filtro dell'aria ogni volta che si sostituisce la lampada.
- Consultare "Pulizia del filtro dell'aria" a pagina 13 per la pulizia del filtro dell'aria.

Pulizia dell'obiettivo

La superficie dell'obiettivo è trattata specificatamente per ridurre la riflessione della luce.
Una manutenzione non corretta può ridurre le prestazioni del proiettore, pertanto, prestare attenzione a quanto segue:

- Non toccare l'obiettivo. Per spolverare l'obiettivo, usare un panno morbido e asciutto. Non usare un panno umido, soluzione di detersivo o diluente.
- Pulire l'obiettivo delicatamente con un panno morbido come un panno per la pulizia o un panno per la pulizia dei vetri.
- Rimuovere le macchie ostinate con un panno morbido, come un panno per la pulizia o per i vetri, leggermente inumidito con acqua.
- Non utilizzare mai solventi quali alcol, benzene o diluente, né detergenti alcalini, abrasivi o acidi, né panni per pulizia contenenti agenti chimici, poiché possono danneggiare la superficie dell'obiettivo.

Pulizia dell'apparecchio

- Pulire delicatamente l'apparecchio con un panno morbido e asciutto. Rimuovere le macchie ostinate utilizzando un panno leggermente inumidito con una soluzione detergente delicata, quindi asciugare con un panno morbido asciutto.

- L’uso di alcol, benzene, diluente o insetticida può danneggiare la finitura dell’apparecchio o rimuovere le indicazioni su di esso. Non utilizzare queste sostanze chimiche.
- Non sfregare l’apparecchio con un panno macchiato, per evitare di graffiarlo.
- Se l’apparecchio entra in contatto con un prodotto in gomma o resina di vinile per un periodo prolungato, la finitura potrebbe deteriorarsi e il rivestimento potrebbe staccarsi.

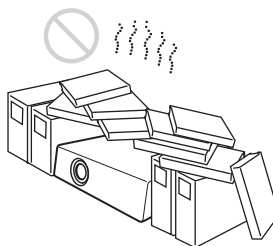
Proiettore dati a LCD

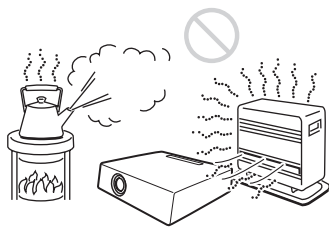
Il proiettore dati a LCD è prodotto con una tecnologia di alta precisione. Sul proiettore dati a LCD potrebbero tuttavia apparire continuamente dei puntini neri e/o dei puntini luminosi (rossi, blu o verdi). Questo è un risultato normale del processo di fabbricazione e non costituisce un guasto. Quando le immagini vengono proiettate sugli schermi mediante più proiettori dati LCD, possono generare colore distinti poiché ciascun proiettore dispone di un proprio bilanciamento dei colori anche se i proiettori appartengono agli stessi modelli.

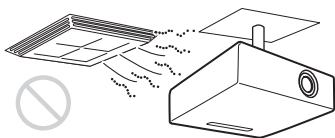
Note su installazione e uso

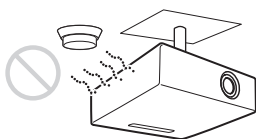
Posizioni di installazione inadatte

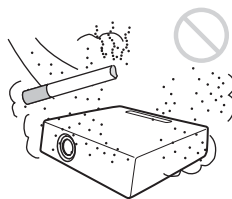
Non installare il proiettore nelle seguenti situazioni. **L’installazione in queste posizioni o ambienti potrebbe causare un malfunzionamento o guasto** dell’unità.

Posizioni con ventilazione insufficiente

- Fare in modo che la circolazione dell’aria sia adeguata ad evitare il surriscaldamento interno. Non mettere l’unità su superfici (tappeti, coperte ecc.) o vicino a materiali (tende, drappeggi) che potrebbero ostruire le prese di ventilazione. In presenza di surriscaldamento interno dovuto all’ostruzione delle prese di ventilazione, il sensore di temperatura interviene e l’alimentazione viene spenta automaticamente.
- Lasciare uno spazio maggiore di 30 cm (11 $^{7}/_{8}$ pollici) intorno all’unità.
- Fare attenzione che oggetti leggeri come pezzi di carta o particelle di polvere non vengano aspirati dalle prese di ventilazione.

Caldo e umido

- Non installare l'unità in una posizione dove la temperatura o l'umidità è molto elevata o la temperatura è molto bassa.
- Per evitare la condensazione dell'umidità, non installare l'unità in una posizione dove la temperatura potrebbe salire rapidamente.

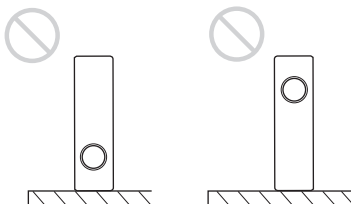
Posizioni esposte a flusso diretto di aria fredda o calda proveniente da un condizionatore

L'installazione del proiettore in una posizione di questo genere potrebbe provocare malfunzionamenti dell'unità dovuti a condensazione dell'umidità o all'aumento della temperatura.

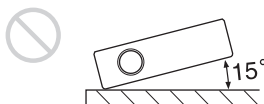
Vicino a un sensore di calore o di fumo

Potrebbe verificarsi un malfunzionamento del sensore.

Posizioni molto polverose o estremamente fumose

Non installare l'unità in un ambiente molto polveroso o estremamente fumoso. Ciò potrebbe intasare il filtro dell'aria, causando un malfunzionamento o guasto dell'unità. La polvere che impedisce il passaggio dell'aria attraverso il filtro potrebbe causare un aumento della temperatura interna dell'unità. Pulire il filtro dell'aria ogni volta che si sostituisce la lampada.

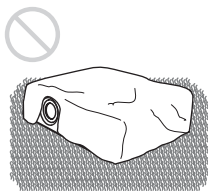
Condizioni inadatte

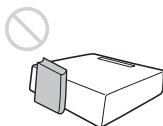
Non usare il proiettore nelle seguenti condizioni.

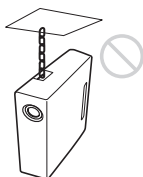
Non appoggiare l'unità su un lato

Non usare l'unità in verticale appoggiata su un lato. Potrebbe causare un malfunzionamento.

Non inclinare l'unità a destra o a sinistra

Non inclinare l'unità di più di 15° e non installarla diversamente che su una superficie in piano o appesa al soffitta. Un'installazione di questo genere potrebbe

causare la comparsa di sfumature di colore o diminuire molto la vita utile della lampada.

Non ostruire le prese di ventilazione

Non usare un tappeto spesso o altro che ostruisca le prese di ventilazione (scarico/aspirazione), per evitare il surriscaldamento interno.

Non mettere alcun ostacolo davanti all'obiettivo

Non mettere alcun oggetto davanti all'obiettivo affinché non oscuri la luce durante la proiezione. Il calore dovuto alla luce potrebbe danneggiare l'oggetto. Per disattivare l'immagine, usare il tasto PIC MUTING sul telecomando.

Non utilizzare la barra di sicurezza per il trasporto o l'installazione

Utilizzare la barra di sicurezza sul retro del proiettore al fine di impedire il furto, ad esempio attaccando un cavo antifurto reperibile in commercio. Se si solleva il proiettore dalla barra di sicurezza, o si sospende il proiettore usando questa barra, il proiettore potrebbe cadere o danneggiarsi.

Uso a quote elevate

Quando si usa il proiettore a una quota di 1.500 m o superiore, attivare il "Modo quota el." nel menu IMPOST. INSTALLAZIONE. Se non viene impostato questo modo quando il proiettore è usato a quote elevate, potrebbero presentarsi effetti negativi, come la riduzione dell'affidabilità di alcuni componenti.

Note sull'uso

Nota sul trasporto del proiettore

Il proiettore è prodotto con una tecnologia di alta precisione. Nel trasportare l'unità, non lasciarla cadere o sottoporla ad urti che potrebbero danneggiarla.

Nota sullo schermo

Se si utilizza uno schermo avente una superficie non uniforme, talvolta potrebbero apparire dei motivi a strisce in funzione della distanza fra lo schermo e il proiettore o delle impostazioni di ingrandimento dello zoom. Non si tratta di un malfunzionamento del proiettore.

Utilizzo dei Manuali del CD-ROM

Il CD-ROM in dotazione contiene le Istruzioni d'uso e il file ReadMe in giapponese, inglese, francese, tedesco, italiano, spagnolo, cinese e russo.
Innanzitutto fare riferimento al file ReadMe.

Operazioni preliminari

Per leggere le Istruzioni d'uso contenute nel CD-ROM, è necessario disporre del programma Adobe Acrobat Reader 5.0 o successiva. Se Adobe Acrobat Reader non è installato sul computer, è possibile scaricare gratis il software Acrobat Reader dall'URL di Adobe Systems.

Come leggere le Istruzioni d'uso

Le Istruzioni d'uso sono contenute nel CD-ROM in dotazione. Inserire il CD-ROM fornito nell'unità CD-ROM del computer, poco dopo il CD-ROM si avvierà automaticamente. Selezionare le Istruzioni d'uso che si desidera leggere.
A seconda del computer a disposizione, il CD-ROM potrebbe non avviarsi automaticamente. In tal caso, aprire le Istruzioni d'uso nel seguente modo:

(Per Windows)

① Aprire "Risorse del computer". ("Computer" è visualizzato in Windows Vista.)

② Cliccare con il pulsante destro del mouse sull'icona del CD-ROM e selezionare "Explorer".

③ Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le Istruzioni d'uso che si desidera leggere.

(Per Macintosh)

① Fare doppio clic sull'icona del CD-ROM sul desktop.

② Fare doppio clic sul file "index.htm" e selezionare le Istruzioni d'uso che si desidera leggere.

Nota

Se non è possibile aprire il file "index.htm", fare doppio clic sulle Istruzioni d'uso che si desidera leggere dalla cartella "Operating_Instructions".

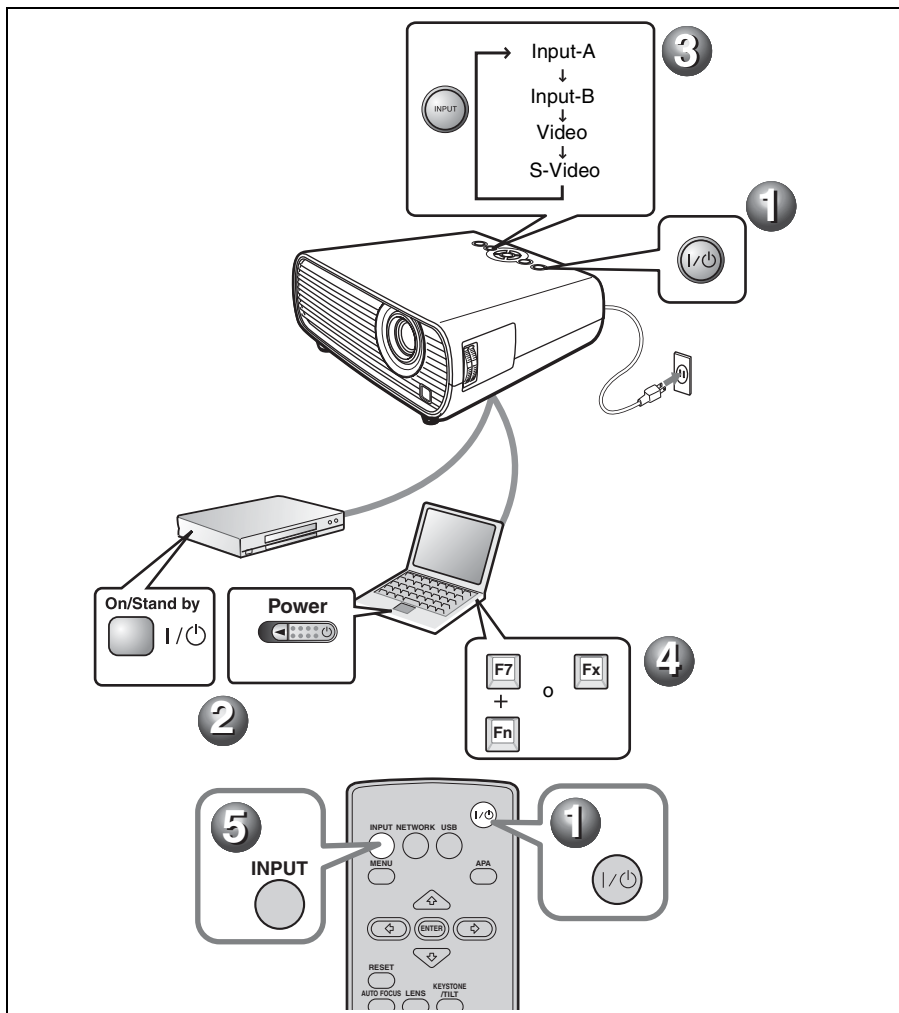
Proiezione

Proiezione

❶ **Premere il tasto I/⏻ (on/standby).**

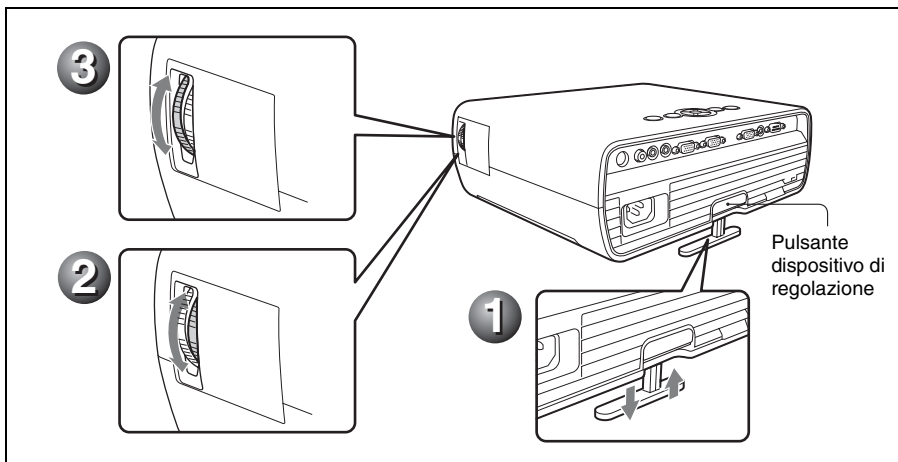
❷ **Accendere l'apparecchiatura collegata al proiettore.**

❸ **Premere il tasto INPUT sul telecomando o sul pannello di controllo per selezionare la sorgente d'ingresso.**

❹ **Dopo avere collegato il computer, impostare il segnale solo per la visualizzazione sul monitor esterno.**

Regolazione del proiettore

❶ **Regola la posizione dell'immagine.**
Sollevare il proiettore e contemporaneamente tenere premuto il pulsante del dispositivo di regolazione e regolare l'inclinazione del proiettore, quindi lasciare il pulsante per bloccare il dispositivo di regolazione.

❷ **Regola la dimensione dell'immagine.**

❸ **Regola manualmente la messa a fuoco.**
Il proiettore dispone del menu Immagine per selezionare il modo immagine e del menu Schermo per selezionare il formato immagine corretto.

Spegnimento dell'alimentazione

1 Premere il tasto I/⏻ (on/standby).

2 Quando compare un messaggio, premere di nuovo il tasto I/⏻ (on/standby).

3 Scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa a muro dopo che la ventola si è fermata e il tasto I/⏻ (on/standby) si è illuminata in rosso. (Eccetto quando si usa la funzione di accensione/spegnimento diretta o la funzione Off & Go.)

Sostituzione della lampada

La lampada che costituisce la sorgente di luce è un prodotto consumabile. Quindi deve essere sostituita con una lampada nuova nei casi che seguono.

- Quando la lampada è bruciata o poco luminosa
- Compare “Sostituire la lampada e pulire il filtro.” sullo schermo
- La spia LAMP/COVER si illumina (sequenza di tre lampeggi)

La vita utile della lampada varia in funzione delle condizioni d’uso.
Come lampada di ricambio, usare la lampada per proiettore LMP-E210.
L’uso di qualsiasi altra lampada diversa dalla LMP-E210 potrebbe danneggiare il proiettore.

Note

- **In caso di rottura della lampada, rivolgersi a personale qualificato Sony per eseguire la sostituzione della lampada e il controllo all’interno.**
- Estrarre la lampada afferrando le apposite prese.
- Per rimuovere la lampada, tirare direttamente verso l’alto la lampada prestando attenzione che rimanga orizzontale. Non inclinare la lampada. Se la lampada viene tirata fuori mentre è inclinata si romperà.

1 Spegnere il proiettore e scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa c.a.

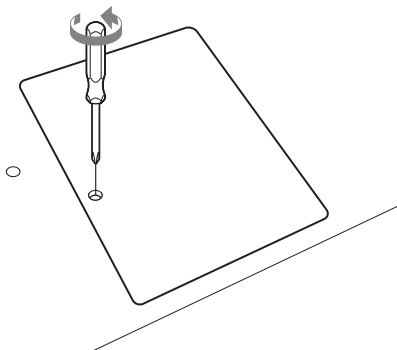
Nota

Quando si sostituisce la lampada dopo aver usato il proiettore, aspettare almeno un’ora che la lampada si raffreddi.

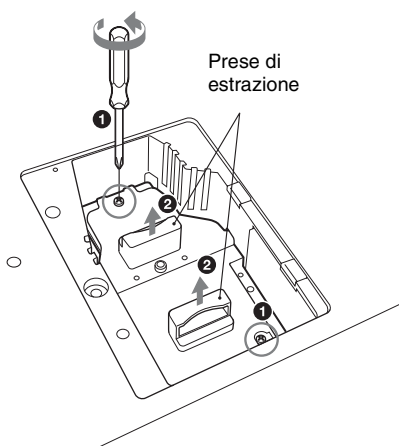
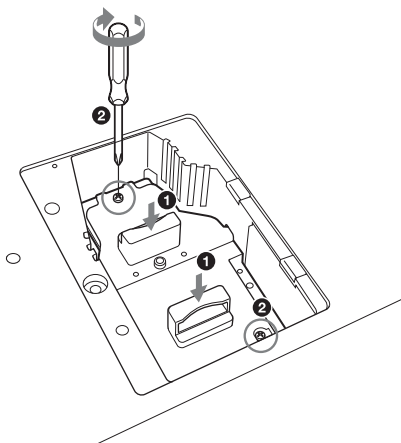
2 Posizionare un telo di stoffa protettivo sotto il proiettore. Capovolgere il proiettore in modo che il lato inferiore sia visibile.

Nota

Assicurarsi che il proiettore sia stabile dopo averlo capovolto.

3 Aprire il coperchio della lampada svitando la vite con un cacciavite con punta a croce.

Nota

Per motivi di sicurezza, non allentare nessun’altra vite.

4 Allentare le due viti del portalampada servendosi di un cacciavite Phillips (❶). Afferrare quindi le due prese con le dita ed estrarre il portalampada (❷).

5 Inserire completamente la nuova lampada finché è saldamente in posizione (❶). Serrare le due viti (❷).

Note

- Prestare attenzione a non toccare la superficie di vetro della lampada.
- L'alimentazione non si accenderà se la lampada non è fissata correttamente.
- Fare in modo che non cadano liquidi o altri oggetti nella sede di sostituzione della lampada **per evitare scosse elettriche o incendi**.

6 Chiudere il coperchio della lampada e serrare la vite.

Nota

Aver cura di montare saldamente il coperchio della lampada come era in origine. Diversamente non sarà possibile accendere il proiettore.

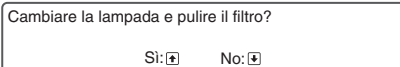
7 Girare di nuovo il proiettore.

8 Collegare il cavo di alimentazione.
Il tasto I/⏻ si illumina in rosso.

9 Premere il tasto I/⏻ per accendere il proiettore.

10 Premere il tasto MENU, quindi selezionare il menu REGOLAZIONE.

11 Selezionare "Reimp. timer lamp.", quindi premere il tasto ENTER.

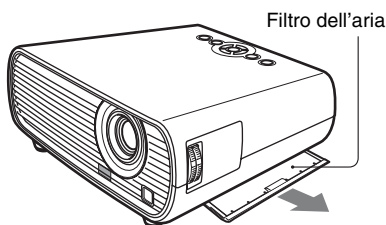
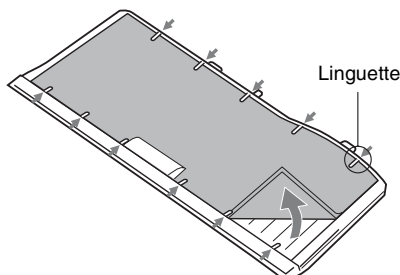
12 Selezionare "Esegui" con il tasto ▼ e premere il tasto ENTER.
Il timer della lampada è inizializzato a 0 e nella schermata di menu viene visualizzato "Cambiare la lampada e pulire il filtro?".

Vedere a pagina 13 per "Pulizia del filtro dell'aria".

13 Selezionare "Sì" con il tasto ▲.
Sulla schermata di menu compare "Timer lampada reimpostato!".

Pulizia del filtro dell’aria

Il filtro dell’aria deve essere pulito ogni volta che si sostituisce la lampada. Smontare il filtro dell’aria, quindi togliere la polvere con un aspirapolvere.
Il tempo necessario per pulire il filtro dell’aria dipende dall’ambiente o dall’uso del proiettore.
Quando si incontrano difficoltà ad eliminare la polvere dal filtro con un aspirapolvere, smontare il filtro aria e lavarlo.

1 Spegnere l’alimentazione e scollegare il cavo di alimentazione.

2 Estrarre il coperchio del filtro dell’aria e rimuoverlo.

3 Smontare il filtro dell’aria.

4 Lavare il filtro dell’aria utilizzando una soluzione detergente neutra ed asciugarlo all’ombra.

5 Montare il filtro dell’aria in modo che si inserisca in ciascuna delle linguette sul coperchio del filtro dell’aria e rimontare il coperchio.

Note

- **Se il filtro dell’aria non viene pulito, la polvere potrebbe accumularsi e intasarlo. Conseguentemente, la temperatura all’interno dell’unità potrebbe salire e causare guasto o incendio.**
- Prestare attenzione a montare saldamente il coperchio del filtro dell’aria: se non è chiuso completamente, non sarà possibile accendere l’alimentazione.
- Il filtro dell’aria ha una lato anteriore e un lato posteriore. Posizionare il filtro dell’aria in modo che si inserisca nella scanalatura del coperchio.

Guida alla soluzione dei problemi

Se il proiettore funziona in modo irregolare, provare a diagnosticare e correggere il problema con le seguenti istruzioni. Se il problema permane, rivolgersi a personale Sony qualificato.
Per maggiori informazioni sui sintomi, fare riferimento alle Istruzioni d'uso contenute nel CD-ROM.

Alimentazione

Sintomo	Causa e soluzione
L'alimentazione non si accende.	• L'alimentazione è stata accesa e spenta poco dopo con il tasto **I/⏻**. ➔ Attendere circa 90 secondi prima di accendere l'alimentazione. • Il coperchio della lampada non è fissato. ➔ Chiudere saldamente il coperchio della lampada. • Il coperchio del filtro dell'aria è staccato. ➔ Montare saldamente il coperchio del filtro dell'aria.

Immagine

Sintomo	Causa e soluzione
Nessuna immagine.	• Un cavo è scollegato oppure i collegamenti sono errati. ➔ Controllare che siano stati effettuati dei collegamenti appropriati. • I collegamenti sono errati. ➔ Questo proiettore è compatibile con DDC2B (Digital Data Channel 2B, canale dati digitali 2B). Se il computer utilizzato è compatibile con DDC, accendere il proiettore procedendo come segue. **1** Collegare il proiettore al computer. **2** Accendere il proiettore. **3** Avviare il computer. • La selezione dell'ingresso è errata. ➔ Selezionare correttamente la sorgente d'ingresso. • L'immagine è disattivata. ➔ Premere il tasto PIC MUTING per annullare la disattivazione dell'immagine. • Il segnale dal computer non è stato impostato per la visualizzazione su monitor esterno, oppure è stato impostato per la visualizzazione sia su un monitor esterno che sul monitor LCD del computer. ➔ Impostare il segnale del computer per la visualizzazione **solo** su un monitor esterno.
L'immagine è rumorosa.	Potrebbe presentarsi del rumore sullo sfondo in funzione del rapporto fra il numero di punti del segnale d'ingresso dal computer e il numero di pixel del pannello LCD. ➔ Cambiare l'impostazione del desktop del computer collegato.
L'immagine non è nitida.	• L'immagine non è a fuoco. ➔ Regola manualmente la messa a fuoco. • Si è depositata della condensazione sull'obiettivo. ➔ Lasciare il proiettore acceso per circa due ore.

Sintomo	Causa e soluzione
L'immagine si estende oltre lo schermo.	È stato premuto il tasto APA nonostante ci siano dei bordi neri intorno all'immagine. → Visualizzare sullo schermo l'immagine completa e premere il tasto APA. → Regolare correttamente la voce "Spostamento" nel menu REGOLAZIONE INGRESSO.
L'immagine sfarfalla.	La voce "Fase punto" nel menu REGOLAZIONE INGRESSO non è stata impostata correttamente. → Regolare correttamente la voce "Fase punto" nel REGOLAZIONE INGRESSO.

Spie

Sintomo	Causa e soluzione
La spia LAMP/COVER lampeggia in arancione (frequenza di ripetizione di 2 lampeggi).	Il coperchio della lampada oppure il coperchio del filtro dell'aria è staccato. → Fissare saldamente il coperchio.
La spia LAMP/COVER lampeggia in arancione (frequenza di ripetizione di 3 lampeggi).	• La lampada ha raggiunto il termine della vita utile. → Sostituire la lampada. • La lampada ha raggiunto una temperatura elevata. → Attendere 60 secondi che la lampada si raffreddi, quindi riaccendere l'alimentazione.
Tasto I/⏻ lampeggia in rosso (frequenza di ripetizione di 2 lampeggi).	• La temperatura interna è insolitamente elevata. → Verificare che le prese di ventilazione non siano ostruite. • Il proiettore è utilizzato a una quota elevata. → Verificare che "Modo quota el." nel menu IMPOST. INSTALLAZIONE sia impostato su "Inser.".
Tasto I/⏻ lampeggia in rosso (frequenza di ripetizione di 4 lampeggi).	La ventola è guasta. → Rivolgersi a personale Sony qualificato.
Tasto I/⏻ lampeggia in rosso (frequenza di ripetizione di 6 lampeggi).	Scollegare il cavo di alimentazione c.a. dalla presa a muro dopo che la spia I/⏻ si è spenta, inserire il cavo di alimentazione nella presa a muro, quindi riaccendere il proiettore. Se la spia I/⏻ lampeggia in rosso e il problema permane, si è verificato un guasto nel circuito elettrico. → Rivolgersi a personale Sony qualificato.

Caratteristiche tecniche

Sistema di proiezione
3 pannelli LCD, 1 obiettivo, sistema di proiezione

Pannello LCD
pannello XGA da 0,63 pollici (16,0 mm), circa 2.360.000 pixel (1024 × 768 × 3)

Lampada
lampada ad altissima pressione di 210 W

Dimensione dell'immagine proiettata
da 40 a 300 pollici (1.016 a 7.620 mm)

Flusso luminoso[1)]
3000 lm

[1)] Quando Modo lampada è impostato su "Alto".

Distanza di proiezione (quando sistemato sul pavimento/dispositivo di regolazione non allungato e la funzione Trapezio V è stata eseguita.)

40 pollici (1.016 mm): da 1,2 a 1,4 m
80 pollici (2.032 mm): da 2,4 a 2,7 m
100 pollici (2.540 mm): da 3,0 a 3,4 m
150 pollici (3.810 mm): da 4,5 a 5,2 m
200 pollici (5.080 mm): da 6,0 a 6,9 m
250 pollici (6.350 mm): da 7,5 a 8,6 m
300 pollici (7.620 mm): da 9,0 a 10,3 m

Sistema colore
NTSC3.58/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N/PAL60, commutato automaticamente/manualmente
(NTSC4.43 è lo standard colore usato per riprodurre video registrati in NTSC su un videoregistratore NTSC4.43.)

Segnali da computer compatibili[2)]
fH: da 19 a 92 kHz
fV: da 48 a 92 Hz
(massima risoluzione del segnale di ingresso: SXGA+ 1400 × 1050 fV: 60 Hz)

[2)] Impostare la risoluzione e la frequenza del segnale del computer collegato entro l'intervallo dei segnali preimpostati compatibili con il proiettore.

Segnali video compatibili
15 k RGB 50/60 Hz, componente progressivo 50/60 Hz, DTV (480/60i, 575/50i, 480/60p, 575/50p, 720/60p, 720/50p, 1080/60i, 1080/50i), video composito, video Y/C

Dimensioni
Circa 313,4 × 114,1 × 269 mm (l/a/p) (escluse le parti sporgenti)

Peso
Circa 3,1 kg

Alimentazione
da 100 a 240 V c.a., da 2,7 a 1,1 A, 50/60 Hz

Potenza assorbita
Max. 270 W
In attesa (Standard): 3 W
In attesa (Basso): 1 W

Temperatura di funzionamento
da 0 °C a 40 °C

Accessori forniti
Telecomando (1)
Pila al litio CR2025 (1) (installata nel telecomando)
Cavo HD D-sub a 15 pin (1,8 m) (1) (1-967-100-11/Sony)
Cavo di alimentazione c.a. (1)
Copriobiettivo (1)
Istruzioni d'uso (CD-ROM) (1)
Guida rapida all'uso (1)
Targhetta di sicurezza (1)

Il design e le caratteristiche tecniche dell'unità, inclusi gli accessori opzionali, sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Nota

Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.

Accessori opzionali

Lampada del proiettore
LMP-E210

Non tutti gli accessori opzionali sono disponibili in tutte le nazioni e aree geografiche. Consultare il proprio rivenditore autorizzato Sony.

警告

为减少火灾或电击危险，请勿让本设备受到雨淋或受潮。

为防止触电严禁拆开机壳，维修请咨询具备资格人士。

此设备必须接地。

注意

如果更换的电池不正确，就会有爆炸的危险。
只更换同一类型或制造商推荐的电池型号。
处理电池时，必须遵守相关地区或国家的法律。

警告

在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源插头与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源插头。

1. 请使用经过认可的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 带有接地点的插头，并且都要符合所在国家的安全法规。
2. 请使用符合特定额定值 （电压、电流）的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头。

如果在使用上述电源线 / 设备接口 / 插头时有任何疑问，请咨询合格的维修人员。

重要

设备铭牌位于底部。

目录

CS

使用前须知

安全性

- 请检查本机的工作电压是否与当地的供电电压一致。如果需要电压适配器，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
- 万一有液体或固体落入机壳内，请拔下本机的电源插头，并请专业技术人员检查后方可继续使用。
- 数日不使用本机时，请将本机的电源插头从墙上电源插座拔出。
- 拔电源线时，请手持插头将其拔出。切勿拉扯电线本身。
- 墙上电源插座应安装于设备附近使用方便的地方。
- 即使本机的电源已经关闭，只要其插头还连接在墙上电源插座上，本机便未脱离交流电源。
- 投影灯亮着时，请勿直视镜头。
- 请勿将手或物体置于通风孔附近。排出的空气较热。
- 小心不要让手指卡在调节器里。
- 请不要在本机下面铺放布或纸张。

照明

- 为了获得最佳图像，不应让屏幕的前面暴露在直射照明或阳光下。
- 推荐使用安装在天花板上的聚光灯照明。使用盖子遮盖荧光灯以防止对比度下降。
- 用不透明的帷幕遮盖所有面向屏幕的窗户。
- 建议将本机安装在地板和墙壁未采用反光材料的房间里。如果地板和墙壁采用反光材料，建议将地毯和壁纸换成暗色。

防止内部蓄热

本机配备通风孔 （进气）和通风孔 （排气）。请勿堵塞通风孔或将任何物品放在通风孔旁边，否则可能发生内部蓄热，造成影像质量下降或损坏本投影机。

清洁

清洁以前

请务必从交流插座上拔掉交流电源线。

清洁空气滤网

- 请在每次更换投影灯时清洁空气滤网。
- 清洁空气滤网时请参见第 13 页的 “清洁空气滤网”。

清洁镜头

镜头表面经过特别处理，可以减少光线反射。
由于不当维修可能危害到投影机的使用性能，所以请注意下述事项：

- 请勿触摸镜头。要清除镜头上的灰尘时，请使用干燥的软布。请勿使用湿布、洗涤剂或稀释剂。
- 擦拭镜头时要轻柔，并请使用软布（如清洁布或玻璃清洁布）来擦。
- 对于顽固污渍，请用略微蘸水的软布（如清洁布或玻璃清洁布）来清除。
- 不要使用酒精、苯或稀释剂等溶剂，不要使用酸、碱或研磨类洗涤剂，也不要使用化学清洁布，因为这些物质会损坏镜头表面。

清洁机壳

- 要用柔软的干布来清洁机壳。对于顽固污渍，可用稍蘸中性洗涤剂的布来清除，再用柔软的干布擦拭。
- 酒精、苯、稀释剂或杀虫剂的使用可能会损害机壳的表面光滑，破坏机壳上的标记。切勿使用这些化学物质。
- 如果您用污布摩擦机壳可能导致划痕。
- 如果假如机壳长期接触橡胶或乙烯树脂产品，可能破坏机壳光滑，或者引起保护层的脱落。

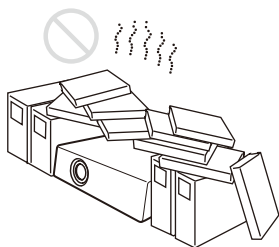
LCD 数据投影机

本 LCD 数据投影机采用高精密度技术制造。然而，可能会在 LCD 数据投影机的图像上持续显示微小的黑点和 / 或亮点（红色、蓝色或绿色）。这是制造过程的正常结果，不代表故障。
当从多个 LCD 数据投影机将影像投影到屏幕上时，即使投影机为相同的型号，但由于每个投影机都有其自身的彩色平衡，因此可能会出现色差。

安装和使用注意事项

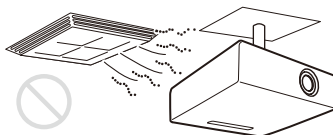
不当安装

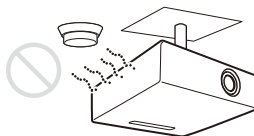
请不要在下列场合安装本投影机。**在这些场合或场所安装可能会引起故障或损坏**本机。

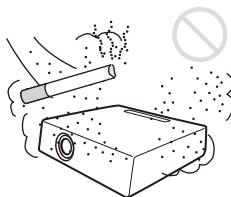
通风不良的场所

- 应保持通风良好以防止内部蓄热。请勿将本机放在可能堵塞通风孔的物品表面 （垫子、毯子等）或附近 （窗帘、帷帐）。当由于通风孔堵塞而造成内部蓄热时，温度传感器会工作并自动关闭电源。
- 请在本机周围留出30厘米以上的空间。
- 小心不要让通风孔吸入诸如纸片或聚积的灰尘一类的微小物体。

热和潮湿

- 请避免将本机安装在温度或湿度非常高，或温度非常低的场所。
- 为避免水气凝结，请勿将本机安装在温度可能急剧升高的场所。

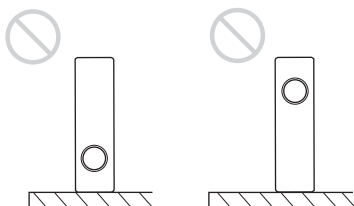
受空调的冷暖风直接吹拂的地方

在这样的场所安装投影机可能会由于湿气凝结或温度升高而导致本机发生故障。

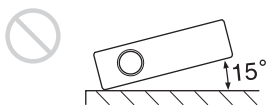
高温或烟雾传感器附近

可能会造成传感器失灵。

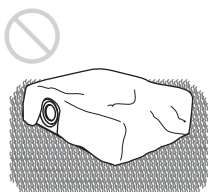
多尘、多烟雾的场所

勿将本机安装在多尘或多烟雾的环境中。否则，空气滤网会被堵塞，并可能导致本机故障或损坏。灰尘会阻挡空气透过滤网，从而可能导致投影机内部温度升高。请在每次更换投影灯时清洁空气滤网。

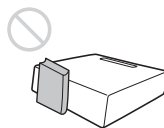
不合适的条件

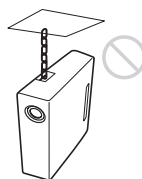
请不要在下述条件下使用投影机。

请不要将本机侧放

勿将本机侧放使用。这可能会引起故障。

请不要向右或向左倾斜本机

请勿将本机倾斜 15 度的角度，除了在水平表面或从天花板上悬挂以外，请勿使用任何其他方法安装本机。这样的安装可能会造成彩色阴影或极度缩短投影灯寿命。

请不要堵塞通风孔

请勿使用厚毛地毯或其他物品遮盖通风孔 （排气 / 进气）；否则可能会造成内部热量蓄积。

请不要在镜头面前放置遮挡物品

请勿在投影期间在镜头面前放置可能会遮挡光线的物品。来自光线的热量可能会造成物品损坏。按遥控器上的 PIC MUTING 键消除图像。

运输或安装本机时，请勿动用安全销

投影机后部的安全销是用于防盗，比如在上面安装市售的防盗安全缆，即可达到此目的。如果手持安全销举起投影机，或利用安全销悬挂投影机，都可能导致投影机的坠落或损坏。

在高海拔地区使用

当在海拔 1500 米或更高的地区使用投影机时，请打开 “安装设定”菜单中的 “高海拔高度模式”。当在高海拔地区使用投影机时，如果没有设定此模式，可能会产生不良的影响，诸如降低某些组件的可靠性。

使用说明

关于搬运投影机的注意事项

本机采用高精密度技术制造。当运输本机时，切勿令其掉落或遭受撞击，这样可能会造成损坏。

关于屏幕的注意事项

当在不平整的表面使用屏幕时，根据屏幕与投影机之间的距离或变焦放大倍数的设定的不同，偶尔可能会在屏幕上出现条纹图案。这并非投影机的故障。

使用 CD-ROM 手册

附带的 CD-ROM 中包含日文、英语、法语、德语、意大利语、西班牙语、中文和俄语版的使用说明书和 ReadMe 文件。请先阅读 ReadMe 文件。

准备工作

要阅读 CD-ROM 中的操作说明，您需要 Adobe Acrobat Reader 5.0 或更新版本。如果您的电脑中未安装 Adobe Acrobat Reader，您可以从 Adobe Systems 的 URL 下载免费的 Acrobat Reader 软件。

阅读使用说明书

使用说明书包含在附带的 CD-ROM 中。
将附带的 CD-ROM 插入电脑的 CD-ROM 驱动器中，不久 CD-ROM 自动启动。选择要阅读的使用说明书。
CD-ROM 可能无法自动启动，视电脑而定。在这种情况下，请按如下方式打开使用说明书：

（对于 Windows）

① 打开 “My Computer”。（Windows Vista 中显示 “电脑”。）

② 右击 CD-ROM 图标并选择 “Explorer”。

③ 双击 “index.htm” 文件并选择要阅读的使用说明书。

（对于 Macintosh）

① 双击桌面上的 CD-ROM 图标。

② 双击 “index.htm” 文件并选择要阅读的使用说明书。

注意

如果您无法打开 “index.htm” 文件，请在 “Operating_Instructions” 文件夹中双击要阅读的使用说明书。

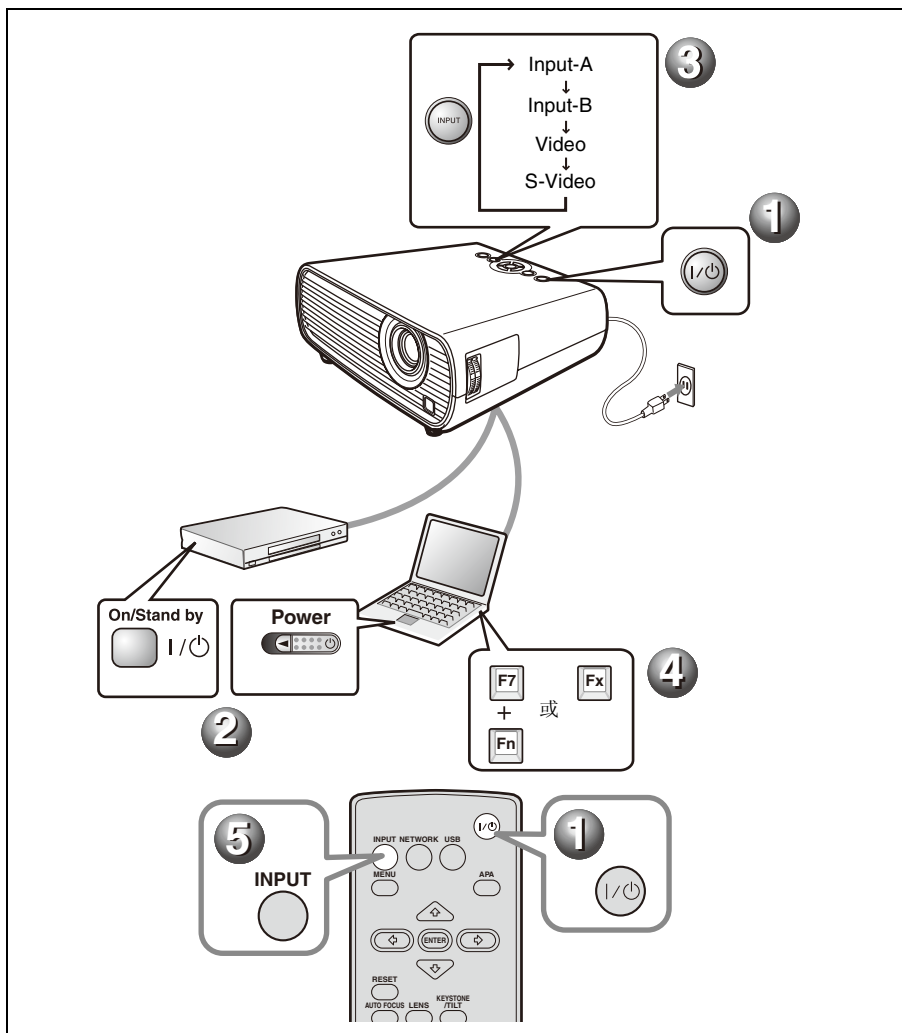
投影

投影

❶ 按 I/⏻（打开 / 待机）键。

❷ 打开与投影机相连的设备。

❸ 按遥控器或控制面板上的 **INPUT** 键以选择输入信号源。

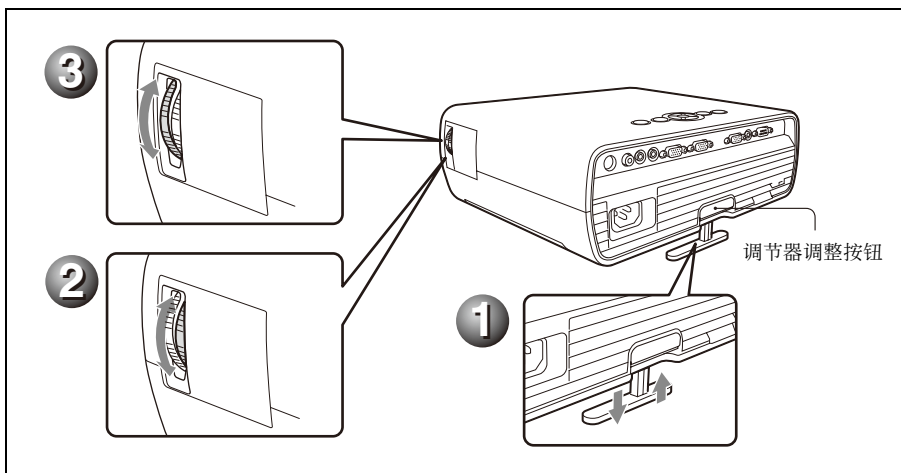
❹ 连接电脑时，请将其设定为仅向外接显示器输出信号。

调整投影机

❶ **调整图像的位置。**
按调节器调整按钮期间抬升投影机，调节投影机的倾斜度，然后松开按钮以锁定调节器。

❷ **调整图像的尺寸。**

❸ **调整聚焦。**
投影机备有 “图像设定”菜单，用于选择图像模式，备有 “屏幕设定”菜单，用于选择适当的图像纵横比。

关闭电源

1 按 I/⏻ （打开 / 待机）键。

2 显示信息时，再按一下 I/⏻ （打开 / 待机）键。

3 在冷却扇停止运转且 I/⏻ （打开 / 待机）键变为红色后，从墙上电源插座拔下交流电源线。（除非正在使用直接电源开启 / 关闭功能或关机即移动功能。）

更换投影灯

作为光源所使用的投影灯是消耗品。因此，在下述情况下请更换新的投影灯。
- 投影灯烧坏或变暗时
- 屏幕上出现 “请更换灯泡。”
- LAMP/COVER 指示灯点亮 （反复闪烁 3 次）

投影灯的寿命根据使用条件不同而不同。
请用 LMP-E210 投影机用投影灯进行更换。
使用 LMP-E210 以外的任何其它投影灯均可能造成投影机损坏。

注意

- **如果投影灯损坏，请要求 Sony 专业技术人员更换投影灯或进行检查。**
- 握住把手将投影灯拉出。
- 拆下投影灯时，令投影灯处于水平状态，然后将其径直拉出。请勿倾斜投影灯。如果在倾斜状态下拉出投影灯，如果投影灯损坏。

1 关闭投影机电源并从 AC 电源插座拔下 AC 电源线。

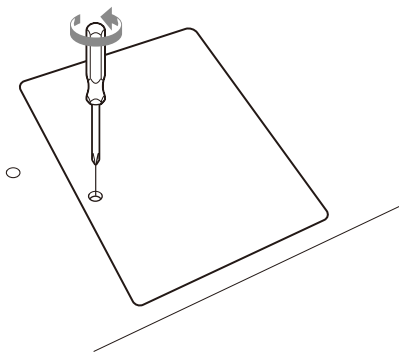
注意

在使用投影机后更换投影灯时，请至少等候 1 个小时让投影灯冷却。

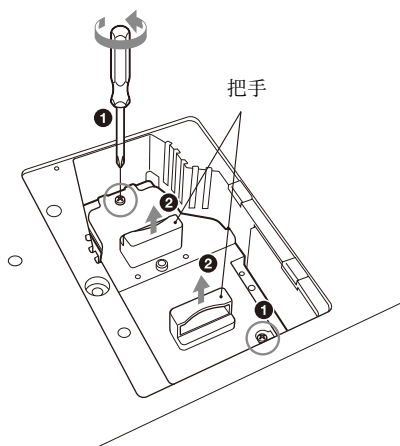
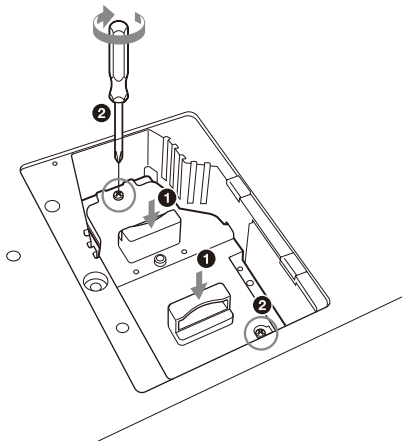
2 将保护纸 （布）垫在投影机下面。将投影机翻转以看到底面。

注意

翻转投影机之后，务必使其平稳。

3 用十字螺丝刀拧松螺丝，打开投影灯盖。

注意

为了安全起见，请勿拧松其它任何螺丝。

4 用十字螺丝刀拧松投影灯上的两个螺丝 (❶)。用手指握住把手，然后拉出投影灯 (❷)。

5 将新的投影灯完全插入，使其固定到位 (❶)。拧紧两个螺丝 (❷)。

注意

- 小心不要触摸投影灯的玻璃表面。
- 如果投影灯没有完全固定好，将无法接通电源。
- 切勿将液体或其他物体落入插槽内**以避免电击或起火。**

6 关上投影灯盖，拧紧螺丝。

注意

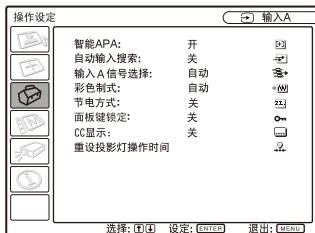
务必关严投影灯盖使其恢复原状。否则，无法接通投影机的电源。

7 将投影机翻转过来。

8 连接电源线。
I/⏻ 键亮为红色。

9 按 I/⏻ 键接通投影机的电源。

10 按 MENU 键，然后选择操作设定菜单。

11 选择 “重设投影灯操作时间”，然后按 ENTER 键。

12 用 ▼ 键选择 “执行”，然后按 ENTER 键。
投影灯操作时间被初始化为 0，并在菜单屏幕上显示 “更换投影灯并清洁滤网吗？”。

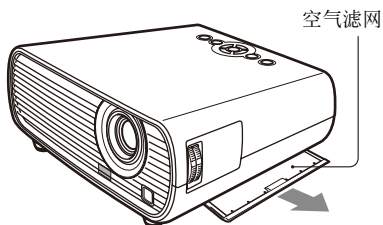
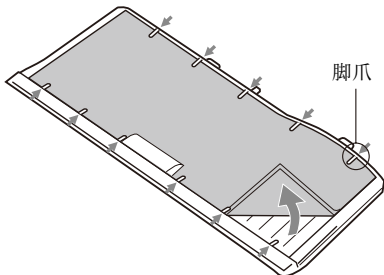
请参见第 13 页的 “清洁空气滤网”。

13 用 ▲ 键选择 “是”。
菜单屏幕上显示 “投影灯操作时间重设完毕 !”。

清洁空气滤网

请在每次更换投影灯时清洁空气滤网。拆下空气滤网，然后用真空吸尘器清除灰尘。
清洁空气滤网所需的时间根据投影机的使用环境或使用方法而异。
当难以用真空吸尘器清除滤网上的灰尘时，请拆下空气滤网进行清洗。

1 关闭电源，拔下电源线。

2 拔出空气滤网盖将其取下。

3 拆下空气滤网。

4 用中性洗涤剂清洗空气滤网，然后放在阴暗处晾干。

5 将空气滤网安装固定在空气滤网盖上的每个脚爪内，然后将盖放回原位。

注意

- **如果疏忽了清洗空气滤网，灰尘会聚积并堵塞滤网。这种情况下，装置内部的温度会升高，可能导致故障或火灾。**
- 务必牢固安装空气滤网盖；如果空气滤网盖没有关严，电源将无法接通。
- 空气滤网有正面和反面。安装空气滤网时使其与空气滤网盖上的凹口吻合。

故障排除

如果发现投影机工作不正常，请使用下述说明尝试诊断并解决问题。如果问题依然存在，请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
有关症状的详细信息，请参见 CD-ROM 中包含的使用说明书。

电源

症状	原因和对策
无法接通电源。	• 用 I/⏻ 键以很短的间隔关闭和接通了电源。 ➔ 接通电源之前请等候约 90 秒钟。 • 投影灯盖没有装严。 ➔ 关严投影灯盖。 • 牢固安装空气滤网盖。 ➔ 牢固安装空气滤网盖。

图像

症状	原因和对策
无图像。	• 电缆被拔下或未正确连接电缆。 ➔ 查看是否已经正确地连接了电缆。 • 连接错误。 ➔ 本投影机对应 DDC2B （Digital Data Channel 2B，数字数据通道 2B）。如果电脑兼容 DDC，按照下述步骤接通投影机电源。 **1** 连接投影机至电脑。 **2** 接通投影机电源。 **3** 启动电脑。 • 输入选择不正确。 ➔ 请正确选择输入信号源。 • 图像被消除。 ➔ 按 PIC MUTING 键解除图像消除功能。 • 电脑信号未被设定为向外部显示器输出，或被设定为同时向外部显示器和电脑 LCD 显示器输出。 ➔ 将电脑的信号设定为**仅**向外部显示器输出。
图像有杂讯。	根据由电脑输入的点数和 LCD 面板上的像素数的组合，背景上可能会出现杂讯。 ➔ 改变所连接的电脑的桌面图案。
图像不清晰。	• 图像未聚焦。 ➔ 调整聚焦。 • 镜头上有水气凝聚。 ➔ 接通投影机电源并放置约 2 小时。
影像超出屏幕。	尽管按下 APA 键，影像周围仍有黑边。 ➔ 在屏幕上显示完整影像并按 APA 键。 ➔ 正确调整 “输入设置”菜单上的 “移位”。
图像闪动。	没有正确调整 “输入设置”菜单上的 “点相位”。 ➔ 正确调整 “输入设置”菜单上的 “点相位”。

指示灯

症状	原因和对策
LAMP/COVER 指示灯以橙色闪烁。（以 2 次闪烁为一个循环）	投影灯盖或空气滤网盖脱落。 ➔ 将盖板装严。
LAMP/COVER 指示灯以橙色闪烁。（以 3 次闪烁为一个循环）	• 投影灯达到了使用寿命。 ➔ 更换投影灯。 • 投影灯的温度过高。 ➔ 请等候 60 秒钟让投影灯冷却，然后再次接通电源。
I/⏻ 指示灯以红色闪烁。（以 2 次闪烁为一个循环）	• 内部温度异常升高。 ➔ 检查通风孔是否堵塞。 • 在高海拔地区使用投影机。 ➔ 请务必确认 “安装设定” 菜单上的 “高海拔高度模式” 设定为 “开”。
I/⏻ 指示灯以红色闪烁。（以 4 次闪烁为一个循环）	冷却扇损坏。 ➔ 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。
I/⏻ 指示灯以红色闪烁。（以 6 次闪烁为一个循环）	在 I/⏻ 指示灯熄灭后，从墙上电源插座拔下 AC 电源线，将电源线插进墙上电源插座，然后重新接通投影机电源。如果 I/⏻ 指示灯以红色闪烁并且该状态持续，说明电气系统有故障。 ➔ 请向 Sony 公司专业技术人员咨询。

规格

投影系统　3 LCD 面板，1 镜头，投影系统
LCD 面板　0.63 英寸 (16.0 毫米) XGA 面板，约 2360000 像素（1024 × 768 × 3）
投影灯　210 W 超高压投影灯泡
投影图像的尺寸
　40 至 300 英寸
　(1016 至 7620 毫米)
光输出 [1)]　3000 流明

1) 当 “投影灯模式”设置为 “高”时。

投射距离 （安装在地板上时。 / 未拉出调节器，未使用垂直梯形失真校正。）

　40 英寸 (1016 毫米):
　　1.2 至 1.4 米
　80 英寸 (2032 毫米):
　　2.4 至 2.7 米
　100 英寸 (2540 毫米):
　　3.0 至 3.4 米
　150 英寸 (3810 毫米):
　　4.5 至 5.2 米
　200 英寸 (5080 毫米):
　　6.0 至 6.9 米
　250 英寸 (6350 毫米):
　　7.5 至 8.6 米
　300 英寸 (7620 毫米):
　　9.0 至 10.3 米

彩色制式　$NTSC_{3.58}$/PAL/SECAM/ $NTSC_{4.43}$/PAL-M/PAL-N/ PAL60 系统，自动 / 手动切换（$NTSC_{4.43}$ 是用于播放在 $NTSC_{4.43}$ 制式录像机上录制的 NTSC 视频时使用的彩色制式。）
可接收的电脑信号 [2)]
　fH：19 至 92 kHz
　fV：48 至 92 Hz
　（最大输入信号分辨率：SXGA+ 1400 × 1050 fV：60 Hz）

2) 将所连接电脑的信号的分辨率和频率设定在投影机可接收预设信号范围内。

适用视频信号
　15 k RGB 50/60 Hz，顺序分量 50/60 Hz， DTV （480/60i、 575/50i、 480/60p、 575/50p、 720/60p、 720/50p、 1080/ 60i、 1080/50i），复合视频，Y/C 视频
尺寸　约 313.4 × 114.1 × 269 毫米 （宽 / 高 / 深）（不包括突出部分）
重量　约 3.1 千克
电源要求　交流 100 V 至 240 V，2.7 A 至 1.1 A， 50/60 Hz
功耗　最大 270 W
　待机期间 （标准）： 3 W
　待机期间 （低位）： 1 W
工作温度　0 °C 至 40 °C
随机附件　遥控器 (1)
　锂电池 CR2025 （1）（安装在遥控器上）
　HD D-sub 15 芯电缆（1.8 米）(1)（1-967-100-11/Sony)
　AC 电源线 (1)
　镜头盖 (1)
　使用说明书 （CD-ROM） (1)
　快速参考手册 (1)
　安全标签 (1)

本机的设计和规格 （包括选购附件）如有变更，恕不另行通知。

注意

在使用前请始终确认本机运行正常。
无论保修期内外或基于任何理由， SONY 对任何损坏概不负责。由于本机故障造成的现有损失或预期利润损失，不作 （包括但不限于）退货或赔偿。

选购附件

投影灯　LMP-E210

全部选购附件不是在所有国家和地区都有供货。
请向当地 Sony 经销商查询。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.net/

Sony Corporation Printed in China